商標などについて

- 本ソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- "ATRAC"、OpenMGおよびそれぞれのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- "ウォークマン" およびそのロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- 本機はFraunhofer ⅡS及びThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- エニーミュージックは、エニーミュージック株式会社の登録商標です。
- 「AOSS」は、株式会社バッファローの商標です。
- 本製品は、株式会社ジャストシステム開発の読み仮名変換モジュールを搭載しています。 また、読み仮名変換辞書は、ソニーとジャストシステムの共同開発です。
- 本製品に搭載されているフォントの書体「新ゴR」は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- Built with Linter Database.
  Copyright © 2006-2007, Brycen Corp., Ltd.
  Copyright © 1990-2003, Relex, Inc., All rights reserved.
- Music recognition technology and related data are provided by Gracenote®. Gracenote is the industry standard in music recognition technology and related content delivery. For more information visit www.gracenote.com.
  CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2006 Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-2006 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Some services supplied under license from Open Globe, Inc. for U.S. Patent: #6,304,523.
  Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote.
  The Gracenote logo and logotype, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote（"Gracenote"）からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術（"Gracenote Embedded Software"）により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報（"Gracenote Data"）を得ることも可能です。この技術はGracenote Database（"Gracenote Database"）に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外でのGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意すること。
- GracenoteはGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenoteは、すべてのGracenote Dataの正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。GracenoteはGracenoteが明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。
Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。
Gracenoteは新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote Componentまたはいかなる Gracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。
Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では™、® マークは明記していません。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル ……… 0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話 ……… 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル ……… 0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話 ……… 0466-31-2531
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「305」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389
受付時間 月～金:9:00～20:00　土･日･祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in Malaysia

SONY　HDDオーディオコンポーネント　NAC-HD1

SONY®

3-213-271-**03**(1)

HDDオーディオコンポーネント

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。**
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MP3　ATRAC　LinearPCM

NAC-HD1

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

❶ 電源を切る

❷ 電源プラグをコンセントから抜く

❸ お買い上げ店または ソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

はじめに

■ 本機の取扱説明書の種類と内容

① かんたん接続・操作ガイド

本機でできることやお使いいただくために必要な最低限の接続と基本的な操作方法を説明しています。
まずはこれをお読みになり、必要な接続を行ってください。

② 取扱説明書（本書）

本機のすべての設定と操作方法、およびネットワーク接続のしかたを説明しています。
また、本機を安全にお使いいただくための注意事項なども記載しています。

③ エニーミュージックサービス利用ガイド

“エニーミュージック”のサービス利用方法について説明します。

④「カスタマーサポート」のホームページ

最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。
下記ホームページをご覧ください。
URL: http://www.sony.co.jp/netjuke-support/

■ 取扱説明書（本書）の使いかた

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じ名前の本体のボタンは、同じはたらきをします。

HDD：HDDジュークボックスで使える機能
CD：CDで使える機能
AAD：“ウォークマン”（ATRAC AD）で使える機能
USB：USBストレージで使える機能

画面について

画面のイメージは実際とは異なることがあります。

必ずお読みください

ハードディスクについて

ハードディスクは衝撃、振動などに弱いため、下記を必ず守ってご使用ください。詳しくは、94ページをご覧ください。

- 衝撃を与えない。
- コンセントを差したまま本機を動かさない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- 録音、再生中は、本機を動かしたり、コンセントを抜かない。
- お客様ご自身で、ハードディスクの交換や増設をしない。故障の原因となります。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。

本機のハードディスクに記録されたデータは、通常の使用において壊れる可能性があります。お客様が保存したデータは、本機のバックアップ機能を使用して、外部に接続した別売りのUSBハードディスクに、またはWindowsのファイル共有で、定期的にバックアップをとってください。
ハードディスク内のデータが壊れたことによる一切の責任を弊社は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- 本機を使用中、万一不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本機をネットワーク接続して利用するサービスについて

サービス内容は予告なく変更されたり、終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

目次

編集する

タイマーを使う

"エニーミュージック"を使う

パソコン内の音楽を聞く —ネットワークメディア

接続と設定

その他

電池についての安全上のご注意

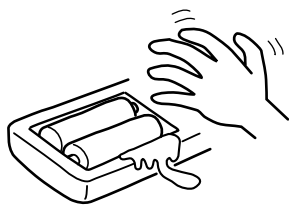
液漏れ・破裂・発熱による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけがが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、数時間たってから症状が現れることもあります。

接触禁止

必ず次の処理をする

➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

指示

⚠警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡ 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

禁止

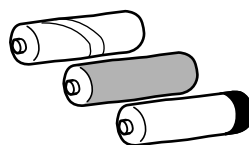
電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

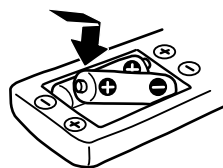
指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

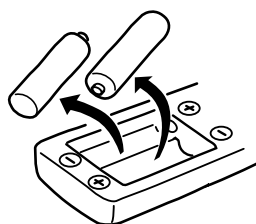
禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

指示

⚠警告   下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

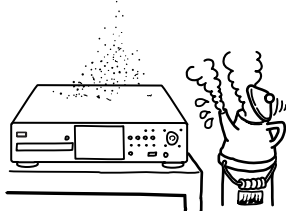
- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

禁止

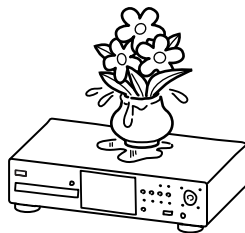
湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

禁止

内部に水や異物が入らないようにする

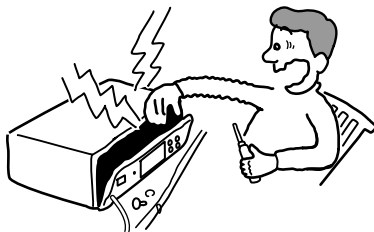
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

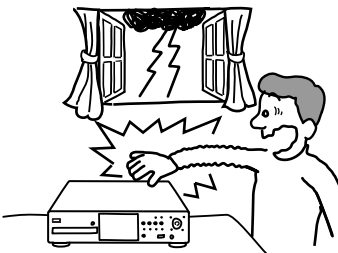
禁止

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

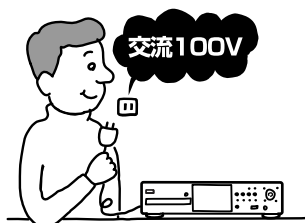
火災や感電、けがの原因となることがあります。

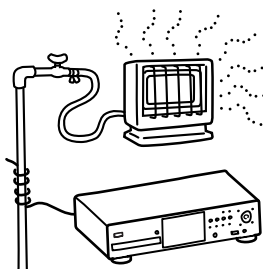
➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

分解禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

本機やアンテナ線、電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

接触禁止

本機を日本国外で使わない

交流100Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。

ガス管にアース線やアンテナ線をつながない

火災や爆発の原因となります。

NETWORK（ネットワーク）コネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

NETWORK（ネットワーク）コネクタに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

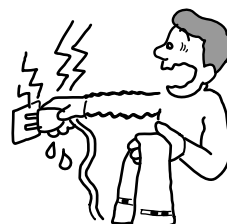
- 10BASE-T/100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

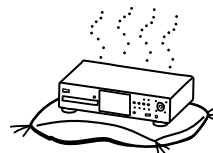
禁止

⚠注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

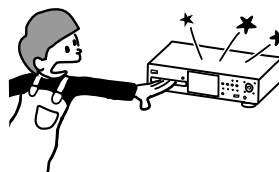
ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

禁止

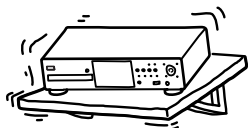
はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。特に、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

禁止

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。

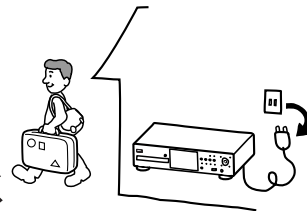
指示

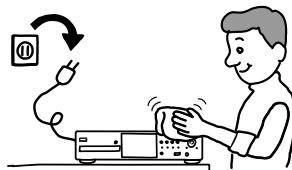
コード類は正しく配置する

本機に取り付ける電源コードやAVケーブル、ネットワークケーブルは、足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

禁止

長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

各部の名前とはたらき

リモコン

スリープ、タイマーボタン

- スリープボタン
  スリープタイマーの設定/確認に使います(63ページ)。
- タイマーボタン
  タイマーを設定するときに使います(64 ～ 67ページ)。

数字*/文字入力ボタン

再生時の曲番の指定や文字入力に使います。

- A、Y、Mボタン
  おまかせチャンネルのMIXチャンネル機能に使います(41ページ)。

⏮・選局−、⏭・選局＋、アルバム＋、アルバム−ボタン

- ⏮、⏭ボタン
  曲の頭出しに使います。
- 選局＋、選局−ボタン
  ラジオ局のプリセット番号の選択に使います。
- アルバム＋、アルバム−ボタン
  アルバムまたはグループを選びます。

I/⏻(電源)ボタン

電源を入れます(14ページ)。

ダイレクトプレイボタン

スタンバイ時に電源が入り、ファンクションが切り換わります。

- HDD▶ボタン(14、34ページ)
- CD▶ボタン(14、22ページ)
- デジタルインボタン(14、32ページ)
- アナログインボタン(14、32ページ)
- チューナー/バンドボタン(14、25、31ページ)
- ANY MUSICボタン(14、68ページ)
- おまかせCHボタン(14、41ページ)

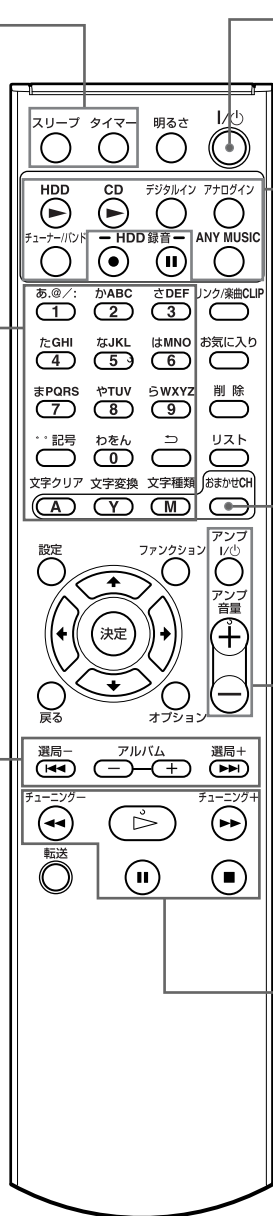
アンプI/⏻(電源)ボタン、アンプ音量＋*、アンプ音量−ボタン

ソニー製のアンプのみ操作できます(19ページ)。

- アンプ I/⏻ ボタン
  アンプの電源を入れます。
- アンプ音量＋、アンプ音量−ボタン
  アンプの出力レベル(音量)を調節します。

ファンクション共通操作ボタン

各ファンクション共通で使うボタンです。

- ▷(再生)ボタン*
- チューニング−・◀◀(早戻し)、チューニング＋・▶▶(早送り)ボタン
- ❚❚(一時停止)ボタン
- ■(停止)ボタン

HDD録音ボタン

HDDジュークボックスへの録音に使います。

- HDD録音●（録音開始）ボタン（31ページ）
- HDD録音❚❚（録音一時停止）ボタン（31ページ）

お気に入りボタン

曲をお気に入りリストに追加するときに使います（61ページ）。

リストボタン

メイン画面とリスト画面を切り換えます（16ページ）。

設定ボタン

設定メニューを表示します（15ページ）。時計やネットワーク設定など、システムの設定を行います。

戻るボタン

操作中の画面をひとつ前の画面に戻します。

転送ボタン

“ウォークマン”（ATRAC AD）/ポータブル機器への転送に使います（44ページ）。

明るさボタン

画面の明るさを二段階で切り換えます。

リンク/楽曲CLIPボタン

- リンクボタン
  “エニーインフォ”表示時に関連するエニーミュージックのページにリンクします（70ページ）。
- 楽曲CLIPボタン
  “NOW ON AIR”（71ページ）で表示された楽曲情報を保存します。

削除ボタン

各ファンクションで削除を行うときに使います（55ページ）。

ファンクションボタン

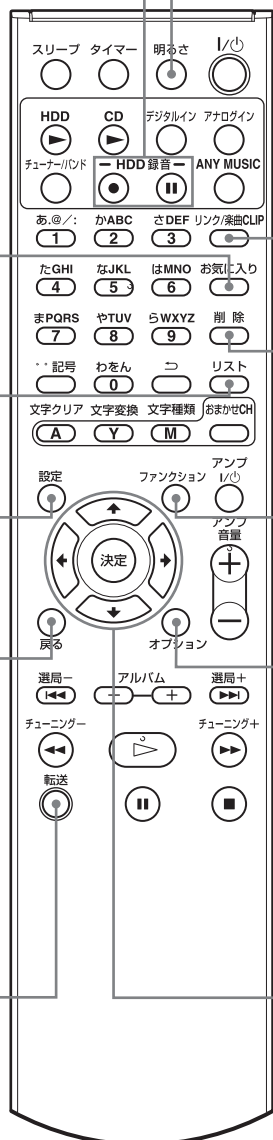
ファンクションメニューを表示します（15ページ）。
メニューから使用する音源を選びます。

オプションボタン

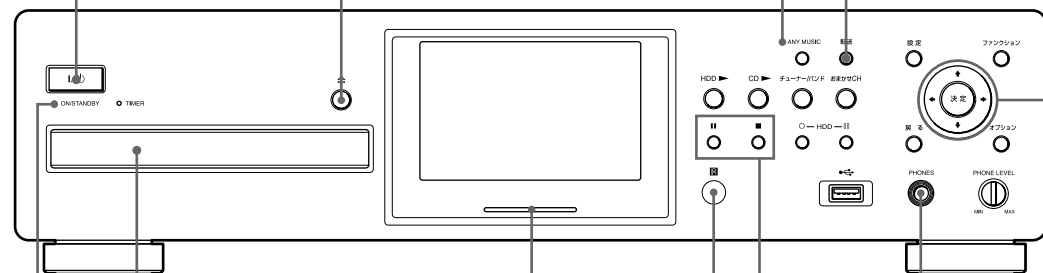
オプションメニューを表示します（15ページ）。使用しているファンクションに合わせてメニューの内容が変わります。

メニュー操作ボタン

メニューを選んで決定します（15ページ）。

- ↑、↓、←、→ボタン
  項目の選択や設定値を変更するときに使います。
- 決定ボタン
  操作を決定するときに使います。

*の付いたボタン（数字ボタンの「5」、アンプ音量＋ボタン、共通▷（再生）ボタン）には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

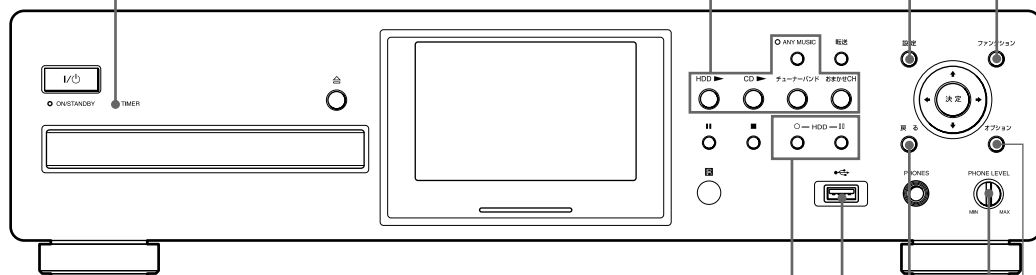
本体

メニュー操作ボタン
メニューを選んで決定します。
• ↑、↓、←、→ボタン
項目の選択や設定値を変更するときに使います。
• 決定ボタン
操作を決定するときに使います。
I/⏻（電源）ボタン、
• 電源を入れる、または切ります（14ページ）。
転送ボタン
"ウォークマン"（ATRAC AD）/ポータブル機器への転送に使います（44ページ）。
⏏ボタン
ディスクトレイが開閉します（22ページ）。
ANY MUSICランプ
ANY MUSICファンクションを使用中に点灯します（68ページ）。
ANY MUSIC
転送
設定
ファンクション
HDD ►
CD ►
チューナー/バンド
おまかせCH
決定
戻る
オプション
ON/STANDBY
TIMER
PHONES
PHONE LEVEL
MIN
MAX
ディスクトレイ
CDを挿入します（22ページ）。
PHONES端子
ヘッドホンをつなぎます。
ON/STANDBYランプ
本体の電源状態を表します。
• オン/自動解析中は緑点灯
（詳しくは43ページ「12音解析について」をご覧ください。）
• スタンバイ時は赤またはオレンジ点灯
ファンクション共通操作ボタン
各ファンクション共通で使うボタンです。
• II（一時停止）ボタン
• ■（停止）ボタン
リモコン受光部
イルミネーションランプ
• 電源オン時に点灯します。
• HDDのデータを自動解析中は、ゆっくり点滅します。

ファンクションボタン
ファンクションメニューを表示します（15ページ）。メニューから使用する音源を選びます。

ダイレクトプレイボタン
スタンバイ時に電源が入り、ファンクションが切り換わります。

- HDD►ボタン（14、34ページ）
- CD►ボタン（14、22ページ）
- チューナー /バンドボタン（14、25、31ページ）
- おまかせCHボタン（14、41ページ）
- ANY MUSIC ボタン（14、68ページ）

TIMER（タイマー）ランプ
タイマーの状態を表します（63 ～ 65ページ）。

設定ボタン
設定メニューを表示します（15ページ）。
時計やネットワーク設定など、システムの設定を行います。

HDD●、HDD❚❚ボタン
HDDジュークボックスへの録音に使います。

- HDD●（録音開始）ボタン（31ページ）
- HDD❚❚（録音一時停止）ボタン（31ページ）

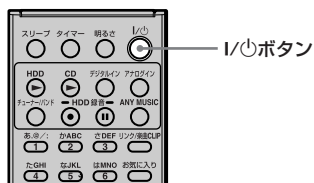
USB端子
USBストレージや“ウォークマン”（ATRAC AD）などのポータブル機器をつなぎます（46 ～ 49ページ）。

戻るボタン
操作中の画面をひとつ前の画面に戻します。

PHONE（ホーン） LEVEL（レベル） (MIN（ミニマム）/MAX（マキシマム）) つまみ
ヘッドホンの音量を調節します。

オプションボタン
オプションメニューを表示します（15ページ）。使用しているファンクションに合わせてメニューの内容が変わります。

共通操作

電源を入れる

1 **本機の電源コードをコンセントにつなぐ。**

自動的に本機の電源が入り、本機の初期設定が始まります。初期設定が完了すると、自動的に電源が切れます。

2 **I/⏻（電源）ボタンを押す。**

本体の電源が入ります。

⚠注意

初期設定中に本機の電源コードを抜かないでください。故障の原因になります。

電源を切るには

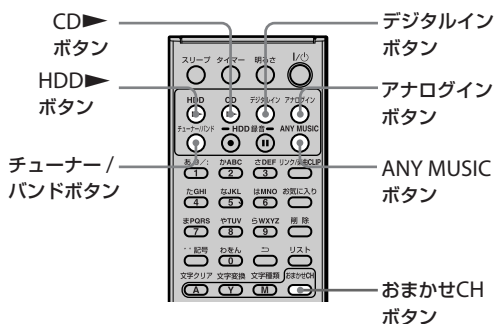
本体またはリモコンのI/⏻（電源）ボタンを押します。

I/⏻ボタンを押してもすぐに電源が切れない時がありますが、これは本機がHDD（ハードディスク）のデータを自動解析しているためです（43ページ「12音解析について」）。自動解析中は、イルミネーションランプがゆっくり点滅します。自動解析を中止してすぐに電源を切りたいときは、■ボタンを押します。電源を入れたいときは、もう一度I/⏻ボタンを押します。

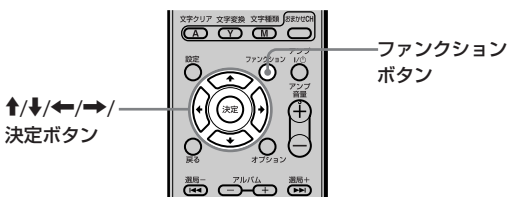
ちょっと一言

本機は、高速起動モードと標準モードがあります。詳しくは90ページ「スタンバイモードの設定をする」をご覧ください。

ファンクションを選ぶ

ファンクションを直接選ぶ

ファンクション	押すボタン（ダイレクトプレイボタン）
HDDジュークボックス	HDD►
CD	CD►
デジタルイン	デジタルイン
アナログイン	アナログイン
チューナー	チューナー /バンド
ANY MUSIC	ANY MUSIC
おまかせチャンネル	おまかせCH

お好みのダイレクトプレイボタンを押すと電源が入り、再生がはじまります。

ファンクションをメニューで選ぶ

1 **ファンクションボタンを押す。**

ファンクションメニューが表示されます。

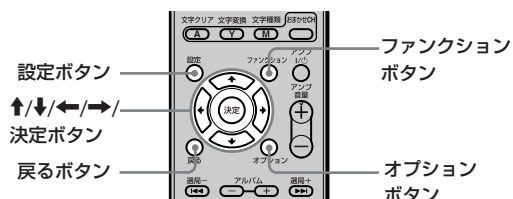
2 **↑/↓/←/→ボタンでファンクションを選び、決定ボタンを押す。**

選んだファンクションに切り換わります。

ファンクションメニューを消すには

決定ボタンを押す前にファンクションボタン、または戻るボタンを押します。

メニュー操作をする

本機には、ファンクション、オプション、設定の3種類のメニューがあり、録音や再生モードの選択、各種設定など、あらゆる操作ができるようになっています。

1 **メニューボタン(ファンクションまたはオプション、設定)を押す。**

メニューが表示されます。

2 **↑/↓/←/→ボタンを押して項目を選ぶ。**

3 **決定ボタンを押す。**

4 **手順2、3をくり返す。**

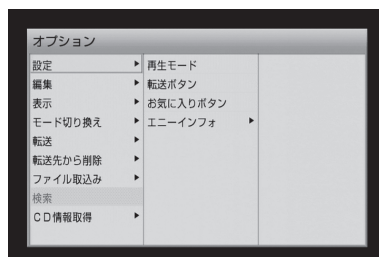
手順の途中でやめるには

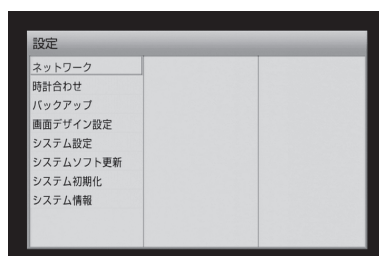
戻るボタンを押します。

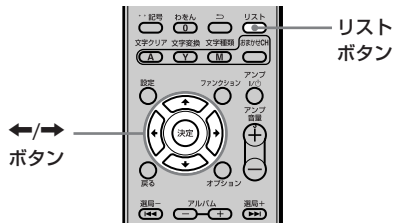
ファンクションメニュー

ファンクションボタンを押すと、表示されます。
ファンクションを選ぶときに使います。

オプションメニュー

オプションボタンを押すと、表示されます。
選んでいるファンクションや画面によって表示される項目が異なります。

設定メニュー

設定ボタンを押すと、表示されます。
システム設定を行うときに使います。
いつでも同じ項目が選べます。

画面を切り換える

画面には、メイン画面とリスト画面の2種類あります。

リストボタンをくり返し押して、メイン画面とリスト画面を切り換える。

メイン画面

通常表示されている画面です。再生中の曲の情報が表示されます。

リスト画面

再生中の曲の前後の曲などがリスト表示されます。

曲のアイコンについて

曲を表すアイコンはフォーマットなどによって、表示が異なります。

アイコン	アイコンの意味
	ATRAC音声の曲
	ANY MUSICからダウンロードした曲（ATRAC3音声）
	MP3音声の曲
	リニアPCM音声の曲

ANY MUSIC/チューナー /アナログイン/デジタルイン/おまかせチャンネルの各ファンクションにはリスト画面がありません。

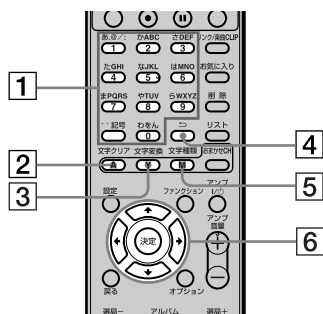
階層のアイコンについて

リスト画面で←、→ボタンを押すと、画面上部の階層アイコンが変わり、アルバム、グループ、曲など、どの階層を表示しているかを示します。

アイコン（例）	アイコンの意味
	トラック一覧を表示します。
	グループ一覧を表示します。

文字を入力する

曲やラジオ局に名前をつけたり、ネットワークの設定をするときなどに使用します。

リモコン

1 **数字/文字入力ボタン**
入力したい文字が割り当てられているボタン(あ(行)、か(行)、ABC、DEFなど)をくり返し押すと、希望の文字を表示します。漢字の場合は、文字変換ボタンを押してから、希望の漢字候補を選びます。

2 **文字クリアボタン**
文字を削除します。

3 **文字変換ボタン**
入力した文字を漢字などに変換します。

4 **⮌ボタン**
決定ボタンを押す前にこのボタンを押すと、直前に入力した文字に戻ります。

5 **文字種類ボタン***
入力する文字の種類を選びます。
ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
[漢字]→[全カナ]→[全英]→[全数]→[半カナ]→[半英]→[半数]→[漢字]→.....
* 入力できる文字の種類は、画面によって異なります。

6 **↑/↓/←/→/決定ボタン**
- ↑/↓/←/→ボタン
  カーソルを移動したり、文節の区切りを変更します。
- 決定ボタン
  入力した文字や設定を決定します。

文字入力画面

1 **文字入力エリア**
入力した文字が表示されます。

2 **候補表示エリア**
予測候補が一覧表示されます。

3 **スクロールアイコン**
候補表示エリアに予測候補を表示しきれないときに表示されます。

4 **入力モード(上書き/挿入)の表示エリア**

5 **入力文字種類の表示エリア**
文字種類ボタンを押すたびに、表示が以下のように切り換わります。

表示	入力できる文字の種類*
漢字	漢字/ひらがな
全カナ	全角カタカナ
全英	全角英字
全数	全角数字
半カナ	半角カタカナ
半英	半角英字
半数	半角数字

* 入力できる文字の種類は、画面によって異なります。

6 **変換状態の表示エリア**

予測変換	予測変換機能がONの状態
予測変換	予測変換機能がONの状態で文字変換ボタンを押したとき
	予測変換機能がOFFの状態

7 **入力バイト数の表示エリア**
[入力済みバイト数/入力可能最大バイト数]が表示されます。使用中の入力画面により、入力できる最大文字数は異なります。
文字入力数とバイト数について

半角英字/数字	1文字:1バイト
全角文字/半角カタカナ	1文字:3バイト

文字入力のしかた

本機に付属のリモコンで、携帯電話と同じ感覚で文字を入力できます。予測変換機能*により、手早く入力できます。

1 **文字種類ボタンをくり返し押して、入力する文字の種類を選ぶ。**

2 **数字/文字入力ボタンをくり返し押して、文字を選ぶ。**

漢字を入力しないときは、手順4に進んでください。

3 **一覧表示された単語から選ぶ。**

入力したい単語が表示されない場合は、文字変換ボタンを押してから選びます。

4 **決定ボタンを押す。**

* **予測変換機能とは？**
本機に付属のリモコンでは予測変換機能が使えます。予測変換機能とは、入力した文字から予測される単語を一覧表示したり、後に続く単語の候補を表示したりする機能です。よく使う単語を学習しますので、使うほど便利になります。

ちょっと一言

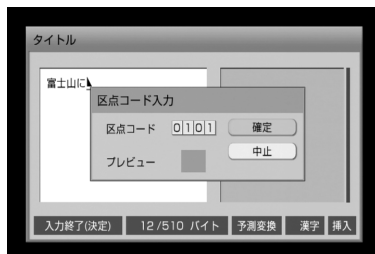
予測変換と通常変換は、入力文字種類が[漢字]のときのみ有効です。

その他の操作をするには

こんなときは	操作
前の状態に戻す	戻るボタンを押す。
カーソルを移動する	↑/↓/←/→ボタンを押す。
大文字または小文字を入力する(「や」「ゃ」、「A」「a」など)	入力したい文字(ひらがな/カタカナ/英字)が割り当てられているボタンをくり返し押す。
濁点文字または半濁点文字を入力する(「が」、「ぱ」など)	濁点または半濁点をつけたい文字を入力したあとに記号ボタンをくり返し押す。
記号($など)を入力する	オプションメニューで[記号文字入力]－[全角]または[半角]を選んでから、希望の記号を選ぶ。
文節の区切りを変更する	未確定の状態で←/→ボタンを押す。
変換方法を切り換える(予測変換切換)	文字入力画面で、オプションメニューで[予測変換]－[ON]または[OFF]を選ぶ。
入力モード(上書き/挿入)を切り換える	オプションメニューで[挿入モード]または[上書きモード]を選ぶ。

区点コードを使って入力するには

入力する文字の読みかたが分からない場合や本機で漢字変換できない場合は、「区点コード表」を使って入力します。区点コード表はhttp://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。

1 オプションメニューで[区点コード入力]を選び、決定ボタンを押す。

2 決定ボタンを押す。

3 ↑/↓ボタンで区点コードの4桁目を入力し、→ボタンを押す。

4 手順3をくり返し、3桁目、2桁目、1桁目を入力する。

5 決定ボタンを押す。

6 [確定]を選び、決定ボタンを押す。

選んだ文章を他の場所にも使うには
－コピー/切り取り/貼り付け

1 **オプションメニューで[編集]－[コピー]または[切り取り]を選び、決定ボタンを押す。**

2 **←/→ボタンでコピーまたはカットしたい部分の始点の文字を選び、決定ボタンを押す。**

3 **←/→ボタンでコピーまたはカットしたい部分の終点の文字を選び、決定ボタンを押す。**

[切り取り]を選んだときは、選んだ部分が削除されます。

4 **貼り付けたい位置にカーソルを置く。**

5 **オプションメニューで[編集]－[貼り付け]を選び、決定ボタンを押す。**

コピーまたはカットした部分がカーソル位置に挿入されます。
上書きモードに設定されている場合でも、上書きされず挿入されます。

よく使う語句を辞書に登録するには

あらかじめよく使う単語を辞書に登録しておけば、早く候補表示エリアに表示され便利です。登録できる単語数は最大300件です。登録が300件を超えると古いものから順に削除されます。

1 **オプションメニューで［辞書編集］－［登録］を選び、決定ボタンを押す。**

文章が入力されていないと［登録］を選べません。

2 **←/→ボタンで登録したい部分の始点の文字を選び、決定ボタンを押す。**

3 **←/→ボタンで登録したい部分の終点の文字を選び、決定ボタンを押す。**

4 **決定ボタンを押す。**

5 **［読み］の欄にひらがなで読みを入力し、決定ボタンを押す。**

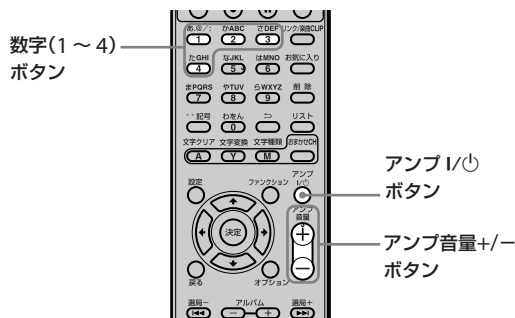
6 **→ボタンで［登録］を選び、決定ボタンを押す。**

指定した範囲の文章がスペースのみの場合は登録できません。

その他の操作をするには

こんなときは	操作
辞書に登録した語句を削除する	オプションメニューで［辞書編集］－［削除］を選び、削除したい語句を選んでから、［削除］を選ぶ。
学習情報をリセットする	オプションメニューで［学習情報リセット］を選ぶ。予測変換と通常変換の学習情報（よく使う語句などの情報）をすべて削除します。

ソニー製アンプを設定する

リモコンでソニー製アンプの電源の入/切や、音量の調節をすることができます。

アンプI/⏻（電源）ボタンを押しながら数字（1 ～ 4）ボタンを押して、ソニー製アンプの種類を選ぶ。

押すボタン	アンプの種類
◆ アンプ I/⏻+1	ソニー製ステレオアンプ
アンプ I/⏻+2	ソニー製システムステレオ
アンプ I/⏻+3	ソニー製マルチチャンネルアンプ/ホームシアターシステム
アンプ I/⏻+4	ソニー製ホームシアターシステム

（◆：お買い上げ時の設定）

ご注意

マルチチャンネルアンプ/ホームシアターシステムは、リモコンのコードを変更できるものもあります。お手持ちのソニー製アンプの種類（対応するリモコンのコード）がわからない場合は、上記の4とおりの操作を試し、対応するコードを確認してください。
一部のソニー製機器にはこのリモコンに対応できないものもあります。

時計を合わせる

本機の機能を正しく使うには、時計を正しく合わせておく必要があります。時計を合わせる方法は、手動で合わせる方法とインターネットに接続して自動で合わせる方法の2種類あります。

手動で合わせる

1 設定メニューで[時計合わせ]を選び、決定ボタンを押す。

2 [インターネットによる自動時計合わせを利用]を選び、決定ボタンを押す。

3 [しない]を選び、決定ボタンを押す。

4 [日時入力]を選び、決定ボタンを押す。

5 ←/→ボタンで年/月/日を選び、↑/↓ボタンで日にちを合わせる。

年、月、日の順に合わせます。

6 ←/→ボタンで時/分を選び、↑/↓ボタンで時刻を合わせ、決定ボタンを押す。

7 [タイムゾーン]設定から[GMT+9 東京、Seoul]を選ぶ。

8 [夏時間]設定を選び、[標準]を選ぶ。

9 [設定反映]を選び、決定ボタンを押す。

現在時刻に反映されます。

10 [閉じる]を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

電源を入れたあとに時計合わせ画面が表示された場合、何も操作しないで一定時間たつと自動的に画面が消えます。時刻を正しく合わせていないときは、設定メニューで正しく設定し直してください。

インターネットに接続して合わせる–NTP

インターネットのNTP*サーバに接続すると、時刻を正確に合わせられます。
あらかじめネットワークの設定/確認を行ってください(80ページ)。

* NTPはNetwork Time Protocolの略です。

1 設定メニューで[時計合わせ]を選び、決定ボタンを押す。

時計合わせ画面が表示されます。

2 [インターネットによる自動時計合わせを利用]を選び、決定ボタンを押す。

3 [する]を選び、決定ボタンを押す。

4 [サーバ名]を選び、決定ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。
「NtpServer」と表示されている場合は、あらかじめ設定されているサーバに接続します。サーバ名を変更しない場合は、手順6に進んでください。

5 サーバ名を入力し、決定ボタンを押す。

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」(17ページ)をご覧ください。

6 [タイムゾーン]設定から[GMT+9 東京、Seoul]を選ぶ。

7 [夏時間]設定を選び、[標準]を選ぶ。

8 [設定反映]を選び、決定ボタンを押す。

時計が自動的に設定されます。

9 [閉じる]を選び、決定ボタンを押す。

サーバ名をお買い上げ時の設定に戻すには

手順5でサーバ名が消えるまで文字クリアボタンを押し続けます。

設定を途中でやめるには

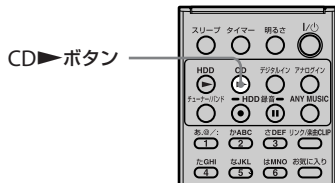
戻るボタンを押します。

ご注意

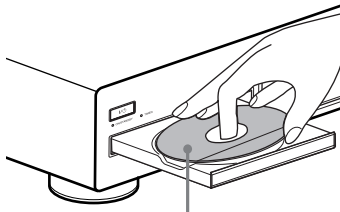
- 「インターネット設定」が正しく設定されていないと、NTPサーバへ接続できない場合があります。
- プロキシサーバを使っているときは、ご利用のプロキシサーバがNTPサーバへの通信を中継しない場合がありますので、プロバイダなどにご確認ください。

再生する

CDを聞く

音楽CDとMP3音声ファイルが記録されたCD-R/RWを聞くことができます。再生可能なCDについて詳しくは、95ページをご覧ください。アンプとの接続について詳しくは、78ページをご覧ください。

1 **アンプの入力切り換えで本機が接続されているファンクションを選ぶ。**

2 **⏏を押して、ディスクを入れる。**

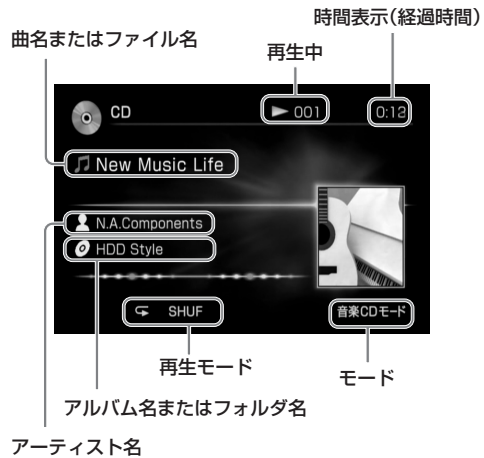
ディスクトレイが出てきます。

もう一度⏏を押すとトレイは閉まります。

CD情報を自動的に検索して表示します。ネットワークに接続されている場合は、本機のデータベースに入っていない情報をインターネット経由で取得します（23ページ）。

3 **CD►ボタンを押す。**

再生が始まります。

音楽CDまたはMP3音声が記録されたCD-R/RWを本機が判別して、自動的にモードを切り換えます。両方のフォーマットで記録されたディスクの場合は、手動で切り換える必要があります（23ページ）。

CD再生画面について

ちょっと一言

MP3CDのID3情報は、この画面では表示されません。オプションメニューで［表示］－［トラック情報（ID3）］を選んで見てください（24ページ）。

その他の操作をするには

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	❚❚ボタンを押す。 もう一度押すか、▷ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	再生中に❙◀◀/▶▶❙ボタンで曲を選ぶ。
曲を選んで再生する	⬆/⬇（MP3では⬆/⬇/⬅/➡）ボタンで曲を選ぶ。
アルバムを選ぶ（MP3のみ）	アルバム＋またはアルバム－ボタンでアルバムを選ぶ。
ディスクを取り出す	本体の⏏ボタンを押す。

数字ボタンを使って曲番を選ぶには

1 **曲一覧画面(トラック階層)で曲番の数字ボタン(1 ～ 9、0)を押す。**

トラック番号入力画面に曲番を直接入力できます。

10以降の数字を入力するときは、数字ボタンを順に押します。

(例)曲番124:[1]→ [2]→ [4]

2 **決定ボタンを押す。**

メイン画面に戻り、選んだ曲番の再生が始まります。

ご注意

MP3モードの場合、アルバム階層では数字ボタンを使って曲番を選ぶことはできません。

時間表示を切り換えるには

再生中にオプションメニューで[表示] – [時間表示] – [経過時間]または[残り時間]を選びます。

◆経過時間	再生中または一時停止中の曲の再生経過時間を表示します。
残り時間	再生中または一時停止中の曲の残り時間を表示します。

(◆:お買い上げ時の設定)

音楽CD・MP3モードを手動で切り換えるには

音楽CDとMP3音声が混在しているディスクを再生するときは、どの音声を再生するか切り換えます。

オプションメニューで[モード切り換え] – [音楽CD]または[MP3]を選びます。

CD情報を取込む

本機には、Gracenote® music recognition serviceが提供しているCD情報の一部が入っています。本機にCD情報がなく、ネットワークの設定(80ページ)が行われていると、インターネット経由で検索します。

Gracenote® music recognition serviceは、インターネット上のサーバに存在するCD情報のデータベースから、音楽CDのアルバム名、アーティスト名、曲名などのCD情報を読み込めるサービスです。

ご注意

データCDの情報を読み込むことはできません。

CD情報を手動で取得するには

CDを入れると、自動的にCD情報が取得されますが、手動でCD情報を取得することもできます。

1 **停止中に、オプションメニューで[CD情報] – [取得]を選ぶ。**

CD情報を検索後、CD情報検索結果画面が表示されます。

2 **検索結果を確認し、[取得]を選ぶ。**

CD情報が取得されます。

[取得]の代わりに▷ボタンを押すと、すぐにCDの再生が始まります。

違う内容のCD情報を取得するには

CD情報検索結果画面でオンライン[再検索]を選びます。CD情報の検索が始まり、CD情報があった場合、CD情報検索結果画面に取得結果が表示されます。違う内容のCD情報がなく、同じCD情報のみの場合も、取得結果として表示されます。

CD情報をクリアするには

オプションメニューで[CD情報] – [クリア]を選びます。

CD情報取得の設定を変更するには

1 オプションメニューで[設定] – [CD情報取得]を選ぶ。

2 各項目を設定する。

CD情報自動取得

◆ ON	CDを入れると自動的にCD情報を取得します。
OFF	CD情報を自動的に取得しません。

(◆:お買い上げ時の設定)

CD TEXT表示*

CD TEXTを表示したい言語を選びます。お買い上げ時は[日本語優先]に設定されています。

* CD情報を取得しなかった場合、CD TEXTが表示されます。
  CD TEXTはCD TEXT対応ディスクのみ記録されています。

3 [閉じる]を選ぶ。

取得結果が複数表示されたときは

取込みたいCD情報をリストから選びます。

アルバム内のトラック情報を確認するには

表示されているアルバムを選びます。

CDの情報を見る

1 停止中に、リスト画面で情報を見たい曲を選ぶ。

2 オプションメニューで[表示] – [アルバム情報]または[トラック情報]を選ぶ。

アルバム情報*1	ディスクの詳細情報(アルバム詳細情報画面)を表示します。
トラック情報*1	選んだ曲の詳細情報(トラック詳細情報画面)を表示します。
トラック情報(ID3)	選んだMP3音声の曲のID3タグ情報(トラック(ID3)詳細情報画面)を表示します。

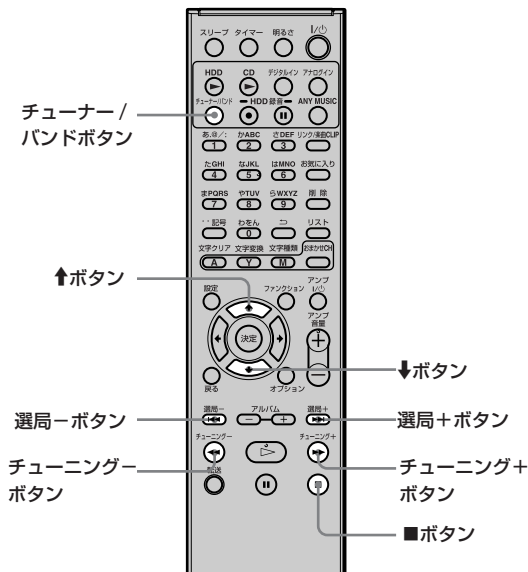
*1 音楽CDのときのみ表示されます。

タイトルまたはアーティスト、ジャンル、アルバム名*2の全文を見るには、⬆/⬇ボタンで[タイトル]または[アーティスト]、[ジャンル]、[アルバム名] *2を選びます。

画面をスクロールするには、⬆/⬇ボタンを押します。

*2 トラック(ID3)詳細情報画面のときのみ表示されます。

ラジオを聞く

アンプとの接続について詳しくは、78ページをご覧ください。

ラジオ局を選ぶ

1 **アンプの入力切り換えで本機が接続されているファンクションを選ぶ。**

2 **チューナー／バンドボタンを押す、またはファンクションメニューで[チューナー]を選ぶ。**

3 **FMまたはAMを選ぶ。**

チューナー／バンドボタンを押して、FM/AMを切り換えます。

4 **ラジオ局を選ぶ。**

マニュアルチューニング	チューニング＋/－ボタンを繰り返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。
オートチューニング	チューニング＋/－ボタンを長押しします。放送を受信すると停止します。途中でやめたいときは■ボタンを押します。
プリセットチューニング	ラジオ局を登録（26ページ）すると、⬆/⬇ボタンもしくは選局＋/－ボタンでラジオ局を選ぶことができます。

ラジオ受信画面について

ちょっと一言

- FMステレオ放送受信中に雑音が多いときは、オプションメニューで[設定]－[FMモード設定]－[常時モノラル]を選びます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。元に戻すときは、同様の操作で[自動ステレオ]を選びます。
- 受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、アンテナの向きや置き場所、張る位置を変えてみてください。
それでも受信状態がよくならないときは、市販の屋外アンテナの使用をおすすめします。

ラジオ局を登録する

FM局を登録する(“エニーミュージック”に未登録の場合)

1 FMに切り換える。

2 オプションメニューで[プリセット登録]を選ぶ。

3 登録するプリセット番号を選ぶ。

4 [ラジオ局名]のプルダウンメニューから[新規に入力する]を選ぶ。

5 [ラジオ局名]を選び、局名を入力し決定する。

6 [周波数]を選び、⬆/⬇ボタンで周波数を合わせる。

[周波数設定を]のプルダウンメニューで[オートでチューニングする]を選んだ場合は放送を受信するまで周波数が進みます。

7 [登録]を選ぶ。

“エニーミュージック”に登録済みの場合は

69ページの手順に従ってFM局を登録してください。

AM局を登録する

1 AMに切り換える。

2 オプションメニューで[プリセット登録]を選ぶ。

3 登録するプリセット番号を選ぶ。

4 [ラジオ局名を]のプルダウンメニューからお住まいの地域を選ぶ。

ラジオ局名を新規で入力したい場合は[新規に入力する]を選びます。

5 [ラジオ局名]のプルダウンメニューから局名を選ぶ。

6 [周波数]を選び、⬆/⬇ボタンで周波数を合わせる。

[周波数設定を]のプルダウンメニューで[オートでチューニングする]を選んだ場合は放送を受信するまで周波数が進みます。

7 [登録]を選ぶ。

他のラジオ局を登録するには

手順3から7をくり返します。

ちょっと一言

FMステレオ放送をモノラル受信にして雑音を少なくするには、プリセット登録画面の[FMモード]を[常時モノラル]にします。元に戻すときは[自動ステレオ]にします。この設定はラジオ局の設定として記憶されます。

ラジオ局の詳細情報を見る

オプションメニューで[詳細情報]を選ぶ。

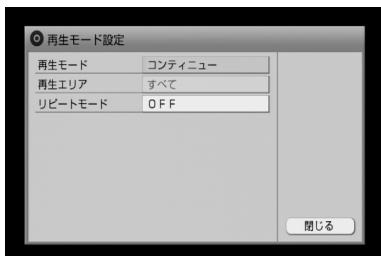
詳細情報の全文を見るには、⬆/⬇ボタンで項目を選びます。

オンエア情報を見る

“エニーミュージック”に登録すると、FM放送のオンエア情報(放送中の番組情報や放送された曲の情報など)を見ることができます。
詳しくは、71ページ「オンエア情報を表示・保存する」をご覧ください。

リピート再生・シャッフル再生CD

曲順を変えて再生（シャッフル）したり、1曲だけを繰り返し再生（リピート）したりできます。

1 **CDファンクションの停止中に、オプションメニューで［設定］－［再生モード設定］を選ぶ。**

2 **設定したい項目を選ぶ。**

3 **各項目を設定する。**

以下の「設定項目一覧」の表の各項目を、プルダウンメニューから選んで設定します。

4 **［閉じる］を選ぶ。**

各項目の設定内容が表示されます。

設定項目一覧

再生モード

◆ コンティニュー（表示なし）	記録されている通りの曲順で再生
シャッフル SHUF	曲順を変えて再生

（◆：お買い上げ時の設定）

リピートモード

◆ OFF（表示なし）	リピート再生しない
ON	再生エリア内のすべての曲をくり返し再生
トラック	1曲だけをくり返し再生

（◆：お買い上げ時の設定）

再生する

録音する・取込む

さまざまな音源からHDDジュークボックスに曲を録音したり、取込むことができます。

録音する・取込むことができるもの

本機のHDD(ハードディスク)には以下の音源から録音したり、取込むことができます。

	CD	ラジオ	外部機器	USB ストレージ	PC共有 フォルダ	ANY MUSIC
操作する ファンクション	CD	チューナー	アナログイン デジタルイン*[1]	HDDジューク ボックス	HDDジューク ボックス	ANY MUSIC
操作	HDD録音● ボタン	HDD録音● ボタン	HDD録音● ボタン	オプションメニュー([ファイル取込み])	オプションメニュー([ファイル取込み])	"エニーミュージック"からダウンロード
録音/取込みの単位	曲/ アルバム	—	—	フォルダ	フォルダ	曲/アルバム
録音/取込み時に選べるフォーマット	リニアPCM/ ATRAC/MP3	リニアPCM/ ATRAC/MP3	リニアPCM/ ATRAC/MP3	MP3/ リニアPCM*[2]/ ATRAC*[2]	MP3/ リニアPCM*[2]/ ATRAC*[2]	ATRAC3
録音/取込み時に選べるビットレート	フォーマットに対応するものを選択可能	フォーマットに対応するものを選択可能	フォーマットに対応するものを選択可能	取込み元と同じ	取込み元と同じ	132kbps

*[1] デジタルコピー禁止の情報を持ったデジタル信号(＊)はデジタルイン録音をすることはできません。
(＊:著作物をデジタル録音したMDディスクやDATテープを再生したときの信号や、放送局側でコピー禁止を意図したBS/CSなどのデジタルチューナー信号など)

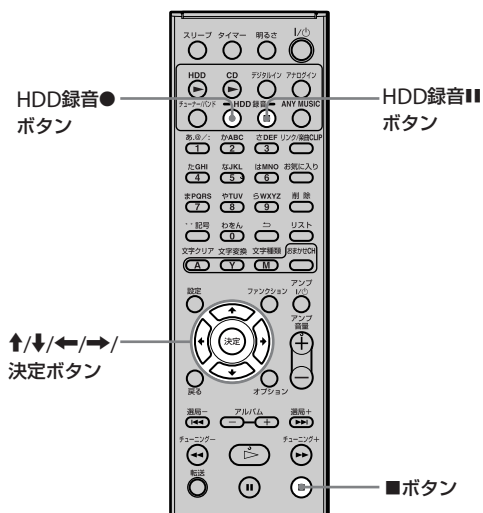
*[2] 拡張子がomaで著作権保護されていないファイルのみ。

フォーマットについて

本機では、HDDジュークボックスに保存する音楽データのフォーマット(データ形式)を選べます。フォーマットによって、データ容量や転送できる機器やディスクなどが異なるので、目的に合ったものを選んでください。

	リニアPCM	ATRAC		MP3
		ATRAC3	ATRAC3plus	
音楽データの内容	圧縮しない (CDと同等の音質)	リニアPCMデータを約1/10に圧縮	リニアPCMデータを約1/20に圧縮	リニアPCMデータを約1/10に圧縮
可能な編集作業	情報編集 削除 移動 分割 結合 フォーマット変換	情報編集 削除 移動 分割 結合	情報編集 削除 移動 分割 結合	情報編集 削除 移動
転送できる機器*	"ウォークマン" (ATRAC AD)	"ウォークマン" (ATRAC AD) PSP	"ウォークマン" (ATRAC AD) PSP	"ウォークマン" (ATRAC AD) USBストレージ

* 対応機種はhttp://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。

録音・取込みの設定をする

1 各ファンクションのオプションメニューで[設定] – [録音]を選ぶ。

CDファンクションの場合

2 設定したい項目を選ぶ。

3 各項目を設定する。

プルダウンメニューから「設定項目一覧」の表にある各項目を選んで設定します。

4 [閉じる]を選ぶ。

設定項目一覧

フォーマット/ビットレート

フォーマットはHDDに録音する曲のデータ形式です。ビットレートは、録音するときの情報量を表します。

フォーマット	ビットレート
ATRAC3	66kbps 105kbps 132kbps
ATRAC3plus	48kbps 64kbps 256kbps
◆ リニアPCM	—
MP3	96kbps 128kbps 160kbps 192kbps 256kbps

（◆：お買い上げ時の設定）

モニター音再生

CDをHDDに録音する場合、再生しながら録音するかどうかを選びます。録音が終了すると、モニター音再生も止まります。

再生	先頭曲から連続再生
イントロ再生	先頭曲から最終曲までの各曲をはじめの数秒再生（次の曲の録音が開始した時点で次の曲の再生が始まります。）
◆ OFF	無音状態で録音する。 モニター音再生時よりも録音速度が速くなります。

（◆：お買い上げ時の設定）

トラックマーク

チューナーやアナログイン、デジタルインから録音するとき、トラックマークが自動的につきます。トラックマークの間隔を設定します。オートの場合、ラジオの音楽とトークを判別し、トラックマークがつきます。

チューナー	
10分	設定した時間単位でトラックマークがつく。
◆30分	
60分	
120分	
レベルシンク	入力信号で判別する。
オート	ラジオの音楽とトークを判別する。

（◆：お買い上げ時の設定）

次のページにつづく

アナログイン・デジタルイン*

10分	設定した時間単位でトラックマークがつく。
30分	
60分	
120分	
◆レベルシンク	入力信号で判別する。

（◆:お買い上げ時の設定）

* CD、MD、DATデッキからデジタルイン録音する場合は、設定した時間単位と、元のディスクやテープと同じ位置にトラックマークがつきます。

レベルシンクレベル（アナログイン・チューナーのみ）*

入力信号の検出レベルが調節できます。

設定範囲： −96dB ～ 0dB ◆ −50.0dB	雑音が多く曲番がつきにくいときは設定レベルを上げると曲番がつきやすくなる。お買い上げ時は−50.0dBに設定。

（◆:お買い上げ時の設定）

*「トラックマーク」の設定が「レベルシンク」の場合のみ

ご注意

デジタルイン録音する場合は自動的に–84.0 dBに固定されます。

スマートスペース（アナログイン・デジタルインのみ）

◆ ON	3秒以上の無音部分を自動的に3秒にする。無音状態が30秒間続くと本機は録音一時停止状態になり、10分間続くと録音を停止する。無音部分のレベル検出は、レベルシンクレベルの値で行う。
OFF	スマートスペース機能を使わない。

（◆:お買い上げ時の設定）

ご注意

CD、MD、DATデッキからデジタルイン録音する場合は、自動的に「OFF」に設定されます。

自動タイトル（アナログイン・デジタルインのみ）

◆ ON	曲の波形データをもとに曲を検索し、自動でタイトル情報を取得する。*
OFF	自動タイトルを使わない。

（◆:お買い上げ時の設定）

* 「トラックマーク」の設定が「レベルシンク」の場合のみ

録音先を変更するには

CDやラジオ、外部機器から録音するときに、オプションメニューの［設定］–［録音先］から以下の項目を設定することができます。

◆ マイライブラリ	お買い上げ時の設定。
フォルダ	プルダウンメニューでフォルダの一覧が表示されます。 新しくフォルダを追加したい場合は新規フォルダを選ぶ。

（◆:お買い上げ時の設定）

ご注意

- 録音設定は、録音中および録音一時停止中には設定できません。
- スマートスペース、レベルシンクは、曲の長さが16秒以上の場合だけ有効になります。
- 録音先設定は、録音中および録音一時停止中には設定できません。

ちょっと一言

録音先設定はCD/チューナー /アナログイン/デジタルインの各ファンクションで個別に設定できます。

CDを録音する

音楽CDを本機のHDDに録音します。全曲録音と曲単位の録音を選べます。

CDを全曲録音する

1 **ファンクションメニューで［CD］を選ぶ。**

オプションメニューで設定できる録音設定項目は次のとおりです（29 ～このページ参照）。

- フォーマット
- ビットレート
- モニター音
- 録音先

2 **CDを入れる。**

自動的にCD情報が取得され（CD情報/CD TEXT）、画面に表示されます（22ページ）。

3 HDD録音●ボタンを押す。

録音が始まります。

録音が終わると、自動的にCDのメイン画面に戻ります。

録音を途中で止めるときは、■ボタンを押します。

曲を選んで録音する

1 ファンクションメニューで[CD]を選ぶ。

オプションメニューで設定できる録音設定項目は次のとおりです（29 ～ 30ページ参照）。

- フォーマット
- ビットレート
- モニター音
- 録音先

2 CDを入れる。

3 CDのメイン画面でHDD録音❚❚ボタンを押す。

チェックマーク✔のついている曲が録音されます。

4 録音する曲を選ぶ。

録音しない曲は決定ボタンを押して、チェックマークをはずします。

5 HDD録音●ボタンを押す。

録音が始まります。

ちょっと一言

すべての曲を選ぶには、オプションメニューで[トラック選択] – [全選択]を選びます。また、チェックマークをすべてはずすには、[トラック選択] – [全解除]を選びます。

ラジオを録音する

ラジオの音声を本機のHDDに録音します。

1 チューナー /バンドボタンを押す、またはファンクションメニューで[チューナー]を選ぶ。

オプションメニューで設定できる録音設定項目は次のとおりです（29 ～ 30ページ参照）。

- フォーマット
- ビットレート
- トラックマーク*
- レベルシンクレベル
- 録音先

* 詳しくは、32ページ「音楽とトークの自動判別について」をご覧ください。

2 チューナー /バンドボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。

3 ラジオ局を選ぶ（25ページ）。

4 HDD録音●ボタンを押す。

録音が始まります。

5 ■ボタンを押す。

録音が停止します。

録音を一時停止するにはHDD録音❚❚ボタンを押します。

ちょっと一言

録音中にHDD録音●ボタンを押すと、曲番がつきます（「トラックマーク」の設定が「オート」以外のとき）。曲番をつける間隔は、最小16秒です。

音楽とトークの自動判別（エアチェック（Talk）/（Music）チャンネル）について

「トラックマーク」設定が「オート」のとき、音楽とトークを判別し、別々のトラックとして録音されます。

HDDジュークボックスを再生する際に、リストを変えると、トークのみ、音楽のみをまとめて再生することができます（35、37ページ）。

ご注意

「オート」設定での音楽とトークの判別は完全なものではありません。場合によっては正しく判別できないことがあります。

ちょっと一言

「トラックマーク」の設定が「オート」のときは、以下のようになります。

- HDDに録音したラジオの音声のタイトル名は、自動的に「[T]（トーク）または[M]（音楽） 日付 録音開始時刻 ラジオ局名（登録されていない場合は、バンドと周波数）」になります。
- 録音したものは、おまかせチャンネルのエアチェック(Talk)/(Music)チャンネルに分類されます。

外部機器から録音する

本機やアンプにつないだ外部機器（レコードプレーヤーやMDデッキなど）のアナログ/デジタル音声を、本機のHDDに録音できます。アンプとの接続について詳しくは、78ページをご覧ください。

1 **アンプ側で録音したい外部機器を選ぶ。**

2 **アナログインまたはデジタルインボタンを押してファンクションを選ぶ。**

オプションメニューで設定できる録音設定項目は次のとおりです（29 ～ 30ページ参照）。

- フォーマット
- ビットレート
- トラックマーク
- レベルシンクレベル
- スマートスペース
- 自動タイトル
- 録音先

3 **ファンクションをデジタルインにした場合は、メイン画面で⬅/➡ボタンを押して[コアキシャル]または[オプチカル]を選ぶ。**

4 **外部機器を再生する。**

5 **HDD録音●ボタンを押す。**

録音が始まります。

6 **■ボタンを押す。**

録音が停止します。

「自動タイトル」設定が「ON」のときおよび「トラックマーク」設定が「レベルシンク」のとき、録音終了後自動でタイトル名を取得した後、自動的にメイン画面に戻ります。

録音を一時停止するときはHDD録音❚❚ボタンを押します。

入力レベルを調整するには（アナログ入力のみ）

本機の入力レベルを調整することができます。ポータブル機器からのアナログイン録音の場合など、入力レベルが小さいときは[高感度]に設定してください。

オプションメニューで[設定] – [入力感度切り換え] – [標準]または[高感度]を選びます。

ちょっと一言

- 録音中にHDD録音●ボタンを押すと、曲番がつきます。曲番をつける間隔は、最小16秒です。
- 「自動タイトル」設定がOFFの場合、日付・時刻などが記録されます。

USBストレージからファイルを取込む

USBストレージに保存されている曲を本機のHDDに取込むことができます。

1 **ファンクションメニューで [HDDジュークボックス]を選ぶ。**

2 **USBストレージをUSB端子につなぐ。**

つなぐポータブル機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

3 オプションメニューで[ファイル取込み]－[USBストレージ]を選ぶ。

4 メディア選択画面が表示された場合はメディアを選ぶ。

接続したUSBストレージにメディアが1つしかない場合はこの画面は表示されません。

5 取込みたいアルバムを選ぶ。

選択されたアルバムにチェックマークが入ります。

選択後、もう一度決定ボタンを押すとチェックをはずすことができます。

6 [取込み]を選ぶ。

ご注意

- 一度に取込めるのは、最大10,000曲です（99ページ）。
- 前面、後面両方のUSB端子に接続した場合、前面に接続された機器が優先されます。

PC共有フォルダからファイルを取込む

本機がネットワーク接続しているとき、お手持ちのパソコン（共有フォルダ）に保存されている曲を本機のHDDに取込むことができます。

あらかじめパソコンで共有フォルダの設定をしておく必要があります（89ページ）。

1 ファンクションメニューで[HDDジュークボックス]を選ぶ。

2 オプションメニューで[ファイル取込み]－[PC共有フォルダ]を選ぶ。

3 以下の手順で共有フォルダを選ぶ。

1 項目を選ぶ。

コンピュータ名	コンピュータ名またはIPアドレスを入力（半角英数字で15文字まで）
共有名	共有フォルダを設定したとき（89ページ）につけた共有名
ユーザー名	共有フォルダを設定したときにアクセス許可したユーザー名
パスワード	共有フォルダにパスワードがかかっているときのみ必要

2 文字を入力する。

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（17ページ）をご覧ください。

3 [接続]を選ぶ。

4 取込みたいアルバムを選ぶ。

選択されたアルバムにチェックマークが入ります。

選択後、もう一度決定ボタンを押すとチェックマークがはずれます。

5 [取込み]を選ぶ。

ご注意

一度に取込めるのは、最大10,000曲です（99ページ）。

コンピュータ名を確認するには（Windows XP Home Editionの場合）

スタートメニューで[コントロールパネル]－[システム]を選び、システムのプロパティ画面の[コンピュータ名]タブをクリックすると、[フルコンピュータ名]欄に表示されます。

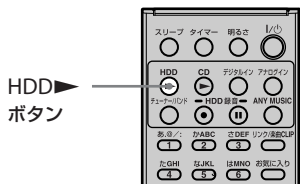
IPアドレスを確認するには（Windows XP Home Editionの場合）

スタートメニューで[コントロールパネル]－[ネットワーク接続]を選んでから、使用しているネットワークを選び、[サポート]タブをクリックすると、表示されます。

“エニーミュージック”からダウンロードする

“エニーミュージック”にユーザー登録しておくと、音楽ダウンロードサービスから曲をダウンロードすることができます。“エニーミュージック”に登録する前に試聴などサービスの一部を体験することができます（68ページ）。

サービスの詳細は、別冊の「エニーミュージックサービス利用ガイド」をご覧ください。

HDDジュークボックスを再生する

1 アンプの入力切り換えで本機が接続されているファンクションを選ぶ。

2 HDD►ボタンを押す。

曲の再生が始まります。

最後に再生/録音した曲が再生されます。

HDDジュークボックス再生画面について

“エニーインフォ”を見る

“エニーインフォ”は、“エニーミュージック”から提供される最新おすすめ情報です。ダウンロードできる音楽の情報やオンラインCDショップのレコメンド情報などが表示されます。ネットワークに接続すると、メイン画面下部に“エニーインフォ”が自動的に表示されます。詳しくは70ページ「“エニーインフォ”を利用する」をご覧ください。

“エニーインフォ”の自動表示をやめたい場合は、オプションメニューで[設定] – [エニーインフォ] – [OFF]を選びます。

ちょっと一言

ネットワーク接続していない場合は、メイン画面に「ネット接続でエニーインフォが見られます」と表示されます。

その他の操作をするには

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	❚❚ボタンを押す。 もう一度押すか、▷ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に ◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	再生中に ❙◀◀/▶▶❙ボタンで曲を選ぶ。
曲を選んで再生する	↑/↓/←/→ボタンで曲を選ぶ。または曲番の数字を1～9,0のボタンで押したあと、決定ボタンを押す（23ページ）。
アルバムを選ぶ	アルバム＋またはアルバム－ボタンでアルバムを選ぶ。
時間表示を切り換える	再生中にオプションメニューで[表示] – [時間表示] – [経過時間]または[残り時間]を選ぶ（23ページ）。

ご注意

トラック階層（16ページ）以外の階層では、数字ボタンを使って曲番を選ぶことはできません。

アルバムや曲の情報を見る

1 情報を見たいアルバムまたは曲を選ぶ。

2 オプションメニューで[表示] – [アルバム情報]または[トラック情報]を選ぶ。

タイトルまたはアーティスト、ジャンルの全文を見るには、[タイトル]または[アーティスト]、[ジャンル]を選びます。

リストを切り換える –モード切り換え

HDDジュークボックス内の曲に登録されている情報を使って、リスト画面を、アルバム順やアーティスト順、ジャンル順で表示し、その順番で再生することができます。

1 **ファンクションメニューで[HDDジュークボックス]を選ぶ。**

リストの種類

2 **オプションメニューで[モード切り換え]–[(リストの種類)]を選ぶ。または⬅ボタンをくり返し押して「モード」階層にし、リストの種類を選ぶ。**

ご注意

リストによってはすべての曲が表示されないことがあります。

リストの種類	表示と構成
◆アルバム	アルバムごとに表示 [アルバム名]–[曲名]
アーティスト	アーティストごとに表示 [アーティスト名]–[アルバム名]–[曲名]
ジャンル	ジャンルごとに表示 [ジャンル名]–[アルバム名]–[曲名]

リストの種類	表示と構成
録音ソース	録音ソースごとに表示 [録音ソース名]–[アルバム名]–[曲名] 録音ソース： CD チューナー ANY MUSIC アナログイン デジタルイン ファイル取込み
フォルダ	フォルダごとに表示 [フォルダ名]–[グループ名]–[曲名]
プレイリスト	お気に入りリストやその他のプレイリストごとに表示 [プレイリスト(お気に入り)名]–[曲名]

(◆:お買い上げ時の設定)

リスト表示例を36、37ページで説明しています。

各リスト内で並び替える–ソート

各リストの表示順を並び替えることができます。

1 **並び替えたいリスト画面を表示させる。**

2 **オプションメニューで[表示]–[並び替え]–[(並び替えかた)]を選ぶ。**

リスト	並び替え項目
アルバム	◆ 新しい日付け順
	古い日付け順
	50音順*
	50音逆順
アーティスト	◆ 50音順
	50音逆順
ジャンル	◆ 50音順
	50音逆順

* あ〜ん→A 〜 Z→0 〜 9→記号、の順に並びます。

(◆:お買い上げ時の設定)

ご注意

フォルダモード、プレイリストモードでは、並び替えができません。

[リスト表示例1]

例：CDをHDDの中にある「マイライブラリ」フォルダに録音し、その後1曲目と3曲目をお気に入り登録した場合

CD「NJフィーバー」

曲番	曲名	アーティスト名	ジャンル
1	街を疾走する	Nuri30	POP
2	Jukeboxヒロイン	AIKAバンド	ROCK
3	Summer'07	山下みき	JAZZ
4	GROGGY GLORY	U-ki	ROCK
5	KISS	山下みき	POP

録音後、モードを切り換えるごとに、次のように表示されます。

アルバムモード

アーティストモード

アーティスト階層		アルバム階層		トラック階層
山下みき	—	NJフィーバー	┬	Summer'07 KISS
AIKAバンド	—	NJフィーバー	—	Jukeboxヒロイン
Nuri30	—	NJフィーバー	—	街を疾走する
U-ki	—	NJフィーバー	—	GROGGY GLORY

ジャンルモード

ジャンル階層		アルバム階層		トラック階層
JAZZ	—	NJフィーバー	—	Summer'07
POP	—	NJフィーバー	┬	街を疾走する KISS
ROCK	—	NJフィーバー	┬	Jukeboxヒロイン GROGGY GLORY

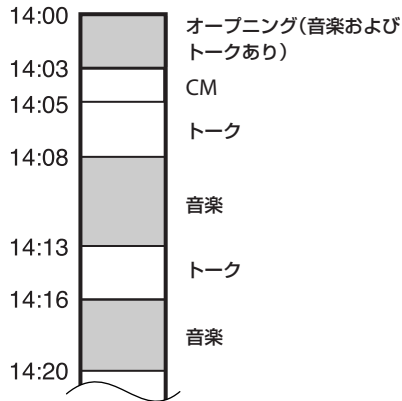
録音ソースモード

フォルダモード

プレイリストモード

プレイリスト階層		トラック階層
お気に入り	┬	街を疾走する Summer'07

[リスト表示例2]

例:「トラックマーク」設定をオートにして、ラジオを録音(2007年1月15日2:00PMから2:30PMまでFMJ-TOYOを録音)した場合

録音開始から終了までが1つのアルバムとして登録されます。

アルバム:2007/1/15 2:00 PM FM J-TOYO	
1	[M] 2007/1/15 2:00 PM FM J-TOYO
2	[T] 2007/1/15 2:03 PM FM J-TOYO
3	[M] 2007/1/15 2:08 PM FM J-TOYO
4	[T] 2007/1/15 2:13 PM FM J-TOYO
5	[M] 2007/1/15 2:16 PM FM J-TOYO
⋮	⋮

ご注意

- 音楽の部分が30秒以上続くと、音楽として認識されます。
- 音楽とトークが重なっている部分は、多くの場合、音楽として認識されます。

リスト別に下記のように表示されます。

アルバムモード

アルバム階層 ― トラック階層

2007/1/15 2:00 PM FM J-TOYO
- [M] 2007/1/15 2:00 PM...
- [T] 2007/1/15 2:03 PM...
- [M] 2007/1/15 2:08 PM...
- [T] 2007/1/15 2:13 PM...
- [M] 2007/1/15 2:16 PM...
- ⋮

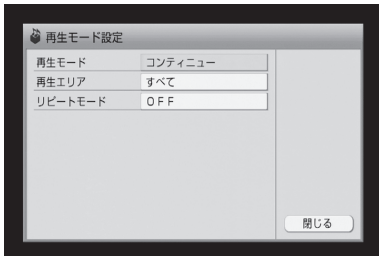
アーティストモード

ジャンルモード

録音ソースモード

リピート再生・シャッフル再生

曲順を変えて再生（シャッフル）したり、1曲だけを繰り返し再生（リピート）したりできます。

1 **停止中にオプションメニューで［設定］–［再生モード設定］を選ぶ。**

2 **設定したい項目を選ぶ。**

3 **各項目を設定する。**

プルダウンメニューから「設定項目一覧」の表にある各項目を選んで設定します。

4 **［閉じる］を選ぶ。**

各項目の設定内容がメイン画面に表示されます。

設定項目一覧

再生モード

◆ コンティニュー（表示なし）	現在のリストの曲順で再生
シャッフル SHUF	曲順を変えて再生

（◆：お買い上げ時の設定）

再生エリア

リスト（35ページ）によって再生する範囲が異なります。

アルバム	アルバム ALBUM	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	すべての曲を再生
アーティスト	アルバム ALBUM	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生
	アーティスト ARTIST	現在選ばれているアーティストのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	すべての曲を再生
ジャンル	アルバム ALBUM	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生
	ジャンル GENRE	現在選ばれているジャンルのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	すべての曲を再生
録音ソース	アルバム ALBUM	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生
	録音ソース SOURCE	現在選ばれている録音ソースのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	すべての曲を再生
フォルダ	グループ GROUP	現在選ばれているグループのすべての曲を再生
	フォルダ FOLDER	現在選ばれているフォルダのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	すべての曲を再生
プレイリスト	リスト LIST	現在選ばれているプレイリストのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	プレイリスト登録されているすべての曲を再生

（◆：お買い上げ時の設定）

リピートモード

◆ OFF （表示なし）	リピート再生しない
ON ⟲	再生エリア内のすべての曲をくり返し再生
トラック ⟲1	1曲だけをくり返し再生

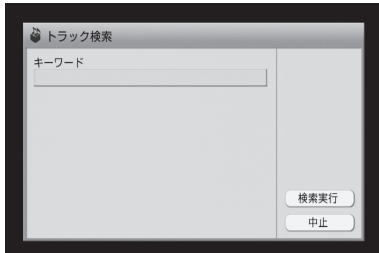
（◆：お買い上げ時の設定）

アルバムや曲を検索する

HDD内のアルバムや曲を検索できます。フォルダモードの停止中のみ操作することができます。

1 **停止中にオプションメニューで［モード切り換え］－［フォルダ］を選ぶ。**

フォルダモードに切り換わります。

2 **オプションメニューで［検索］－［グループ］（アルバム）または［トラック］を選ぶ。**

3 **決定する。**

キーワード入力画面が表示されます。

4 **キーワード（検索するアルバムまたは曲の名前）を入力する。**

5 **［検索実行］を選ぶ。**

検索が始まります。

検索が終わると、タイトル検索結果画面が表示されます。

検索したアルバムまたは曲を表示するには

アルバムまたは曲を選びます。

アルバムまたはトラック検索画面に戻るには

［条件入力へ］を押します。

おまかせチャンネルを再生する

本機は、HDD内に入っている曲を自動で解析し、25個のチャンネルに分類しています。
例えば朝起きるとき、リラックスしたいとき、元気になりたいときなど、時間帯や気分に合わせてチャンネルを選ぶことができます。さらに、同じアーティストの曲や同じ年代の曲を集めて聞くこともでき、従来とは違った再生を楽しめます。

おまかせチャンネルとは？

本機に録音・ダウンロード・取込みした曲の「雰囲気」を、ソニー独自の12音解析技術を使って解析し、25のチャンネルに分類したものです。解析の結果、1つの曲が複数のチャンネルに同時に分類されることもあります。また、おまかせチャンネルから、アーティスト別、年代別、ムード別の曲を集めて聞ける、「MIXチャンネル」という機能もあります。

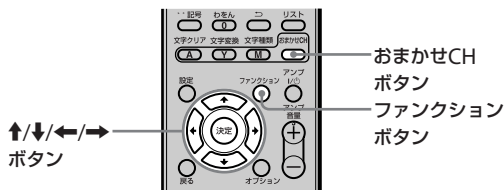
おまかせチャンネルリスト

Ch.	カテゴリ名称	チャンネル名称	説明
1◆	ベーシック	おすすめチャンネル 朝のおすすめ 昼のおすすめ 夕方のおすすめ 夜のおすすめ 深夜のおすすめ	時間帯毎のおすすめ曲
2◆	ベーシック	お気に入りチャンネル	お気に入りからランダムに100曲
3◆	ベーシック	気まぐれチャンネル	HDD内の全曲からランダムに100曲
4◆	ベーシック	新着チャンネル	録音日付が新しい順に100曲
5	ベーシック	エアチェック(Music) *	チューナー録音の音楽部分
6	ベーシック	エアチェック(Talk) *	チューナー録音の音楽以外の部分
7◆	フィール:ハッピー	ファイン・デイ	元気が良くて楽しい曲など
8	フィール:ハッピー	グリーン・パーク	さわやかで楽しい曲など
9◆	フィール:リラックス	スローライフ	ゆったりとした曲など
10	フィール:リラックス	レイニー・デイ	しっとり、もの悲しい曲など
11◆	フィール:ハイ	シフトアップ	ノリの良い曲など
12	フィール:ハイ	ベイスメント	テクノ、トランスなど
13	スタイル	カフェ	ポップで楽しい感じの曲
14	スタイル	ソファラウンジ	ジャジーな曲
15	スタイル	フォレスト・ホール	クラシック曲など
16	スタイル	ノスタルジア	録音が古い感じの曲など
17	スタイル	エクストリーム	激しいロック曲など
18	スタイル	ダンスフロア	リズムに乗ったラップ、R&Bなど
19	シーン:ホーム	おはようタイム	元気でさわやかな曲など
20	シーン:ホーム	おやすみタイム	穏やかで、静かな曲など
21	シーン:ホーム	パーティータイム	アップテンポで明るい曲など
22	シーン:ワークアウト	ウォーク	お散歩、ウォーキングに
23	シーン:ワークアウト	ラン	ジョギング、エクササイズに
24	シーン:ワークアウト	ヨーガ	アンビエント系の曲など
25	エクストラ	隠れた名曲	どのチャンネルにも含まれない曲

◆該当する曲がなくても常に表示されるチャンネル(お買い上げ時の設定)。
* エアチェックチャンネルは、録音時、「トラックマーク」設定を「オート」にすると登録されます。

MIXチャンネルリスト

リモコンのボタン名	MIXチャンネル名	説明
A (Artist)	アーティストMIX	同じアーティストの曲
Y (Year)	年代 MIX	年代が近い曲
M (Mood)	ムード MIX	雰囲気が似ている曲

おまかせチャンネルを使う

1 **おまかせCHボタンを押す、または ファンクションメニューで[おまかせチャンネル]を選ぶ。**

チャンネル選択画面が表示され、表示されている曲の盛り上がり部分から再生されます。

2 **⬆/⬇ボタンでチャンネルを選ぶ。**

選ばれているチャンネルの先頭曲の盛り上がり部分から再生されます。

3 **⬅/➡ボタンでチャンネル内の曲を選ぶ。**

それぞれの曲は曲の盛り上がり部分から再生されます。

決定ボタンを押すと、再生中の曲の先頭から再生が始まります。

その他の操作をするには

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	❚❚ボタンを押す。 もう一度押すか、▷ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	❙◀◀/▶▶❙ボタンで曲を選ぶ。

ちょっと一言

エアチェックチャンネルでは、チャンネル選択画面で、曲の盛り上がり部分ではなく、曲の先頭から再生されます。

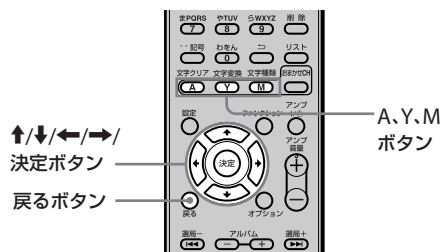
ご注意

楽曲によっては印象と異なるチャンネルに分類されたり、曲の盛り上がり部分を誤検出することがあります。

MIXチャンネルで選ぶ

おまかせチャンネル再生中に、A、Y、Mのそれぞれのボタンを押すと、HDD内の曲を使って次のようなチャンネルを一時的に作成します。

- Aボタン(Artist):同じアーティストのMIXチャンネル
- Yボタン(Year):年代が近い曲のMIXチャンネル
- Mボタン(Mood):ムードが似ている曲のMIXチャンネル

例えば、あるアーティストの曲を聴いている時にAボタンを押すと、同じアーティストの曲を集めたチャンネルを一時的に作成し、再生することができます。

1 **おまかせチャンネルを再生する。**

選べるMIXチャンネル

次のページにつづく

2 AまたはY、Mボタンを押す。

MIXチャンネルが表示されます。

Aボタンを押した場合

Yボタンを押した場合

Mボタンを押した場合

3 ←/→ボタンで曲を選び、決定ボタンを押す。

再生が始まります。

MIXチャンネルから通常のおまかせチャンネルに戻るには、↑/↓ボタンまたは戻るボタンを押します。

ご注意

- 年代MIXチャンネルに入る曲は、リリースされた年の情報のある曲に限ります。
- 年代MIXチャンネルの年代は、必ずしも初版年ではありません。アルバムまたは曲に入っているCD情報のリリース年を基準としています。

ちょっと一言

年代MIXチャンネルは以下のように構成され、表示されます。

1900 ～ 1949年：まとめて「1949年以前の曲」と表示されます。

1950 ～ 1989年：10年単位で集めます。
例：1960年から1969年までの曲を集めて「1960年代の曲」と表示されます。

1990 ～：前後1年を含んだ計3年間の曲を集めます。
例：1995年の曲を聞いている場合は、「1995年頃の曲」と表示されます。

おまかせチャンネルを設定する

起動時のチャンネルを設定する

1 オプションメニューで[設定] – [基本]を選ぶ。

2 [起動時のチャンネル] – [(設定)]を選ぶ。

前回のチャンネル	前回選ばれていたチャンネルの曲で起動します。
◆おすすめ（CH.1）	おすすめチャンネルの曲で起動します。

（◆：お買い上げ時の設定）

お気に入りチャンネルに曲を登録する

1 おまかせチャンネルを再生中に、お気に入りボタンを押す。

お気に入りチャンネルに選んだ曲が登録されます。また同時にHDDジュークボックスの「お気に入りリスト」にも登録されます。

不要な曲を非表示にする

おまかせチャンネルに登録された曲を非表示にすることができます。曲を削除したり移動することはできません。

1 表示したくない曲を再生する。

2 リモコンの削除ボタンを押す。

ポップアップ画面が表示されます。

3 [はい]を選ぶ。

曲を表示させるにはオプションメニューで[曲の非表示]－[解除]－[現在のチャンネル]または[全てのチャンネル]を選びます。ポップアップ画面が表示され、[はい]を選びます。

ご注意

Ch1 ～ 6の曲は、非表示にはできません。

不要なチャンネルを非表示にする

1 オプションメニューで[設定]－[チャンネル表示]を選ぶ。

チャンネル表示画面が表示され、選択されているチャンネルの各曲の盛り上がり部分が再生されます。

2 表示したくないチャンネルを選び、チェックマークをはずす。

表示したい場合は、再度決定ボタンを押してチェックを入れてください。

おまかせチャンネルを転送する

おまかせチャンネルをプレイリストとしてHDDジュークボックスに登録し、"ウォークマン"(ATRAC AD)に転送することができます。1つのプレイリストには、選んだチャンネルから最大50曲が選ばれ、登録されます。

1 転送したいチャンネルを再生する。

2 オプションメニューで[プレイリスト作成]を選ぶ。

ポップアップ画面が表示されます。

3 [実行]を選ぶ。

ポップアップ画面が表示されます。

4 [閉じる]を選ぶ。

プレイリストとして登録されます。

5 44 ～ 46ページの手順に従ってプレイリストを転送する。

ご注意

"ウォークマン"(ATRAC AD)に転送する場合、「かんたん転送」ではプレイリストを転送できません。「標準転送」で転送してください。

ちょっと一言

HDDジュークボックスファンクションでプレイリストモードを選ぶと、登録されたプレイリストを確認できます。プレイリスト名はチャンネル名と登録日が表示されます。

12音解析について

本機では、HDD内の楽曲をソニー独自の12音解析技術を使って解析し、25のチャンネルに分類しています。1つのチャンネルに5曲貯まると、そのチャンネルが表示されます。
自動解析は、電源がスタンバイモードのときに行われます。自動解析中は、ON/STANDBYランプが緑点灯になり、イルミネーションランプがゆっくり点滅します。
合計60分のアルバムを解析するには、約15分かかります。一度に大量の曲を録音したときは、解析に時間がかかります。

ご注意

解析中は電源コードを抜かないでください。故障の原因となります。

解析を途中で止めるには

■ボタン(停止ボタン)を押す。
解析が中断されます。未解析の曲は、再度スタンバイモードになったときに解析されます。

ちょっと一言

解析の結果、1つの曲が複数のチャンネルに同時に分類されることもあります。

手動で曲を解析するには

解析されていないHDDの曲を手動で解析します。

1 おまかせチャンネルファンクションで、オプションメニューから[手動解析]を選ぶ。

ポップアップ画面が表示されます。

2 [実行]を選ぶ。

ポップアップ画面が表示され、解析にかかる時間を見ることができます。
手動解析を止めたいときは、[中止]を選びます。

ご注意

HDDへ大量に録音・取込みをした後は、解析に時間がかかることがあります。

転送する

本機のHDDジュークボックスに保存されているATRAC3形式、ATRAC3plus形式、MP3形式、リニアPCM形式の音楽データをポータブル機器に転送できます。

転送できるもの

転送先の機器によって、フォーマット(データ形式)が異なります。転送できる対応機種はhttp://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。

転送先	転送できるフォーマット
"ウォークマン"(ATRAC AD)	ATRAC3、ATRAC3plus、MP3、リニアPCM
USBストレージ	MP3、リニアPCM*1
携帯電話	ATRAC3、ATRAC3plus、MP3、リニアPCM*1
PSP	ATRAC3、ATRAC3plus、MP3*2、リニアPCM*1

*1 転送時のフォーマット変換設定で、リニアPCM形式のデータを変換して転送できます。(お買い上げ時は、転送時にフォーマット変換が行われるように設定されています。)
*2 "メモリースティック" PRO デュオのみ

転送できる単位

転送先によって、転送できる単位が以下のように異なります。また、フォルダを転送するときはフォルダ階層、アルバムを転送するときはアルバム階層、というように、リスト画面の階層を合わせてください。

"ウォークマン"(ATRAC AD)、USBストレージ、携帯電話(MP3ファイル)	アルバム、プレイリスト、曲
携帯電話(メモリースティックオーディオ)、PSP	プレイリスト、曲

ご注意

- 転送回数が制限されている音楽データを転送するときは、あらかじめ転送できる回数を確認してください(50ページ)。
- 前面、後面両方のUSB端子に接続した場合、前面に接続された機器が優先されます。
- .mp3の拡張子のファイルとして転送できるのは、USBストレージのみです。

転送ボタンを設定する

リモコンと本体の転送ボタンを押したときの転送先を設定します。お買い上げ時は"ウォークマン"(ATRAC AD)に設定されています。

1 **ファンクションメニューで [HDD ジュークボックス] を選ぶ。**

2 **オプションメニューで[設定] – [転送ボタン] – [転送先] – [(転送先)]を選ぶ。**

3 **"ウォークマン"(ATRAC AD)の場合、[かんたん転送]または[標準転送]を選ぶ。**

◆かんたん転送	前回かんたん転送した日時以降に録音・取込みされた曲がグループ単位で表示され、チェックマークがつきます。*
標準転送	現在選ばれている曲またはグループ/アルバムが表示されます。

(◆お買い上げ時の設定)

* 次回からの転送では、前回転送した日時以降にHDDに記録された曲(最大30グループ)がチェックされます。転送先のデータ容量を超えるとその時点でチェックマークは付かなくなります。

"ウォークマン"(ATRAC AD)に転送する

ご注意

- "ウォークマン"(ATRAC AD)に転送中は、USBケーブルを抜かないでください。本機および"ウォークマン"(ATRAC AD)が正しく動作しなくなることがあります。
- 対応機能および対象機種について詳しくは、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。
- 前面、後面両方のUSB端子に接続した場合、前面に接続された機器が優先されます。

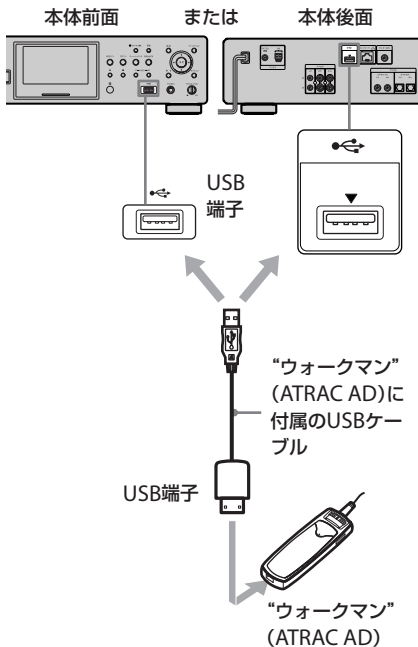
かんたん転送

前回転送した日時以降にHDDに記録された曲が、自動的に選ばれます。
本機では、つないだ"ウォークマン"(ATRAC AD)を識別しているので、"ウォークマン"(ATRAC AD)ごとの転送記録を持っています。
リニアPCM形式の曲は、ATRAC3/132kbpsに変換して転送されます。

ちょっと一言

リニアPCM形式の曲をATRAC3/132kbps以外のフォーマットに変換して転送したい場合は、「標準転送」(このページ)の手順に従って操作してください。

1 "ウォークマン"(ATRAC AD)をUSB端子につなぐ。

つなぐ"ウォークマン"(ATRAC AD)の取扱説明書もあわせてご覧ください。

2 ファンクションメニューで[HDDジュークボックス]を選ぶ。

転送ボタンがウォークマン(ATRAC AD)に設定されていることを確認してください(44ページ参照)。

3 リモコンまたは本体の転送ボタンを押す。

4 HDD内の未転送のグループにチェックマーク✔がついていることを確認する。

転送したくないグループはチェックマークをはずします。

転送先の残容量

5 [実行]を選ぶ。または転送ボタンを押す。

標準転送

1 "ウォークマン"(ATRAC AD)を本機のUSB端子につなぐ。

2 ファンクションメニューで[HDDジュークボックス]を選ぶ。

3 オプションメニューで[転送]－[ウォークマン]－[標準転送]を選ぶ。

4 リニアPCM形式の曲をリニアPCM形式のまま転送する場合、またはATRAC3/132kbps以外のフォーマット/ビットレートに変換して転送する場合は、[設定]を選ぶ。

フォーマット設定画面が表示されます。
本機はリニアPCM形式の曲を転送する際、自動的にATRAC3/132 kbpsに変換して転送するように設定されています。
リニアPCM形式の曲をATRAC3/132 kbpsで転送する場合、またはリニアPCM以外の形式の曲を転送する場合は、手順8へ進んでください。

次のページにつづく

5 [変換方式]を選び、プルダウンメニューから[自動]または[フォーマット指定]を選ぶ。

◆自動	接続された機器で再生できるフォーマットを、本機が自動で選んで転送します。
フォーマット指定	手順6でお好みのフォーマットとビットレートを選んで転送します。

(◆:お買い上げ時の設定)

6 手順5で[フォーマット指定]を選んだ場合は、[フォーマット]と[ビットレート]のプルダウンメニューからお好みのフォーマットとビットレートを選ぶ。

7 [閉じる]を選ぶ。

8 転送したいアルバムまたはプレイリスト、グループ、曲などを選ぶ。

9 [実行]を選ぶ。

ちょっと一言

- "ウォークマン"(ATRAC AD)の削除予定リストに曲が登録されていると、本機および"ウォークマン"(ATRAC AD)に、確認メッセージが表示されます。
- 本機のプレイリストを"ウォークマン"(ATRAC AD)に転送すると、"ウォークマン"(ATRAC AD)内でプレイリストとして認識されます。

ご注意

- ポータブル機器にACパワーアダプターが付属している場合は、AC パワーアダプターをつないで家庭用電源でお使いになることをおすすめします。
  電池で使う場合は、電池の残量が充分にあることを確認してください。電池の残量不足による不具合や、転送の失敗、音楽データの破壊などについては保証いたしませんので、ご注意ください。
- "ウォークマン"(ATRAC AD)に転送中は、USBケーブルを抜かないでください。本機および"ウォークマン"(ATRAC AD)が正しく動作しなくなることがあります。
- フォーマット変換画面で指定したフォーマットによっては、転送先のメディアに転送できない場合があります。転送先の"ウォークマン"(ATRAC AD)の仕様を確認してください。

USBストレージに転送する

ご注意

USBストレージに転送中は、USBケーブルを抜かないでください。本機およびUSBストレージが正しく動作しなくなることがあります。

1 USBストレージをUSB端子につなぐ。

つなぐポータブル機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

2 ファンクションメニューで[HDD ジュークボックス]を選ぶ。

転送ボタンがUSBストレージに設定されていることを確認してください(44ページ参照)。

3 リモコンまたは本体の転送ボタンを押す。

4 メディア選択画面が表示された場合はメディアを選ぶ。

接続したUSBストレージにメディアが1つしかない場合はこの画面は表示されません。

5 [設定]を選ぶ。

USBストレージの転送先フォルダと、リニアPCM形式の曲の転送フォーマットを設定できます。

6 [転送先フォルダを]を選び、プルダウンメニューから転送先フォルダを選ぶ。

◆初期設定にする	「¥¥Music」に保存されます。
rootに設定する	USBストレージのルートに保存されます。
指定する	フォルダ名を入力してください。

(◆:お買い上げ時の設定)

7 **リニアPCM形式の曲を転送する場合は、[変換方式]を選び、プルダウンメニューで[自動]または[フォーマット指定]を選ぶ。**

◆自動	接続された機器で再生できるフォーマットを、本機が自動で選んで転送します。
フォーマット指定	MP3形式で転送します。(手順8でお好みのビットレートを選ぶことができます。)

(◆:お買い上げ時の設定)

8 **手順7で[フォーマット指定]を選んだ場合は、[ビットレート]のプルダウンメニューからお好みのビットレートを選ぶ。**

9 **[閉じる]を選ぶ。**

USBストレージ転送画面に戻ります。

10 **転送したいアルバムまたはプレイリスト、グループ、曲などを選ぶ。**

11 **[実行]を選ぶ。または転送ボタンを押す。**

ご注意

ポータブル機器にACパワーアダプターが付属している場合は、AC パワーアダプターをつないで家庭用電源でお使いになることをおすすめします。
電池で使う場合は、電池の残量が充分にあることを確認してください。電池の残量不足による不具合や、転送の失敗、音楽データの破壊などについては保証いたしませんので、ご注意ください。

携帯電話に転送する

携帯電話のメモリースティックに転送する

1 **携帯電話を本機のUSB端子につなぐ。**

2 **つないだ機器をUSBで接続できるモードにする。**

設定のしかたについて詳しくは、つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。

3 **ファンクションメニューで[HDDジュークボックス]を選ぶ。**

転送ボタンが携帯電話(メモリースティックオーディオ)に設定されていることを確認してください(44ページ参照)。

4 **リモコンまたは本体の転送ボタンを押す。**

5 **[設定]を選ぶ。**

携帯電話の転送先グループ設定と、リニアPCM形式の曲の転送フォーマットを設定できます。

6 **[転送先グループ]を選び、プルダウンメニューから転送先グループを選ぶ。**

◆新規グループ	選ばれている曲を、新しくグループを作って転送します。
転送先グループ(既存グループ)	選ばれている曲を、既にあるグループに転送します。

(◆:お買い上げ時の設定)

7 **リニアPCM形式の曲を転送する場合は、[変換方式]を選び、プルダウンメニューで[自動]または[フォーマット指定]を選ぶ。**

◆自動	接続された機器で再生できるフォーマットを、本機が自動で選んで転送します。
フォーマット指定	手順8でお好みのフォーマットとビットレートを選んで転送します。

(◆:お買い上げ時の設定)

次のページにつづく

8 手順7で[フォーマット指定]を選んだ場合は、[フォーマット]と[ビットレート]のプルダウンメニューからお好みのフォーマットとビットレートを選ぶ。

9 [閉じる]を選ぶ。

10 転送したいアルバムまたはプレイリスト、グループ、曲などを選ぶ。

11 [実行]を選ぶ。または転送ボタンを押す。

携帯電話の内蔵メモリなどに転送する

1 携帯電話を本機のUSB端子につなぐ。

2 つないだ機器をUSBで接続できるモードにする。

設定のしかたについて詳しくは、つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。

3 ファンクションメニューで[HDDジュークボックス]を選ぶ。

転送ボタンが携帯電話(MP3ファイル)に設定されていることを確認してください(44ページ参照)。

4 リモコンまたは本体の転送ボタンを押す。

5 メディア選択画面が表示された場合はメディアを選ぶ。

接続した携帯電話にメディアが1つしかない場合はこの画面は表示されません。

6 [設定]を選ぶ。

携帯電話の転送先フォルダ設定と、リニアPCM形式の曲の転送フォーマットを設定できます。

7 [転送先フォルダを]を選び、プルダウンメニューから転送先フォルダを選ぶ。

◆初期設定にする	転送先の音楽データフォルダに保存されます*。
rootに設定する	転送先のルートに保存されます。
指定する	転送先のフォルダ名を変えるときに入力してください。

(◆:お買い上げ時の設定)

* 機種によっては、音楽データを保存できても再生できないことがあります。

8 リニアPCM形式の曲を転送する場合は、[変換方式]を選び、プルダウンメニューで[自動]または[フォーマット指定]を選ぶ。

◆自動	接続された機器で再生できるフォーマットを、本機が自動で選んで転送します。
フォーマット指定	MP3形式で転送します。(手順9でお好みのビットレートを選ぶことができます。)

(◆:お買い上げ時の設定)

9 手順8で[フォーマット指定]を選んだ場合は、[ビットレート]のプルダウンメニューからお好みのビットレートを選ぶ。

10 [閉じる]を選ぶ。

11 転送したいアルバムまたはプレイリスト、グループ、曲などを選ぶ。

12 [実行]を選ぶ。または転送ボタンを押す。

PSPに転送する

1 PSPを本機のUSB端子につなぐ。

2 つないだ機器をUSB接続モードにする。

設定のしかたについて詳しくは、つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。

3 ファンクションメニューで[HDDジュークボックス]を選ぶ。

転送ボタンがPSPに設定されていることを確認してください(44ページ参照)。

4 リモコンまたは本体の転送ボタンを押す。

5 [設定]を選ぶ。

PSPの転送先グループ設定と、リニアPCM形式の曲の転送フォーマットを設定できます。

6 [転送先グループ]を選び、プルダウンメニューから転送先グループを選ぶ。

◆新規グループ	選ばれている曲を、新しくグループを作って転送します。
転送先グループ(既存グループ)	選ばれている曲を、既にあるグループに転送します。

(◆:お買い上げ時の設定)

7 リニアPCM形式の曲を転送する場合は、[変換方式]を選び、プルダウンメニューで[自動]または[フォーマット指定]を選ぶ。

◆自動	接続された機器で再生できるフォーマットを、本機が自動で選んで転送します。
フォーマット指定	手順8でお好みのフォーマットとビットレートを選んで転送します。

(◆:お買い上げ時の設定)

8 手順7で[フォーマット指定]を選んだ場合は、[フォーマット]と[ビットレート]のプルダウンメニューからお好みのフォーマットとビットレートを選ぶ。

9 [閉じる]を選ぶ。

10 転送したいアルバムまたはプレイリスト、曲などを選ぶ。

11 [実行]を選ぶ。または転送ボタンを押す。

その他の操作

オプションメニューを使って転送するには

1 転送したい機器を準備する。

2 ファンクションメニューで[HDDジュークボックス]を選ぶ。

3 オプションメニューで[転送] – [(転送先)]を選ぶ。

4 転送機器に応じて、各設定をする。

- "ウォークマン"(ATRAC AD)に転送する場合は、さらに[かんたん転送]または[標準転送]を選びます。
  リニアPCM形式の曲を別のフォーマットに変換して転送する場合は、「標準転送」(45ページ)の手順4~7を行ってください。
- USBストレージに転送する場合は、「USBストレージに転送する」(46ページ)の手順4~9を行ってください。
- 携帯電話に転送する場合は、「携帯電話のメモリースティックに転送する」(47ページ)の手順5~9、または「携帯電話の内蔵メモリなどに転送する」(48ページ)の手順5~10を行ってください。
- PSPに転送する場合は、「PSPに転送する」(このページ)の手順5~9を行ってください。

5 転送したいアルバムまたは曲、プレイリストなどを選ぶ。

6 [実行]を選ぶ。

転送できる回数を確認するには

オプションメニューで[表示] – [トラック情報]を選び、[転送回数制限]を確認します。
転送トラック選択画面で曲番の前に表示されるアイコンでも、転送できる回数を確認できます。

アイコン	アイコンの意味
∞	転送回数に制限なし(ATRAC形式)
3-	あと3回以上転送可能(ATRAC形式)
2	あと2回転送可能(ATRAC形式)
1	あと1回転送可能(ATRAC形式)
0	転送不可能(ATRAC形式)
♫M	転送回数に制限なし(MP3形式)
♫P	転送回数に制限なし(リニアPCM形式)

転送を途中で止めるには

戻るボタンを押し、[はい]を選びます。
ただし、転送を途中で止めると、時間がかかる場合があります。

転送先のアルバム・曲・プレイリストを削除する

転送先のアルバム、曲を削除するには

ポータブル機器のアルバムや曲を、本機で削除することができます。
削除すると、転送回数制限のある曲の場合、本機から転送できる回数は元に戻ります。

1. **HDDジュークボックスファンクションのオプションメニューで[転送先から削除] – [(転送先)] – [(削除する単位)]を選ぶ。**
2. **削除する対象を選ぶ。**
3. **[削除]を選ぶ。**
4. **画面の内容を確認し、決定する。**

ご注意

- 削除が終了するまでは、機器を抜いたり、本機の電源を切らないでください。
- "ウォークマン"(ATRAC AD)の削除予定リストに登録されていると、本機および"ウォークマン"(ATRAC AD)に確認メッセージが表示されます。

ちょっと一言

本機につないだ"ウォークマン"(ATRAC AD)や携帯電話(メモリースティック)、PSPのオーディオデータを初期化することもできます。削除設定画面で[初期化]を選びます。

転送先のプレイリストを削除するには

"ウォークマン"(ATRAC AD)のプレイリストを削除することができます。削除するとプレイリストは消去されますが、プレイリスト内の音楽データは残ります。

1. **"ウォークマン"(ATRAC AD)を本機のUSB端子につなぐ。**
2. **HDDジュークボックスファンクションのオプションメニューで[転送先から削除] – [ウォークマン] – [プレイリスト]を選ぶ。**
3. **削除する対象を選ぶ。**
4. **[削除]を選ぶ。**
5. **画面の内容を確認し、決定する。**

編集できるもの

HDDジュークボックス内のフォルダ/アルバム/グループや曲、情報などを編集できます。

項目	できること
情報編集	フォルダ名、アルバム名、曲名、アーティスト名、ジャンル名、グループ名、プレイリスト名
	画像ファイルの登録
削除	フォルダ、アルバム、曲、プレイリスト、グループ
移動	フォルダ、曲、プレイリスト、グループ
新規作成/グループ新規作成	フォルダ、プレイリスト、グループ
プレイリストに登録	曲
フォーマット変換	リニアPCM形式の曲
分割	曲*
結合	曲*

* MP3形式の曲は編集できません。

ご注意

- “エニーミュージック”で購入した曲は分割、結合はできません。
- フォルダモードのマイライブラリ、プレイリストモードのお気に入りリストは編集できません。

楽曲(CD)情報を検索・取得する

本機にあらかじめ入っている情報を使ったり、本機がネットワーク接続時、楽曲(CD)情報を検索して、検索結果を登録することができます。

- アルバム情報を検索

同じ曲順で入っているアルバムを検索し、アルバムにまとめてつけることができます。複数の名前が検索されたときは、選択して、取得できます。

- トラック情報を検索

1曲ずつ検索します。複数の情報が検索されたときは、選択して、取得できます。

- トラック一括登録

HDD内にばらばらに入っている曲をまとめて、それぞれに名前をつけることができます。名前の登録まで自動的に行います。

アルバム情報を検索・取得する

アルバム単位で一括してタイトルをつけたいときに便利です。HDDに入っているアルバム内の曲がオリジナルアルバムの順番どおりに並んでいる場合にのみ有効です。
複数の情報が検索された場合、候補がリスト表示されるので選択できます。

1 **情報を検索したいアルバムを選び、オプションメニューで[CD情報取得] – [オリジナルアルバム]を選ぶ。**

検索が始まります。

検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

2 **取得したい情報を選び、[取得]を選ぶ。**

トラック情報を検索・取得する

1曲ずつタイトルをつけます。間違って取得されたタイトルを取得し直すときなどに便利です。
複数の情報が検索された場合、候補がリスト表示されるので選択できます。

1 **情報を検索したい曲を選び、オプションメニューで[CD情報取得] – [トラック]を選ぶ。**

検索が始まります。

検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

2 **取得したい情報を選び、[取得]を選ぶ。**

複数の曲のトラック情報をまとめて検索・取得する

HDD内の曲がオリジナルアルバムどおりに並んでいない場合にまとめて取得するのに便利です。
HDD内の「アルバム」に入っている曲を、1曲ずつ検索し、一括でタイトルを取得します。ただし、タイトルをつけるところまで自動で行われるため、候補が複数あっても表示されません。付けられたタイトルを変更したい場合は、曲単位で検索・取得しなおしてください。

情報を検索したいアルバムまたは曲を選び、オプションメニューで[CD情報取得] – [トラック一括登録]を選ぶ。

違う内容の楽曲情報を取得するには

[オリジナルアルバム]または[トラック]検索の検索結果画面でオンライン[再検索]を選びます。

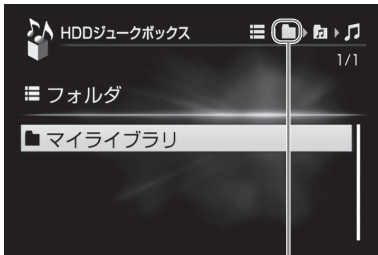
フォルダ・グループ・プレイリストを作る

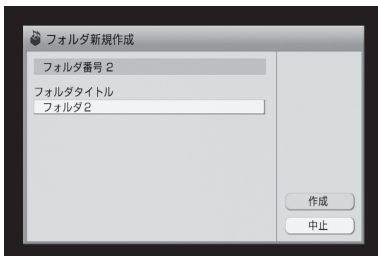
フォルダを作る

新しいフォルダを作って、その中に曲を録音、移動することができます。フォルダは200まで作ることができます。

1 **HDDジュークボックスファンクションの停止中に、オプションメニューで[モード切り換え] – [フォルダ]を選ぶ。**

フォルダモードに切り換わります。

2 **←ボタンでフォルダ一覧画面を表示させる。**

フォルダ一覧画面を表すアイコン

3 **オプションメニューで[編集] – [新規作成]を選ぶ。**

4 **[フォルダタイトル]を選ぶ。**

文字入力画面が表示されます。

5 **タイトルを入力する。**

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（17ページ）をご覧ください。

6 **[作成]を選ぶ。**

フォルダが作成されます。

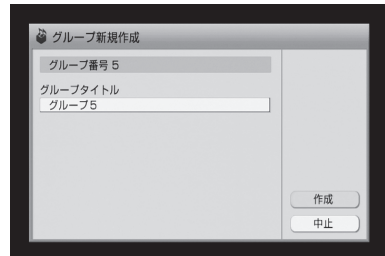
グループを作る

新しいグループを作って、その中に曲を移動することができます。グループは20,000まで作ることができます。

1 **HDDジュークボックスファンクションの停止中に、オプションメニューで[モード切り換え] – [フォルダ]を選ぶ。**

フォルダモードに切り換わります。

2 **←ボタンでグループ一覧画面を表示させる。**

3 **オプションメニューで[編集] – [新規作成]を選ぶ。**

4 **[グループタイトル]を選ぶ。**

文字入力画面が表示されます。

5 **グループタイトルを入力する。**

6 **[作成]を選ぶ。**

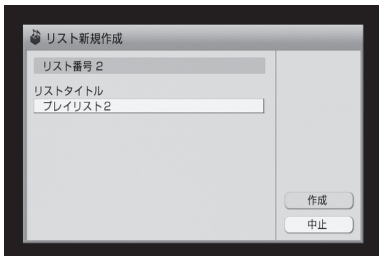
新しいグループがグループ一覧の最後に作成されます。

プレイリストを作る

新しいプレイリストを作って、その中に曲を登録することができます。プレイリストは1,000まで作ることができます。

1 **HDDジュークボックスファンクションの停止中に、オプションメニューで[モード切り換え] – [プレイリスト]を選ぶ。**

プレイリスト一覧画面が表示されます。
メイン画面またはトラック一覧画面が表示されている場合は、⬅ボタンを押して、プレイリスト一覧画面を表示させます。

2 **オプションメニューで[編集] – [新規作成]を選ぶ。**

3 **[プレイリストタイトル]を選ぶ。**

文字入力画面が表示されます。

4 **プレイリストタイトルを入力する。**

5 **[作成]を選ぶ。**

プレイリストが作成されます。

名前を変更する

フォルダやグループ、アルバム、曲(トラック)、アーティスト、ジャンル、プレイリストの名前を変更できます。
名前の変更は、リスト画面のモードや階層によって異なります。

曲名: プレイリストモード以外のモードの、トラック階層

アーティスト名:
- プレイリストモード以外のモードの、トラック階層
- アーティストモードのアルバム階層

ジャンル名:
- プレイリストモード以外のモードの、トラック階層
- ジャンルモードのアルバム階層

アルバム名:
- プレイリストモード以外のモードの、トラック階層
- アルバムモード、アーティストモード、ジャンルモード、録音ソースモードのアルバム階層

グループ名: フォルダモードのグループ階層

プレイリスト名: プレイリストモードのリスト階層

フォルダ名: フォルダモードのフォルダ階層

1 **HDDジュークボックスファンクションのオプションメニューで[モード切り換え] – [(モードの種類)]を選ぶ。**

2 **変更する対象(フォルダまたはアルバム、グループ、曲、プレイリスト)を選ぶ。**

選んだ対象により、変更できる項目が異なります。

3 オプションメニューで[編集] – [情報編集] – [(対象の種類)]を選ぶ。

4 変更する項目を確認し、決定する。

文字入力画面が表示されます。

ジャンルを選んだ場合は、ジャンルの一覧が表示されます。

5 名前を入力する。

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」(17ページ)をご覧ください。

ジャンルの場合は、ジャンルの一覧から選びます。

6 [閉じる]を選ぶ。

ジャンルを新しく作成するには

ジャンルの一覧につけたいジャンルがない場合は、ジャンルを新しく作成できます。

1 情報編集画面で[ジャンル新規]を選ぶ。
文字入力画面が表示されます。

2 ジャンル名を入力する。

3 [閉じる]を選ぶ。

ジャンルを整理するには

HDDジュークボックス内の使用していないジャンルを自動的に削除します。

1 情報編集画面で[ジャンル整理]を選ぶ。

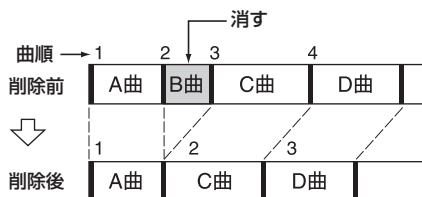
2 [はい]を選ぶ。

削除する

フォルダやアルバム、グループ、曲、プレイリストを削除できます。

一度消すと元には戻せません。

曲を消すと、曲番は順にくり上がります。例えば、曲番2を消すと、元の曲番3が2にくり上がります。

例) B曲を消す

1 HDDジュークボックスファンクションのオプションメニューで[モード切り換え] – [(モードの種類)]を選ぶ。

2 削除する対象のリスト画面を表示させる。

アルバムを削除する場合はアルバムのリスト画面、曲を削除する場合はトラックのリスト画面を表示させます。

3 オプションメニューで[編集] – [削除] – [(削除する対象)]を選ぶ。または、リモコンの削除ボタンを押す。

選んだ対象にチェックマーク☑がつきます。

同時に複数のものを削除するには、削除したいものすべてにチェックマーク☑をつけます。

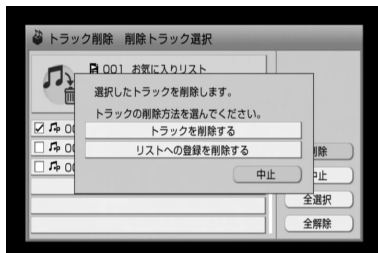
次のページにつづく

4 **[削除]を選ぶ。**

削除確認画面が表示されます。

5 **[はい]を選ぶ。**

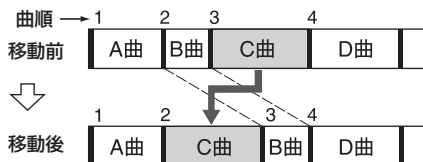
ちょっと一言

プレイリストの曲を削除する場合、プレイリストから削除するか、音楽データを削除するか選ぶことができます。

“ウォークマン”(ATRAC AD)などに入っている曲を削除するには

“ウォークマン”(ATRAC AD)など、USBケーブルで本機につないだポータブル機器に入っている曲を削除することができます。詳しくは50ページをご覧ください。

移動する

フォルダやグループ、曲、プレイリストを好きな位置に移動できます。曲順を変えると、曲番も頭から順につけ直されます。

例)C曲をB曲の前に移動する

1 **HDDジュークボックスファンクションのオプションメニューで[モード切り換え] – [(モードの種類)]を選ぶ。**

2 **移動する対象(フォルダまたはグループ、曲、プレイリスト)を選ぶ。**

3 **オプションメニューで[編集] – [移動]を選ぶ。**

選んだ対象のチェックマーク✔がついていることを確認します。

同時に複数の対象を移動するには、移動したい対象にチェックマーク✔をつけます。

4 **[選択決定]を選ぶ。**

移動先選択画面が表示されます。

5 **移動先を選ぶ。**

移動確認画面が表示されます。

他のフォルダやアルバム、グループに移動するには、⬆/⬇/⬅/➡/決定ボタンで移動先のフォルダやアルバム、グループを選んでから、移動先を選びます。

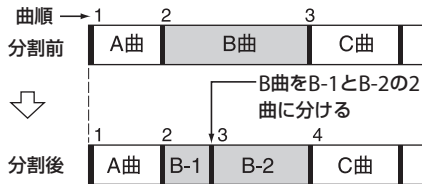
6 **[はい]を選ぶ。**

選んだ対象が移動します。

曲を分ける

1曲を分割して2曲にします。分けた曲以降の曲番は、頭から順につけ直されます。
リニアPCM形式とATRAC形式*の曲のみ分けることができます。

* "エニーミュージック"からダウンロードした曲を分けることはできません。

例）B曲を2つに分ける

1 HDDジュークボックスファンクションのオプションメニューで[モード切り換え] – [フォルダ]を選ぶ。

2 分けたい曲を選ぶ。

3 オプションメニューで[編集] – [分割]を選ぶ。

4 HDD►ボタンを押す。

選んだ曲の再生が始まります。

5 分けたい位置で、決定ボタンを押す。

決定ボタンを押した位置からくり返し再生されます。

↑/↓/←/→ボタンで分割位置（m：分、s：秒、ms：ミリ秒）を変更すると、そこから後の2秒間をくり返し再生します。

6 分割位置を正しく再生していたら、決定する。

7 [実行]を選ぶ。

曲が分かれます。

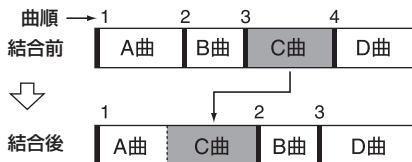
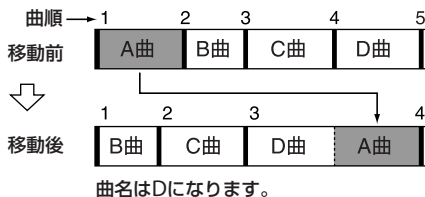
ご注意

プレイリストに登録されている曲を分けた場合、分割前の曲はプレイリストから削除されます。

曲をつなぐ

2曲をつないで1曲にします。曲番は、頭から順につけ直されます。
リニアPCM形式とATRAC形式*の曲のみつなぐことができます。

* "エニーミュージック" からダウンロードした曲をつなぐことはできません。

例) A曲にC曲をつなぐ

例) D曲にA曲を合わせる

1 **HDDジュークボックスファンクションのオプションメニューで[モード切り換え] – [フォルダ]を選ぶ。**

2 **前につなぎたい曲を選ぶ。**

3 **オプションメニューで[編集] – [結合]を選ぶ。**

選んだ曲にチェックマーク✔がついていることを確認します。

4 **後につなげたい曲を選ぶ。**

5 **[結合]を選ぶ。**

6 **[実行]を選ぶ。**

チェックマークをつけた順に曲がつながります。

つなぎたい2曲の順番を変えるには

手順5の後で[入れ替え]を選びます。

ご注意

- フォーマットやビットレートが異なる曲をつなぐことはできません。
- プレイリストに登録されている曲をつないだ場合、つないだ曲はプレイリストから削除されます。

曲のデータ形式を変換する–フォーマット変換

HDDジュークボックス内のリニアPCM形式の曲をATRAC3形式、ATRAC3plus形式、MP3形式に変換します。

1 **HDDジュークボックスファンクションで、変換したい曲を選ぶ。**

2 **オプションメニューで[編集] – [フォーマット変換]を選ぶ。**

選んだ曲のチェックマークがついていることを確認します。

同時に複数の曲を変換するには、変換したい曲にチェックマーク✔をつけます。

3 **[実行]を選ぶ。**

フォーマット(29ページ)をプルダウンメニューから選んでください。

4 **ビットレート(29ページ)をプルダウンメニューから選ぶ。**

5 **[実行]を選ぶ。**

データ形式が変換されます。

ご注意

- 一度にフォーマット変換できるのは99曲までです。
- ATRAC3形式、ATRAC3plus形式、MP3形式の曲はフォーマット変換できません。

画像を登録する

ネットワーク上のPC共有フォルダ*やUSBストレージにある画像ファイルを、アルバム、曲、プレイリストに登録することができます。

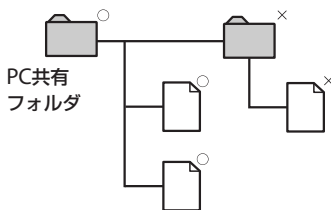
登録できる画像のファイル形式は、以下の形式です。

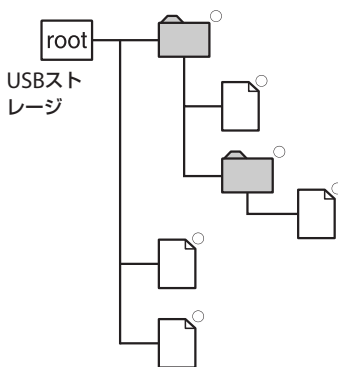
- JPEG形式(拡張子JPG、JPEG)
- GIF形式(拡張子GIF)

* 詳しくは、89ページをご覧ください。

登録をはじめる前に

画像を登録できるファイルは、下図の○がついているもののみです。

PC共有フォルダ

PC共有フォルダに直接保存されているファイルのみ登録できます。

USBストレージ

USBストレージ内で画像を登録できるファイルは第3階層までです。

ご注意

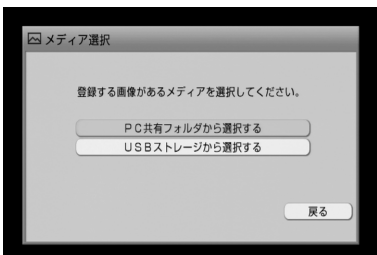
前面、後面両方のUSB端子に接続した場合、前面に接続された機器が優先されます。

登録する

1 HDDジュークボックスファンクションで、登録する対象（アルバムまたは曲、プレイリスト）を選ぶ。

2 オプションメニューで［編集］－［情報編集］を選ぶ。

3 登録する対象を選び、決定する。

4 ［画像登録］を選ぶ。

5 登録元を選ぶ。

PC共有フォルダを選んだ場合は、共有フォルダ設定画面が表示されるので、内容を確認してから［接続］を選び、決定します（33ページ）。

6 画像ファイルを選ぶ。

画像確認画面が表示されます。

7 ［はい］を選ぶ。

選んだ画像ファイルが登録されます。

すでに登録された画像がある場合は、上書き登録確認画面が表示され、［はい］を選ぶと、画像が上書きされます。

登録されている画像を削除するには

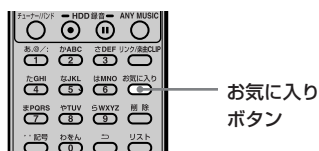
手順4で［画像削除］を選びます。

ご注意

- 削除したり、上書きをして消された画像を元に戻すことはできません。
- "エニーミュージック"からダウンロードした曲の画像は削除できません。

お好みの曲をプレイリストに登録する

HDDのいろいろなところに入っているお好みの曲を、一つの場所に集めておくことができます。それが「プレイリスト」です。プレイリストに登録しておくことで、お気に入りの曲をまとめて再生したり、転送することができます。また、おまかせチャンネルの中の「お気に入りチャンネル」としても楽しむことができます。
プレイリストには最大10,000曲を登録することができます。

再生中の曲を登録する

HDDジュークボックスファンクションで、曲の再生中にお気に入りボタンを押す。

曲がプレイリスト内の「お気に入りリスト」に登録されます。

ご注意

プレイリストモードで再生中は、お気に入りボタンを押しても曲は登録できません。

お気に入りボタンの登録先を変更するには

お買い上げ時は、登録先が、プレイリスト内の「お気に入りリスト」に設定されています。他のプレイリストに登録されるように変更することができます。あらかじめ、新しいプレイリストを作っておいてください(54ページ)。

オプションメニューで[設定] – [お気に入りボタン]を選び、「登録先」から登録したいリストを選びます。

ご注意

おまかせチャンネル内の「お気に入りチャンネル」で聞くためには、「お気に入りリスト」に登録する必要があります。その場合には登録先を変更しないでください。

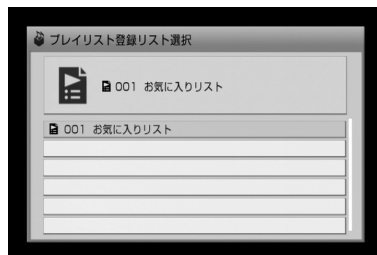
複数の曲をまとめて登録する

同じアルバムまたはグループ内の曲をまとめてプレイリストに登録できます。「お気に入りリスト」以外のプレイリストに登録する場合は、あらかじめプレイリストを作成してください(54ページ)。

1 HDDジュークボックスファンクションで、プレイリストに登録したいアルバムまたはグループを選ぶ。

2 オプションメニューで[編集] – [プレイリスト登録]を選ぶ。

選んだ曲のチェックマークがついていることを確認します。
同時に複数の曲を登録するには、登録したい曲にチェックマーク✔をつけます。

3 [選択決定]を選ぶ。

4 登録したいリストを選ぶ。

確認画面が表示されます。

5 [はい]を選ぶ。

選んだ曲がプレイリストに登録されます。

ご注意

同時に複数の曲を登録する場合、同じアルバムまたはグループ内の曲のみ登録できます。

ちょっと一言

おまかせチャンネルをプレイリストに登録することもできます。詳しくは、43ページをご覧ください。

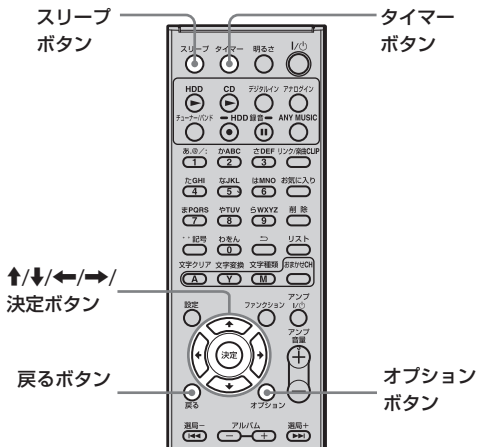
プレイリストの曲を聞くには

HDDジュークボックスファンクションのオプションメニューで［モード切り換え］－［プレイリスト］を選び、再生します。または、おまかせチャンネルファンクションで「お気に入りチャンネル」を選びます。その場合は、プレイリスト内の「お気に入りリスト」に登録されている曲のみが再生されます。

プレイリストを転送するには

"ウォークマン"（ATRAC AD）へ転送する場合、プレイリスト単位での転送が可能です。転送したプレイリストは、"ウォークマン"（ATRAC AD）内でも「プレイリスト」として認識されます。詳しくは、44ページをご覧ください。

タイマーを使う

本機には、スリープタイマー、ウェイクアップタイマー、タイマー録音の3種類のタイマーがあり、1件のスリープタイマー、および3件のウェイクアップタイマー、10件のタイマー録音を設定できます。
タイマーは電源が入っている/いないにかかわらず動作します。タイマー動作中はTIMERランプが点灯／点滅します。

スリープタイマーを使う

本機の電源が自動的に切れるまでの時間を30分単位で決めることができます。急用で出かけるときや、眠るときに便利です。

スリープボタンを押す。

スリープタイマーのポップアップ表示が出ます。
ボタンを押すたびに、以下のように表示が切り換わります。

OFF → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → 180 → OFF …

設定したい時間を表示させるだけで登録は完了です。
スリープタイマー中は、TIMERランプが点灯します。

ご注意

- タイマーの動作中は、スリープタイマーの設定は取り消されます。
- タイマー録音が設定されている場合、タイマー予約開始時刻にまたがってスリープタイマーを設定することはできません。

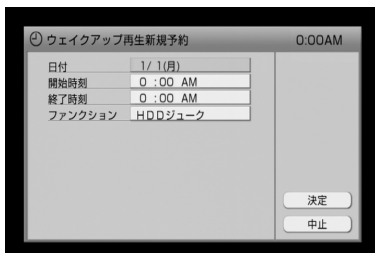
ウェイクアップタイマーを使う

毎日指定した時刻に自動的に電源が入り、自動的に切れるように設定できます。音楽の自動再生が可能です。あらかじめ時計を合わせておいてください（20ページ）。最大3件まで登録できます。

1 アンプの入力切り換えで本機が接続されているファンクションを選ぶ。

2 タイマーボタンを押す。

予約一覧画面が表示されます。

3 オプションメニューで［新規予約］－［ウェイクアップ再生］を選ぶ。

4 各項目を設定する。

「ウェイクアップタイマー設定項目」の表にある各項目を選んで設定します。

5 ［決定］を選ぶ。

予約が登録され、予約一覧画面に表示されます。

6 タイマーボタンまたは戻るボタンを押す。

タイマーが設定され、TIMERランプが点灯します。

設定した時刻になると、再生/受信が始まります。

HDDファンクションの場合は、最後に再生した曲が再生されます。

CDファンクションの場合は、最初の曲が再生されます。

おまかせチャンネルファンクションの場合は、起動時のチャンネルに設定されているチャンネルの曲が再生されます（42ページ）。

ご注意

- すでにタイマーが設定されている時間帯は、重ねてタイマー設定することができません。
- タイマー開始時刻の約1分半前から、一部の操作ができなくなります。
- タイマー開始直前に行っている操作によっては、タイマーの開始が遅れることがあります。

ウェイクアップタイマー設定項目

設定項目	設定値
日付	今 日～ 4週間先までの月日 毎（土） ～ 毎（日） 月－金 月－土 毎 日
開始時刻 終了時刻	時/分 時/分
ファンクション	CD
	チューナー
	◆HDDジュークボックス
	おまかせチャンネル

（◆：お買い上げ時の設定）

タイマー録音する

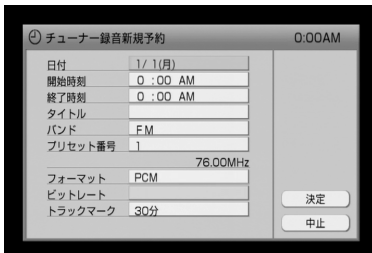
ラジオ、アナログ入力端子またはデジタル(コアキシャル/オプチカル)入力端子に接続してある外部機器からの音をタイマー録音できます。あらかじめ時計を合わせておいてください(20ページ)。最大10件まで登録できます。

ラジオからタイマー録音する

本機のチューナーの音声をタイマー録音できます。あらかじめ時計とラジオ局を設定しておいてください。

1 タイマーボタンを押す。

予約一覧画面が表示されます。

2 オプションメニューで[新規予約] – [チューナー録音]を選ぶ。

3 各項目を設定する。

「タイマー録音設定項目」の表にある各項目を選んで設定します。

4 [決定]を選ぶ。

予約が登録され、予約一覧画面に表示されます。

5 タイマーボタンまたは戻るボタンを押す。

タイマーが設定され、TIMERランプが点灯します。

タイマー録音を途中で止めるには

■を押します。

ご注意

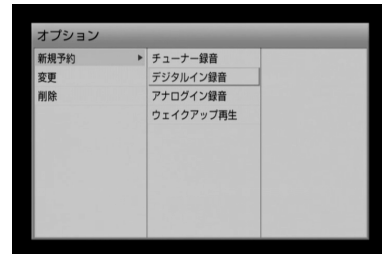
- すでにタイマーが設定されている時間帯は、重ねてタイマー設定することができません。タイマーを「保留」することにより、新しいタイマーを優先させることもできます(67ページ)。
- タイマー開始時刻の約1分半前から、一部の操作ができなくなります。
- タイマー開始直前に行っている操作によっては、タイマーの開始が遅れることがあります。
- タイトルに何も入力しないときは、自動的に設定内容が入ります。

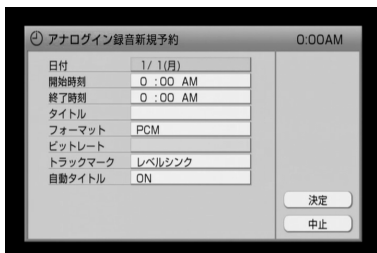
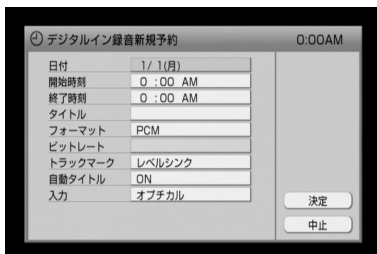
外部機器からタイマー録音する

1 アンプ側で録音したい外部機器を選ぶ。

2 タイマーボタンを押す。

3 オプションメニューで[新規予約] – [アナログイン録音]または[デジタルイン録音]を選ぶ。

次のページにつづく

4 各項目を設定する。

アナログイン録音の場合

デジタルイン録音の場合

5 ［決定］を選ぶ。

6 タイマーボタンまたは戻るボタンを押す。

タイマー録音を途中で止めるには

■を押します。

タイマー録音設定項目

設定項目	設定値	
日付	今 日～ 4週間先までの月日 毎(土) ～ 毎(日) 月ー金 月ー土 毎 日	
開始時刻 終了時刻	時/分 時/分	
タイトル	予約名	
バンド*1	◆FM/AM	
プリセット番号*1	プリセット番号	
フォーマット/ビットレート*2	ATRAC3	66kbps 105kbps 132kbps
	ATRAC3plus	48kbps 64kbps 256kbps
	◆リニアPCM	—
	MP3	96kbps 128kbps 160kbps 192kbps 256kbps
トラックマーク	10分/30分/60分/120分/レベルシンク*3/オート*4	
自動タイトル*5	◆ON/OFF	
入力*6	◆オプチカル/コアキシャル	

（◆：お買い上げ時の設定）

*1 チューナーのみ。
*2 フォーマット/ビットレートについて詳しくは、29ページをご覧ください。
*3 レベルシンクについて詳しくは、30ページをご覧ください。またレベルシンクレベルの項目もあわせてご覧ください。
*4 チューナーのみ。「オート」について詳しくは29ページをご覧ください。
*5 自動タイトルが「ON」のとき、かつアナログインまたはデジタルインの場合、設定項目の「タイトル」は上書きされます。
*6 デジタルインのみ

その他の操作

タイマー動作中にタイマー設定を解除するには

ウェイクアップ再生中およびタイマー録音中にタイマーを解除することができます。終了時刻設定がキャンセルされるので、再生、録音がそのまま継続します。
ウェイクアップタイマー、タイマー録音動作中に、オプションメニューで［タイマーキャンセル］を選びます。

タイマーの設定を確認するには

タイマーボタンを押します。
予約一覧画面が表示されます。
もう一度タイマーボタンを押すと表示が消えます。

1	●	録音タイマー
	▶	ウェイクアップタイマー
2	タイトル	予約のタイトル名が表示されます。
3	日付	予約日が表示されます。
4	時刻	タイマー録音の開始/終了時刻が表示されます。
5	●（青）	待機中
	●（赤）	動作中
	●（グレー）	保留
	✕	失敗 停電などにより録音ができなかった場合に表示されます。ただし、毎日または毎週などくり返し予約された設定の場合は表示されません。失敗した予約内容は残りますので、削除してください（このページ）。

タイマーを削除するには

1 タイマーボタンを押す。

予約一覧画面が表示されます。

2 削除したい予約情報を選ぶ。

3 削除ボタンを押す。または、オプションメニューで[削除]を選ぶ。

確認画面が表示されます。

4 [はい]を選ぶ。

選んだ予約情報が予約一覧画面から削除されます。
[いいえ]を選ぶと操作がキャンセルされます。

5 タイマーボタンまたは戻るボタンを押す。

タイマーを変更するには

1 タイマーボタンを押す。

2 変更したい予約情報を選び、決定する。

予約変更画面が表示されます。

3 変更したい項目を選ぶ。

4 登録内容を変更する。

5 [決定]を選ぶ。

変更した予約情報が上書きされ、予約一覧画面に表示されます。

6 タイマーボタンまたは戻るボタンを押す。

ちょっと一言

オプションメニューでも同じ操作ができます。

定期的な予約を一時的に解除するには—保留

予約を保留すると、保留した予約時間中に他の予約を入れることができます。

1 タイマーボタンを押す。

2 保留したい予約情報を選び、決定する。

予約変更の画面が表示されます。

3 [この予約を]で、[保留にする]を選ぶ。

4 [決定]を選ぶ。

選んだ予約情報が保留され、選択中の予約情報のアイコンがグレーになります。

5 タイマーボタンまたは戻るボタンを押す。

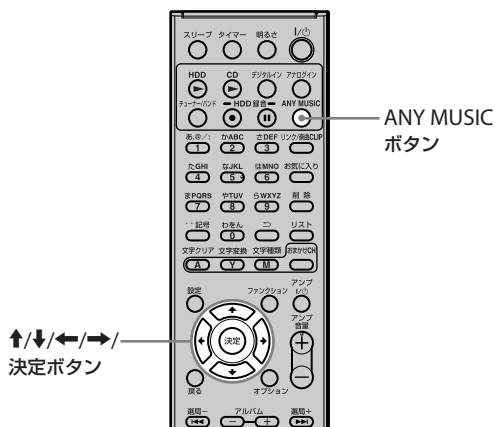
他の予約の実行後に保留を解除します。

“エニーミュージック”を使う

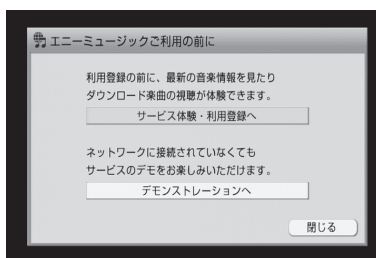
“エニーミュージック”に登録する

本機ではエニーミュージック(株)が運営・提供する“エニーミュージック”の各種サービスをご利用いただけます。“エニーミュージック”を利用すると、音楽ダウンロード、試聴、CD購入などが可能です。詳しくは、別冊の「エニーミュージックサービス利用ガイド」をご覧ください。

ちょっと一言

“エニーミュージック”を利用するには、ネットワークに接続し(80ページ)、“エニーミュージック”に登録する必要があります。

1 ANY MUSICボタンを押す、またはファンクションメニューで[ANY MUSIC]を選ぶ。

本体のANY MUSICランプが点灯します。

2 [ポータルへ]を選ぶ。

3 [サービス体験・利用登録へ]を選ぶ。

“エニーミュージック”に登録する前に、試聴などサービスの一部を体験することができます。

以降は画面の指示に従ってください。

[デモンストレーションへ]を選ぶと、ネットワーク接続していなくても、サービスのデモを見ることができます。

4 利用登録後、登録したユーザー IDとパスワードを入力する。

[ユーザー IDとパスワードを]のプルダウンメニューから[保存する]を選ぶと、次回から入力する必要がなくなります。

5 [接続]を選ぶ。

ANY MUSICポータル画面が表示されます。

FM局を登録する

以下の手順でFM局を登録すると、FM放送のオンエア情報（放送中の番組情報や放送された楽曲の情報など）を見たり、保存（クリップ）することができます（71ページ）。

1 ファンクションを［チューナー］に切り換え、FMを選ぶ。

2 オプションメニューで［プリセット登録］を選ぶ。

3 登録するプリセット番号を選ぶ。

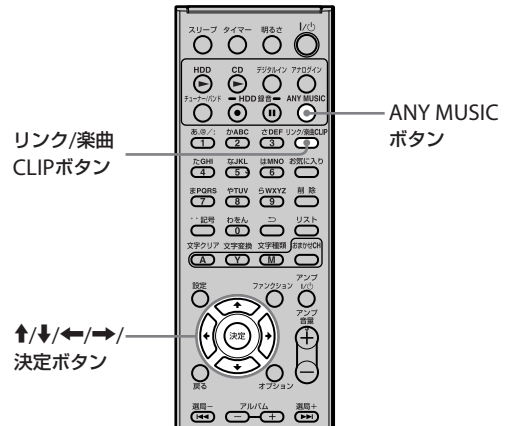
4 ［ラジオ局名を］のプルダウンメニューから［地域のリストから選択］または［全国のリストから選択］を選ぶ。

5 ［ラジオ局名］のプルダウンメニューから局名を選ぶ。

6 ［周波数］を選び、↑/↓ボタンで周波数を合わせる。

［周波数設定を］のプルダウンメニューで［オートでチューニングする］を選んだ場合は放送を受信するまで周波数が進みます。

7 ［登録］を選ぶ。

“エニーミュージック”を利用する

1 ANY MUSICボタンを押す。

ANY MUSICトップ画面が表示されます。

“エニーインフォ”

2 画面の指示に従い、↑/↓/←/→/決定ボタンで利用する項目を選ぶ。

“エニーミュージック”での操作方法は、別冊の「エニーミュージックサービス利用ガイド」をご覧ください。

その他の操作をするには

ANY MUSICトップ画面に戻る	ANY MUSICボタンを押す。
表示内容を更新する	オプションメニューで[最新情報に更新]を選ぶ。
パスワードなどの入力した文字を保存する*	オプションメニューで[入力文字の保存] – [保存する]を選ぶ。 保存するのをやめるには、[保存しない]を選びます。
保存したすべての入力文字を削除する	オプションメニューで[パスワード削除]を選ぶ。
楽曲を再生する/試聴を開始する	▷ボタンを押す。
楽曲再生/試聴を停止する	■ボタンを押す。

* 入力文字の保存は、画面ごとに行われます。

購入した楽曲を確認するには

1 **ANY MUSICトップ画面で[購入楽曲一覧]を選ぶ。**

2 **確認したい楽曲を選ぶ。**

楽曲を選ぶと自動的に再生が始まります。
関連楽曲検索の[検索]を選ぶと、楽曲情報を元にした検索ができます。

“エニーインフォ”を利用する

“エニーインフォ”とは

“エニーミュージック”から提供される、最新おすすめ情報です。ネットワークに接続した状態で、本機の[エニーミュージック]ファンクションのトップ画面、または[HDDファンクション]のメイン画面に切り換えると自動的に、ダウンロードできる音楽の情報やオンラインCDショップのレコメンド情報などが表示されます。

ご注意

ネットワークに接続していない場合は、トップ画面に「ネット接続でエニーインフォが見られます」と表示されます。

“エニーインフォ”が表示されているときに、リンクボタンを押す。

関連するANY MUSICのページが表示されます。

ユーザー ID/パスワード入力画面が表示された場合は、ユーザー IDとパスワードを入力してください。
“エニーミュージック”への登録が済んでいない場合は、利用登録画面が表示されるので、画面の指示に従って“エニーミュージック”に登録してください。

よく見るページを登録する

ANY MUSIC内の画面を「お気に入りリスト」に登録すると、ブックマークとして働き、すばやくアクセスすることができます。ANY MUSICの「お気に入りリスト」には50まで登録できます。

ページを登録するには

ANY MUSICの画面でリモコンのお気に入りボタンを押すか、オプションメニューの[お気に入り登録]を選びます。
画面によっては登録できないこともあります。

リストから登録したページにジャンプするには

ANY MUSICのトップ画面で登録したお気に入りリストを選びます。

お気に入りリストから削除するには

登録したお気に入りリストを選び、削除ボタンを押します。

オンエア情報を表示・保存する –NOW ON AIR

FM放送で放送中の情報を見たり、楽曲情報を本機に保存(クリップ)しておくことができます。

オンエア情報を見る

プリセットチューニングでFM放送を受信中、オンエア情報が提供されている場合、画面上のNOW ON AIRが点灯し、オンエア情報が自動的に表示されます。

表示されるオンエア情報は以下のとおりです。

情報	表示されるもの
オンエア番組情報	番組放送開始、終了時刻、番組名
オンエア楽曲情報	オンエア開始時刻、楽曲のタイトル、アーティスト名

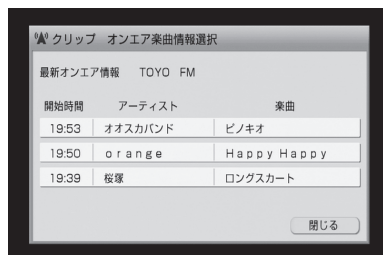
ご注意

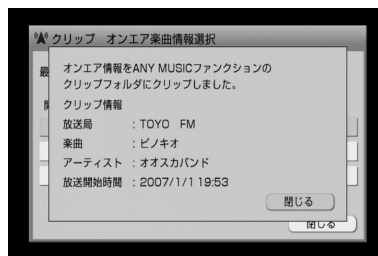
ラジオ局の名前を新規に入力したときは、"エニーミュージック"のオンエア情報は表示されません。

オンエア情報を保存する–楽曲クリップ

表示されているオンエア情報(楽曲情報)を本機に保存(クリップ)しておくことができます。
クリップした楽曲情報は、一覧表示したり、それを検索キーとしてすばやく音楽ダウンロードや、オンラインCDショップでの購入ができます。

1 **楽曲CLIPボタンを押す。**

楽曲情報選択画面には、最新の楽曲を含め過去3曲分の情報が表示されます。

2 **楽曲情報を選ぶ。**

楽曲情報がクリップされます。

3 **決定ボタンを押す。**

確認の画面が閉じ、メイン画面に戻ります。

クリップした情報を利用するには

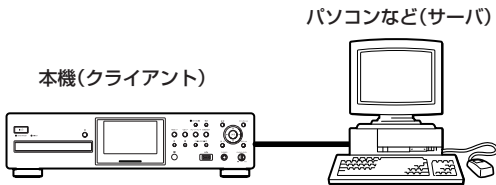
1 ANY MUSICトップ画面で[クリップした情報]を選ぶ。
2 クリップ情報を選ぶ。
関連楽曲検索の[検索]を選ぶと、楽曲情報を元にした検索ができます。

クリップした情報を削除するには

上記の「クリップした情報を利用するには」の手順2で削除したいクリップ情報を選び、削除ボタンを押します。

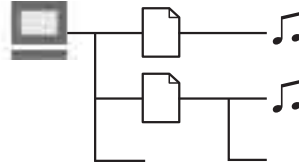
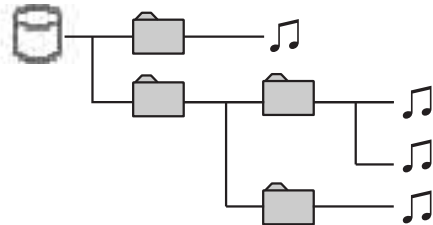
パソコン内の音楽を聞く—ネットワークメディア

ネットワークメディアとは

ネットワークメディア機能とは、個人や限定された地域（オフィスや学校、ビルの中など）内の機器間で、ネットワークを通じて音楽データや画像データをやりとりして視聴することができる機能です。本機は、DLNAガイドラインVer.1.0に対応しているので、この機能を使うことができます。本機は、DLNA対応のデジタルメディアプレーヤー（クライアント）として、DLNA対応のデジタルメディアサーバ*内の音楽データを再生することができます。

* 本機で対応確認済みのサーバなどの最新情報は http://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。

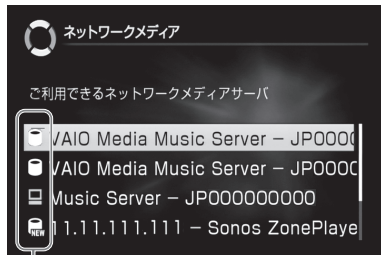
サーバの種類

DLNA対応サーバには、ネットワークメディア機能を使っているときに、サーバ内の楽曲管理データベースのプレイリストをクライアント側で表示できるものがあります。

- プレイリスト対応サーバ（ ）：
  VAIO Media搭載のソニーバイオコンピューターなど
  SonicStageで作成したプレイリストを本機で表示できます。

- その他のサーバ（ ）：
  上記以外のパソコンなど
  サーバ内のファイル構成をそのまま表示します。

音楽を聞く

例として、プレイリスト対応サーバに接続した場合の操作を説明します。

1 ファンクションメニューで[ネットワークメディア]を選ぶ。

サーバ選択画面が表示されます。

- プレイリスト対応サーバ
  プレイリスト対応サーバの場合は、表示モード(プレイリストモードまたはサーバーツリーモード)を切り換えることができます。

アイコン	アイコンの意味	サーバの状態
(白または黒*1)	接続可能なサーバ(起動中)	接続可能
(白または黒*1)	起動していないサーバ(サスペンド、未起動、休止状態)	接続不可能*2
(黄緑)	前回接続したサーバ	接続可能
	初めて接続するサーバ	接続可能
	不明なサーバ	接続可能だが、内容が不明な状態

- その他のサーバ

アイコン	アイコンの意味	サーバの状態
(白または黒*1)	接続可能なサーバ	接続可能
(黄緑)	前回接続したサーバ	接続可能
	初めて接続するサーバ	接続可能
	不明なサーバ	接続可能だが、内容が不明な状態

*1 画面のデザインの色によってアイコンの色が変わります(90ページ)。上記アイコンは、画面デザインがタイプ1のときのものです。
*2 サーバが自動起動できる状態であれば接続できます。

2 サーバ選択画面で接続するサーバを選ぶ。

「サーバ接続中です」と表示され、メイン画面が表示されます。

3 再生したい曲を選ぶ。

再生が始まります。

ご注意

サーバの接続中は、サーバの電源を切ったり、曲を削除したりしないでください。

ちょっと一言

サーバ選択画面にサーバが表示されない場合は、オプションメニューで[表示]－[最新情報に更新]を選んでみてください。

その他の操作をするには

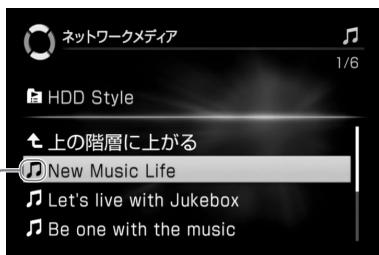
こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
前後の曲を選ぶ	再生中に⏮/⏭ボタンで曲を選ぶ。
プレイリスト、曲を選んで再生する	⬆/⬇/⬅/➡ボタンで曲を選ぶ。
プレイリストを選ぶ	アルバム＋またはアルバム－ボタンでプレイリストを選ぶ。
数字ボタンを使って曲番を選ぶ	曲番の数字を1 ～ 9,0のボタンで押したあと、決定ボタンを押す。
時間表示を切り換える	オプションメニューで[表示]－[時間表示]－[経過時間]または[残り時間]を選ぶ。

ご注意

- 数字ボタンを使って曲番を選べるのはメイン画面とトラックリスト画面です。
- 停止中は時間表示を切り換えられません。
- 接続しているサーバによっては残り時間が正しく表示されない場合があります。

曲のデータ形式について

サーバ内の曲には、本機で再生できないフォーマットのものもあります。リスト画面に表示される曲のアイコンで確認することができます。

リスト画面

曲のアイコン

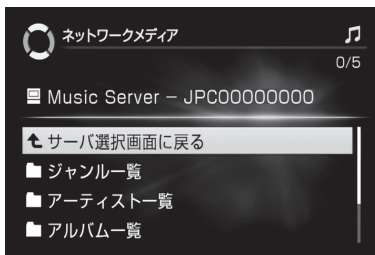
アイコン	アイコンの意味
♫	再生可能
?	不明な曲
✕	再生不可能

表示モードを切り換えるには

プレイリスト対応サーバに接続している場合は、プレイリスト単位の表示またはサーバ内のファイル構成（サーバツリー）の表示を選ぶことができます。その他のサーバは、サーバツリーモードでのみ表示されます。

オプションメニューで[モード切り換え]－[プレイリスト]または[サーバツリー]を選びます。

プレイリストモード

サーバツリーモード

サーバ選択画面に戻るには

戻るボタンを押します。または、オプションメニューで[階層の移動]－[サーバ選択画面]を選びます。

いろいろな再生のしかた

1 **停止中にオプションメニューで[設定]－[再生モード設定]を選ぶ。**

2 **設定したい項目を選ぶ。**

3 **各項目を設定する。**

プルダウンメニューから「設定項目一覧」の表にある各項目を選んで設定します。

4 **[閉じる]を選ぶ。**

各項目の設定内容がメイン画面に表示されます。

設定項目一覧

再生エリア

プレイリストモードのときのみ選べます。

リスト LIST	現在選ばれているリストの曲を再生
◆ すべて ALL	現在選ばれているサーバの曲を再生

（◆：お買い上げ時の設定）

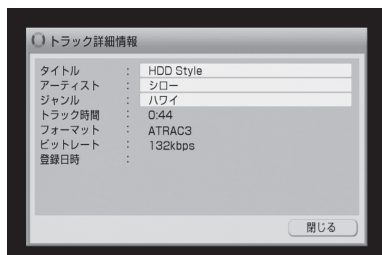
リピートモード

◆ OFF（表示なし）	リピート再生しない
ON	再生エリア内の曲をくり返し再生
トラック	1曲だけをくり返し再生

（◆：お買い上げ時の設定）

プレイリストや曲の情報を見る

1 **情報を見たいプレイリストまたは曲を選ぶ。**

2 **オプションメニューで［表示］－［プレイリスト情報］または［トラック情報］（曲）を選ぶ。**

タイトルまたはアーティスト、ジャンルの全文を見るには、［タイトル］または［アーティスト］、［ジャンル］を選びます。
画面をスクロールするには、↑/↓ボタンを押します。

便利な使いかた

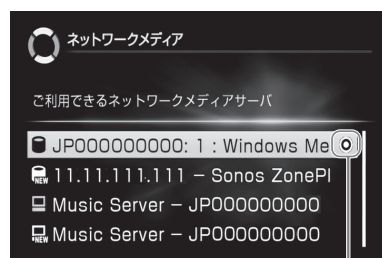
自動接続するサーバを設定する

あらかじめ接続するサーバを設定しておくと、次回ネットワークメディア機能を使用するときに、設定したサーバに自動的に接続します。本機が接続できるサーバが1台のみの場合でも、自動接続するサーバを設定することができます。
自動接続したいサーバをあらかじめ起動させておいてください。

1 **ファンクションメニューで［ネットワークメディア］を選ぶ。**

サーバ選択画面が表示されます。

2 **自動接続するサーバに設定したいサーバを選び、オプションメニューで［設定］－［自動接続］－［ON］を選ぶ。**

選んだサーバが自動接続するサーバとして設定され、以降はそのサーバに自動的に接続されます。
接続を解除したいときは［OFF］を選びます。

自動接続するサーバ

自動接続するサーバがサーバ選択画面にないときは

オプションメニューで［表示］－［最新情報に更新］を選びます。
サーバが表示されるまで時間がかかることがあります。

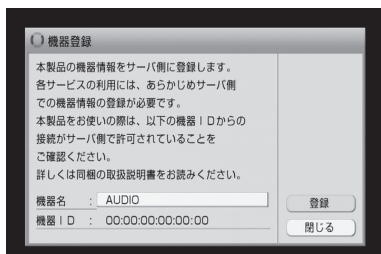
ご注意

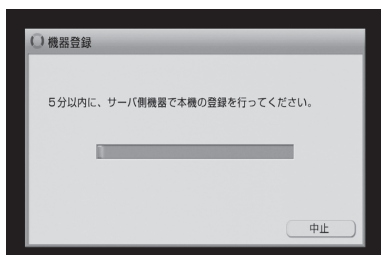
- はじめて接続するサーバを、自動接続するサーバとして設定することはできません。一度接続してから設定を行ってください。
- 自動接続するサーバの設定は、電源プラグを抜くと、失われることがあります。この場合は、もう一度自動接続するサーバの設定を行ってください。

本機をバイオに登録する –アクセス制限設定

接続するサーバがソニーバイオコンピューターの場合、バイオを本機からしかアクセスできないように設定することができます。

1 ファンクションメニューで[ネットワークメディア]を選ぶ。

2 オプションメニューで[設定] – [機器登録]を選ぶ。

3 [登録]を選ぶ。

「5分以内にサーバ側機器で、本機の登録を行ってください。」のメッセージが表示され、登録待機状態になります。
次にバイオへの登録を行ってください（バイオへの登録が約5分で成功しない場合は、自動的に登録待機状態を解除します）。

4 「登録完了」画面が表示されたら、決定ボタンを押す。

本機のバイオへの登録が完了します。
サーバ選択画面に戻ります。

登録したサーバがサーバ選択画面にないときは、新しく追加されます。

バイオの操作については、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。

ご注意

本機のネットワーク接続設定を有線から無線、または無線から有線に変更した場合は、アクセス制限設定をもう一度行ってください。

アンテナ・アンプなどを接続する

付属のアンテナや電源コード、別売りのアンプを 1 ～ 5 の順につなぎます。
付属のアンテナは室内用です。安定した受信のためには市販の外部アンテナの接続をおすすめします。
ポータブル機器など別売り機器の接続について詳しくは、44ページをご覧ください。

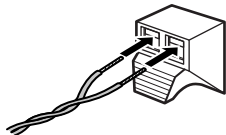
モニター出力端子
映像ケーブル（別売り）を使って、別売りのテレビなどをつなぎます。本機から画面の映像信号が出力されます。

アナログ入力/出力1/出力2 端子
アナログ出力は付属のオーディオ接続コードを使ってアンプの入力端子（TAPE、MDなど）と接続します。
アナログ入力には別売りのオーディオ接続コードを使ってアンプの出力端子（REC OUTなど）と、または他のオーディオ機器（カセットデッキなど）と接続します。
アナログ出力1と出力2には同じ信号が出力されます。

デジタルオプチカル入力/出力端子
オプチカル出力は光デジタルケーブル（別売り）を使って、デジタルアンプのオプチカル入力と接続します。
オプチカル入力は光デジタルケーブル（別売り）を使って、デジタルアンプのオプチカル出力またはデジタルチューナー、MD、DATデッキのオプチカル出力などと接続します。

デジタルコアキシャル入力/出力端子
コアキシャル出力は同軸デジタルケーブル（別売り）を使って、デジタルアンプのコアキシャル入力と接続します。
コアキシャル入力は同軸デジタルケーブル（別売り）を使って、デジタルアンプのコアキシャル出力またはデジタルチューナー、MD、DATデッキのコアキシャル出力などと接続します。

1 AMループアンテナをつなぐ。

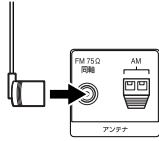
本機のAMアンテナ端子に、AMループアンテナをつなぎます。
アンテナコードを軽く引いてみて、しっかり接続されたことを確認してください。

ご注意

- 雑音の原因になるため、AMループアンテナは本機や他のAV機器の近くに置かないでください。
- 金属導線部をアンテナ端子に確実にはさんでください。

次のページにつづく

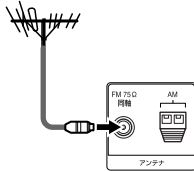
2 FM簡易ワイヤーアンテナをつなぐ。

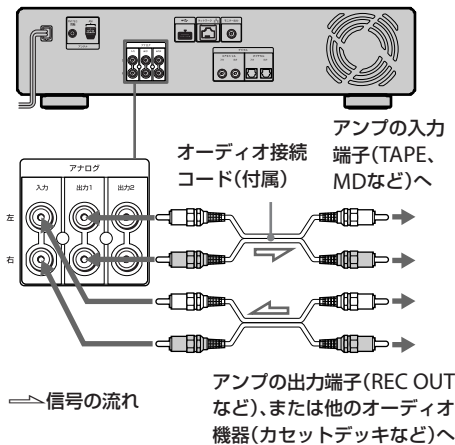
本機のFMアンテナ端子に、FM簡易ワイヤーアンテナをつなぎます。

FM簡易ワイヤーアンテナ

ご注意

- FM簡易ワイヤーアンテナは束ねたまま使わないでください。
- FM簡易ワイヤーアンテナをつないだあとは、できるだけ床と平行に張ってください。

FMの受信状態が良くないときは

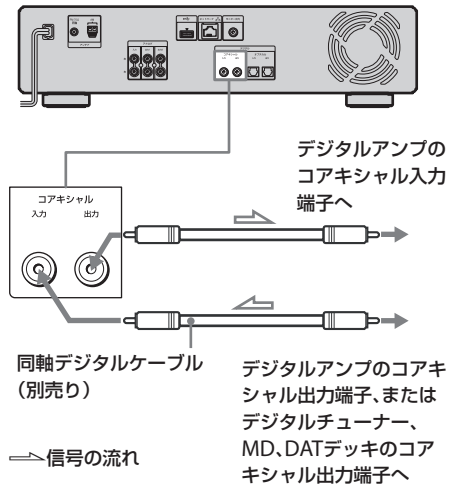
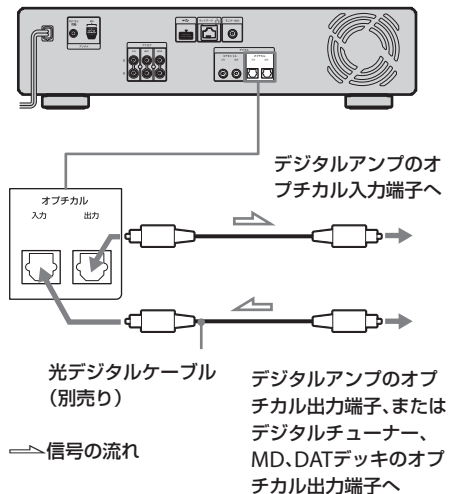
市販の75Ω同軸ケーブルを使って、本機と屋外アンテナをつなぎます。

3 アンプにつなぐ。

オーディオ接続コード(1本のみ付属)を使って、本機後面のアナログ入力/出力端子につなぎます。白(左/L)端子には白プラグを、赤(右/R)端子には赤プラグをつないでください。

デジタルアンプなどのデジタル機器につなぐときは

デジタルコアキシャル入力/出力端子に接続するときは、同軸デジタルケーブル(別売り)を、デジタルオプチカル入力/出力端子に接続するときは光デジタルケーブル(別売り)を使います。

本機のデジタル(コアキシャル/オプチカル)出力は、デジタルアンプなどに接続するモニター再生専用です。したがって、本機へ録音したソース(音源)の種類にかかわらず、接続したデジタル録音機器へデジタル録音することはできません。

同軸デジタルケーブルや光デジタルケーブルは折り曲げたり束ねたりしないでください。

デジタルコアキシャル入力/出力端子につなぐ場合:

デジタルオプチカル入力/出力端子につなぐ場合:

4 ネットワークにつなぐ。

ネットワーク環境が準備されている場合に、ネットワークケーブルでお使いのネットワーク回線につないだり、イーサネットメディアコンバーターなどを使って無線LANでつなぐことができます。また、バッファロー社製USB無線LANアダプターを使えば、簡単に無線LANにつなぐことができます。接続・設定方法について詳しくは、80ページ「ネットワークの接続・設定をする」をご覧ください。

ネットワークに接続すると、便利な機能を楽しむことができます（20、23、52、68、72、93ページ）。

5 電源コードをつなぐ。

すべての機器をつないだあと、本機の電源コードを、コンセントにつなぎます。

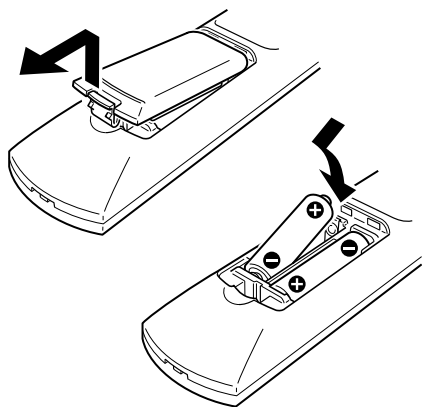
自動的に電源が入り、初期設定が始まります。自動的に電源が切れるまでお待ちください。

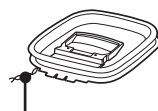
本機の状態によっては、初期設定に数分かかる場合があります。

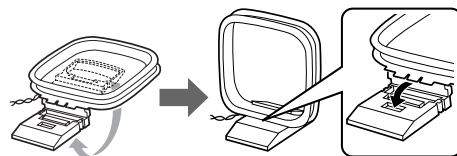
⚠注意

初期設定中に本機の電源コードを抜かないでください。故障の原因になります。

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、リモコンに単3形乾電池（R6、付属）2個を入れます。
リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

AMループアンテナを組み立てる

1 ループアンテナ部に巻かれているアンテナコードをほどく。

2 スタンド状に組み立てる。

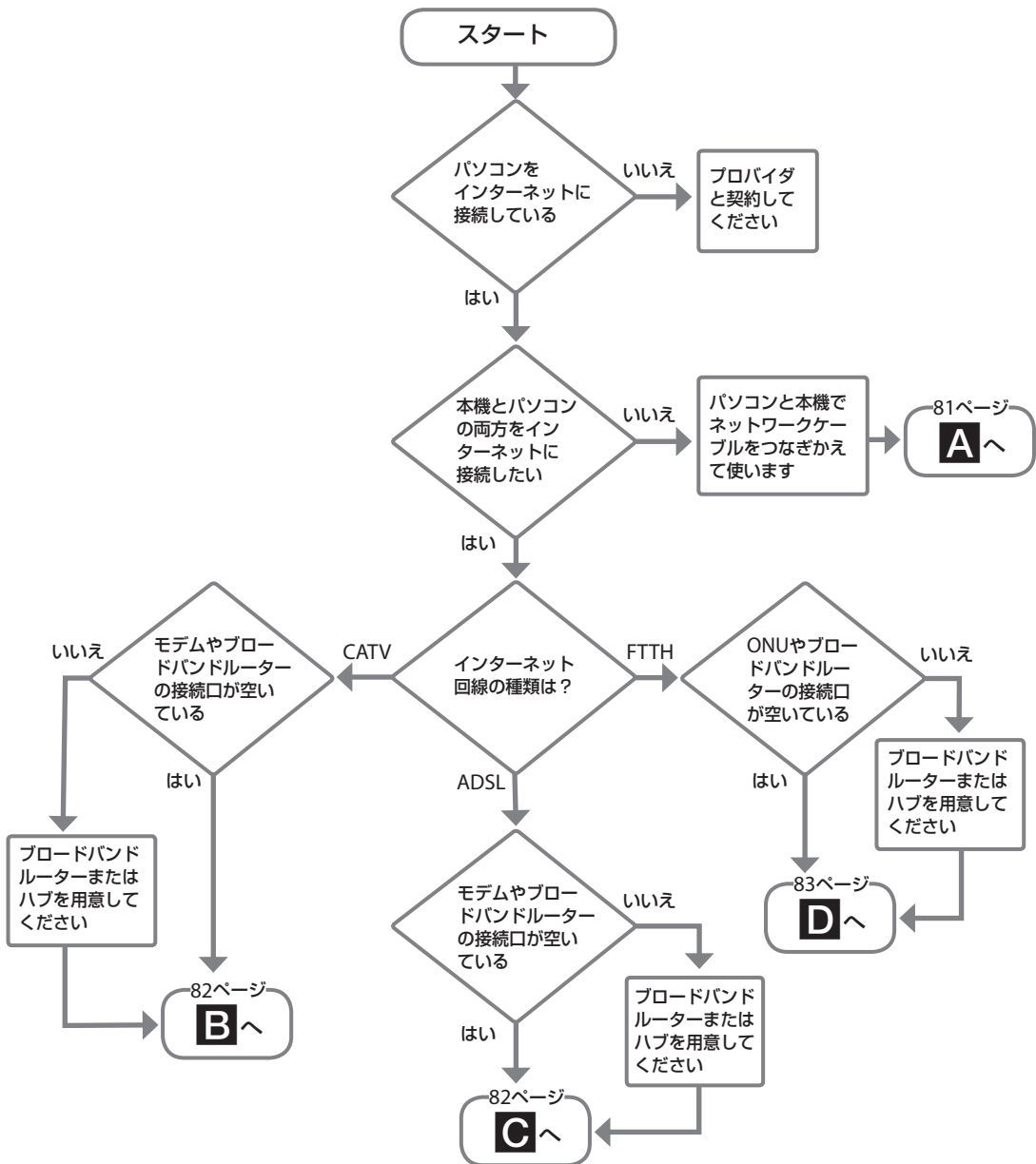
下図のように台を起こし、ループアンテナ部を立てて溝にはめます。

ネットワークの接続・設定をする

本機は、ADSL回線やケーブルテレビ(CATV)インターネット、光ファイバー (FTTH)などを使ってインターネットに接続できます。接続方法については、「カスタマーサポート」のホームページhttp://www.sony.co.jp/netjuke-support/もあわせてご覧ください。

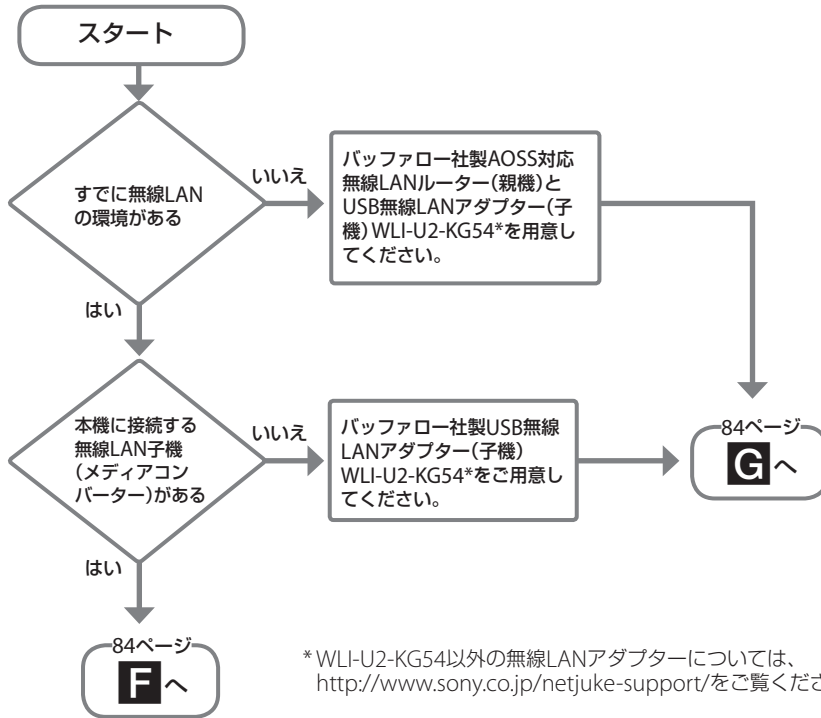
インターネット回線に接続する

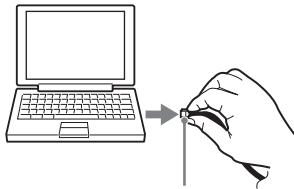
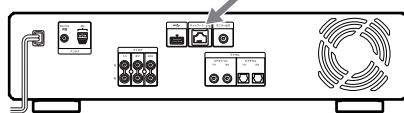
すでにパソコンでインターネットに接続されている場合は本機への接続を追加してください。

インターネット回線に接続するには

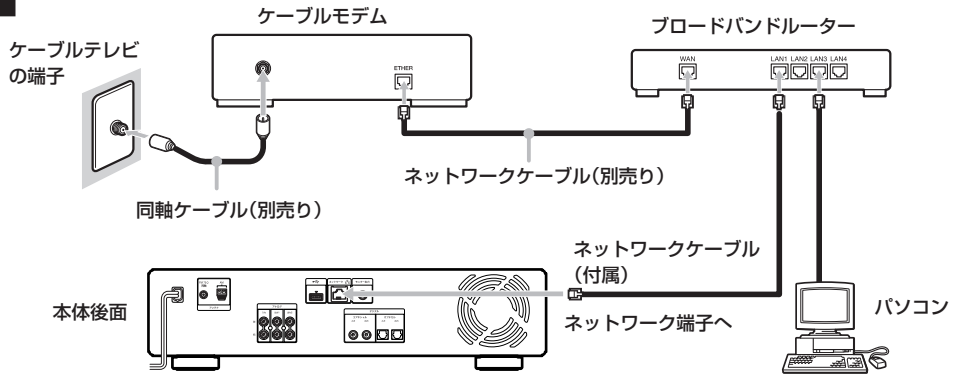
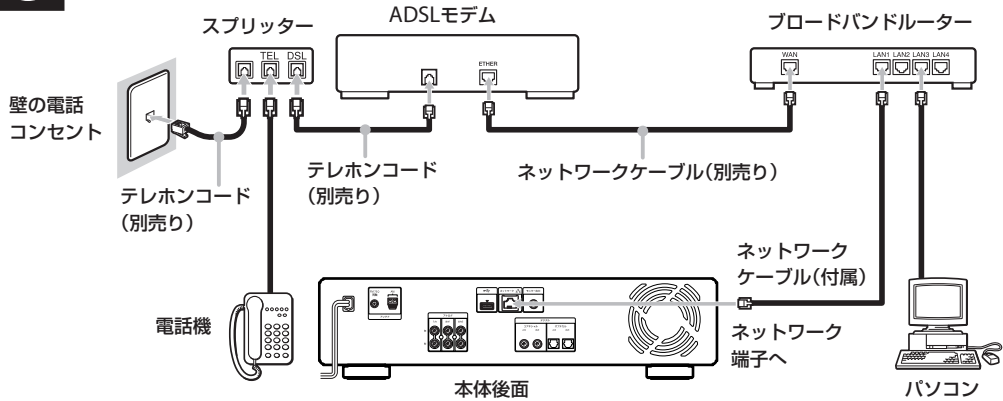
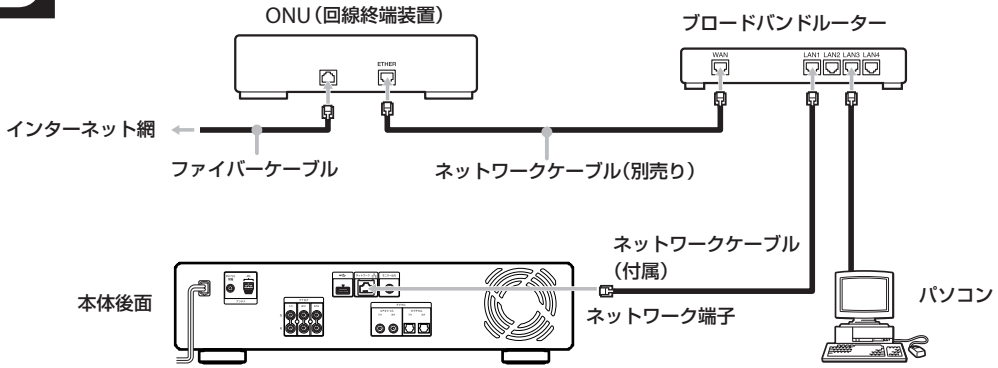
以下の図に従って接続方法を選んでください。

無線LANを使うには

本機を無線LANで接続する場合は、以下の図に従って接続・設定方法を選んでください。

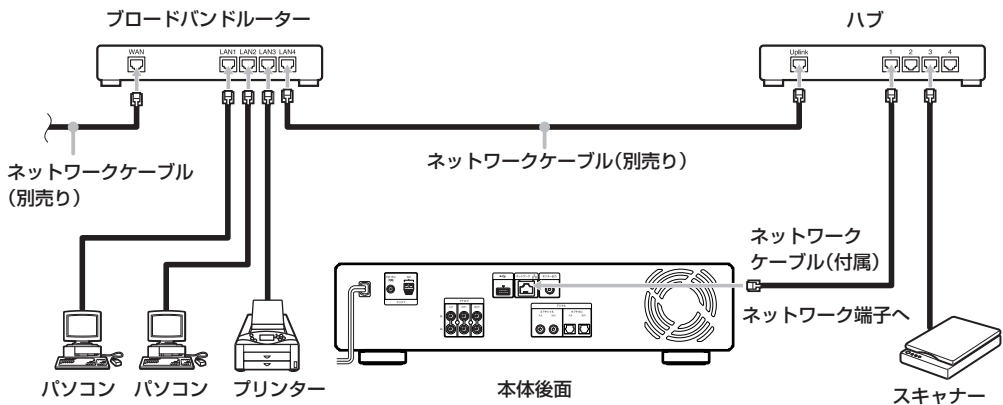
* WLI-U2-KG54以外の無線LANアダプターについては、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。

接続例

A とりあえず接続してみる場合

パソコンにつないでいたネットワークケーブルを本体につないでみます。
設定も不要なので気軽にネットワークに接続できます。
パソコンとは独立して接続したいときはB以降をご覧ください。

ご注意

- ご加入のインターネット接続サービスによっては、上記の方法では接続できないことがあります。
- 上記の方法で接続するには、ルーター機能付きのモデムが必要です。そのため、ご加入のインターネット接続サービスによってはネットワークに接続できないことがあります。お使いのモデムにルーター機能が付いていない場合は、ルーターを準備してください。

B
CATVの場合
ケーブルモデム
ブロードバンドルーター
ケーブルテレビ
の端子
ETHER
WAN
LAN1 LAN2 LAN3 LAN4
ネットワークケーブル(別売り)
同軸ケーブル(別売り)
ネットワークケーブル
(付属)
本体後面
ネットワーク端子へ
パソコン
ルーターの接続口が空いていない場合は、ハブを追加してください。
Eへ
次に87ページ「有線LANの設定をする」へ
C
ADSLの場合
スプリッター
ADSLモデム
ブロードバンドルーター
TEL
DSL
ETHER
WAN
LAN1 LAN2 LAN3 LAN4
壁の電話
コンセント
テレホンコード
(別売り)
ネットワークケーブル(別売り)
テレホンコード
(別売り)
ネットワーク
ケーブル(付属)
電話機
ネットワーク
端子へ
本体後面
パソコン
ADSLモデムにルーター機能がついている場合は、空いている口に接続できます。
ルーターの接続口が空いていない場合は、ハブを追加してください。
Eへ
次に87ページ「有線LANの設定をする」へ

D FTTHの場合

マンションタイプの場合は、ONUが共有スペースに設置されていることがあります。その場合は、ルーターをつないでみてください。
ルーターの接続口が空いていない場合は、ハブを追加してください。
→Eへ

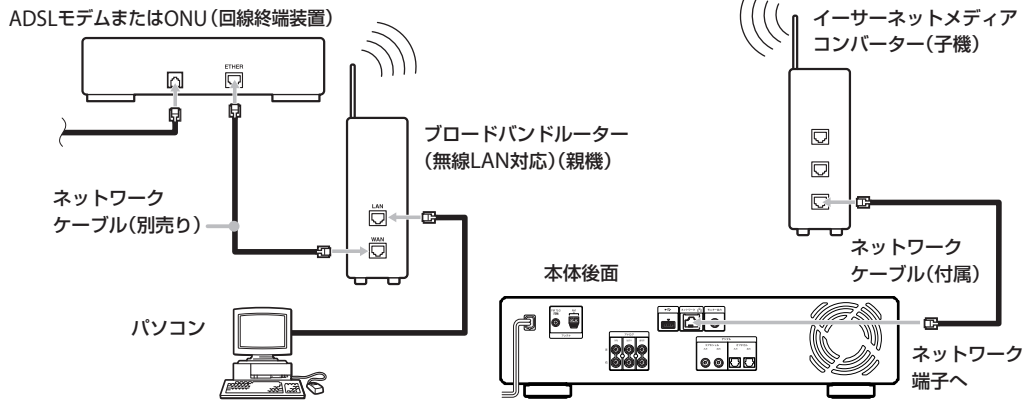
→次に87ページ「有線LANの設定をする」へ

E ハブを使う場合

ルーターの接続口が空いていない場合は、ルーターにハブをつなぎ、そのハブに各機器を接続してください。

ご注意

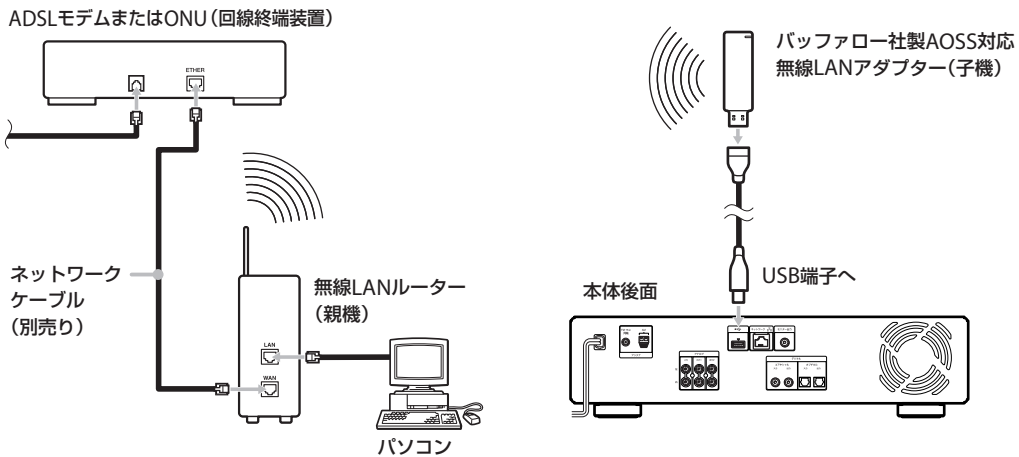
ルーター機能のないモデムとハブをつないでいる場合、ハブに複数の機器を接続していても、一度にインターネットに接続できるのは1台のみです。複数の機器をインターネットに接続する場合は、必ずルーターとハブを接続してください。

→次に87ページ「有線LANの設定をする」へ

F イーサーネットメディアコンバーター（子機）を本機のネットワーク端子につなぐ場合

ルーターを変えた場合、ルーターの設定を別途パソコンで行う必要があります。
詳しくは、接続するルーターの取扱説明書をご覧ください。

次に87ページ「有線LANの設定をする」へ

G 無線LANルーター（アクセスポイント）（親機）とバッファロー社製AOSS対応 USB無線LANアダプター（子機）WLI-U2-KG54を使う場合

（WLI-U2-KG54以外の無線LANアダプターについては、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。）

ご注意

本体後面のUSB端子に接続する場合は、無線LANアダプターに付属のUSB延長ケーブルを使用して、USB無線LANアダプターを受信に最適な位置に設置してください。

次に88ページ「USB無線LANの設定をする」へ

ネットワークの設定をする

本機をインターネット回線に接続したら、回線の設定をします。回線を本機のネットワーク端子につないだ場合と、USB端子につないだ場合で設定内容が異なります。以下の項目に、お使いのブロードバンドルーターの設定状況に合わせた値(英数字)を入力します。プロバイダによって入力が必要な項目が異なります。詳しくは、ご利用のプロバイダからの資料などをご覧ください。

設定項目	説明	設定例
IPアドレス	インターネットに接続するコンピュータに割り当てられる固有の番号です。通常は、3桁の数字4組を点で区切った形になっています。	192.168.xxx.xxx
サブネットマスク	ネットワークを区切るために、コンピュータに割り当てるIPアドレスの範囲を限定するしくみです。	255.255.xxx.xxx
デフォルトゲートウェイ	所属するネットワークの外のコンピュータへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピュータやブロードバンドルーターなどの機器のことです。IPアドレスで特定されています。	192.168.xxx.xxx
DNSサーバアドレス（プライマリ／セカンダリ）	ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバで、IPアドレスで特定されています。 お使いのプロバイダによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2」、「DNSサーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれます。	192.168.xxx.xxx
プロキシ	お使いのプロバイダから指定がある場合は設定してください。本機の代わりに目的のサーバにアクセスし、ファイアーウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて本機にデータを送ってくれる中継サーバのことです。データをキャッシュする機能があるため、同じデータは高速に転送されます。	proxy.xxx.ne.jp
ポート	プロキシ用のポート番号です。お使いのプロバイダから指定がある場合は設定してください。 コンピュータ上で動いているたくさんのアプリケーションの中から通信先のアプリケーションを特定するために必要な情報のことです。ブラウザ、メールなど決められた番号があります。	80
DHCP	インターネットに一時的に接続するコンピュータに、IPアドレスなど必要な情報を自動的に割り当てるプロトコルのことです(Dynamic Host Configuration Protocol)。 DHCPサーバには、ゲートウェイサーバやDNSサーバのIPアドレスや、サブネットマスク、クライアントに割り当ててもよいIPアドレスの範囲などが設定されており、ダイヤルアップなどの手段を使ってアクセスしてきたコンピュータにこれらの情報を提供します。クライアントが通信を終えると自動的にアドレスを回収し、他のコンピュータに割り当てます。DHCPを使うとネットワークの設定に詳しくないユーザでも簡単にインターネットに接続することができ、また、ネットワーク管理者は多くのクライアントを容易に一元管理することができます。	

設定項目	説明	設定例
アクセスポイント*	無線LANのネットワーク内の機器が、お互いにデータ転送を行えるように、電波の中継をする機器です。アクセスポイントは、ルータータイプとブリッジタイプの2種類に大きく分類されます。ルータータイプは、ルーター機能を持ち、ネットワーク内の電波の中継だけでなく、インターネットなど、他のネットワークに接続することができます。ブリッジタイプは、ルーター機能を持たず、単にネットワーク内の電波の中継だけを行います。	
SSID*	IEEE 802.11シリーズの無線LANにおけるアクセスポイントの名前のことです(Service Set Identifier)。最大32文字までの英数字を任意に設定できます。	
セキュリティ設定*	LANや無線LANで、第三者にパソコンのファイルや周辺機器を利用されたり、通信内容を盗聴されることを防ぐための安全保護のことです。本機では無線LANのセキュリティ設定として、WEP (Wired Equivalent Privacy) を使うことができます。	
ネットワークキー *	セキュリティ設定時に使う、暗証番号のようなものです。無線ルーターなどの親機と、イーサーネットメディアコンバーターなどの子機にそれぞれ同じ文字列(ネットワークキー)を入力します。最大26文字までの英数字を任意に設定できます。	
AOSS*	AOSSとは、株式会社バッファローが開発、提唱する無線LANの簡単接続･設定技術です。 AOSS (AirStation One-Touch Secure System)は、従来、暗号化キーの設定や入力で煩雑だった無線LANの接続･設定を飛躍的に簡単にする新技術です。AOSSにより、ワンプッシュで簡単かつ安全な無線LANネットワークへの接続が可能になります。	

* 無線LANのみ

有線LANの設定をする

有線LANで接続した場合と、無線LANの接続をネットワーク端子経由でした場合の設定内容です。

1 **設定メニューで[ネットワーク]を選ぶ。**

2 **[有効にするLAN] – [有線LAN]を選ぶ。**

3 **[有線LAN設定]を選ぶ。**

「ネットワーク設定を確認中です」というメッセージが表示されたあと、有線LAN設定画面が表示されます。

○の場合:設定は不要です。
△の場合:設定が必要です。手順4に進んでください。

4 **[アドレス設定]を選ぶ。**

5 **[イーサネット速度]が[自動]に設定されていることを確認する。**

ちょっと一言

ブロードバンドルーターやハブとうまく接続できないときは、[100Mbps]または[10Mbps]を選ぶと接続できることがあります。

6 **[DHCP]が[すべて自動設定]に設定されていることを確認する。**

この設定にしておくと、IPアドレスが自動的に取得されます。

ご利用のプロバイダーによっては、手動で設定する必要があります。詳しくは、「IPアドレスを手動で設定するには」をご覧ください。

7 **[設定反映]を選ぶ。**

設定の反映が行われます。

8 **[閉じる]を選ぶ。**

ネットワーク設定画面に戻ります。

IPアドレスを手動で設定するには

1 上記手順6で[DNSのみ手動設定]または[すべて手動設定]を選ぶ。

⚠マークの項目を設定します。

2 設定する項目を選ぶ。

3 設定値を入力する位置にカーソルを合わせ、⬆/⬇ボタンで数値を設定する。

ちょっと一言

設定を変更前の状態に戻すときは、設定の途中で[元に戻す]を選びます。

プロキシを設定するには

ご利用のプロバイダーから指定がある場合は、以下の設定が必要です。指定がない場合は、設定する必要はありません。

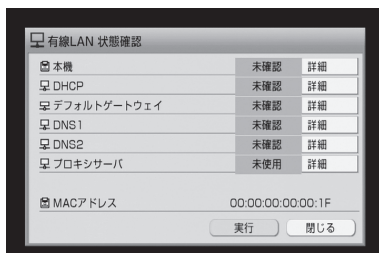
1 有線LAN設定画面で[プロキシ設定]を選ぶ。

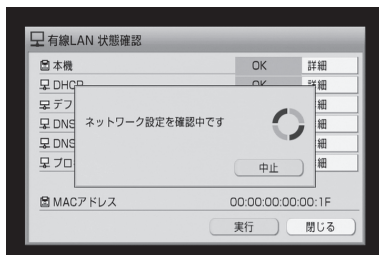
2 [インターネットへ]の設定を[プロキシ経由で接続]に変える。

3 [プロキシサーバ]および[ポート]を入力する。

4 [閉じる]を選ぶ。

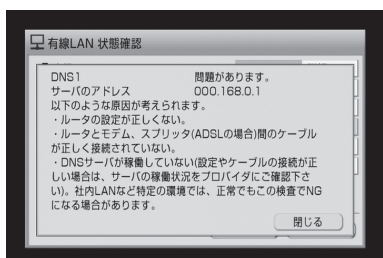
ネットワーク状態を確認するには

1 有線LAN設定画面で[ネットワーク状態確認]を選ぶ。

2 [実行]を選ぶ。

ネットワーク状態の確認が始まります。

確認が終わると各項目ごとに[OK]または[NG]が表示されます。確認には数分かかることがあります。

- すべての接続に[OK]が表示されたときは、手順5に進んでください。
- [NG]が表示されたときは、手順3に進んでください。

次のページにつづく

3 [NG]が表示されている項目の[詳細]を選ぶ。
想定される原因が表示されます。

4 画面の指示に従って接続や設定をやり直し、すべての[NG]の項目が[OK]になるまで、手順2から3をくり返す。
社内LANなど、一部の環境では、接続や設定が正しくても[NG]と表示されることがあります。このときは、ご使用のネットワークの管理者などにお問い合わせください。

5 [閉じる]を選ぶ。
ネットワーク設定画面に戻ります。

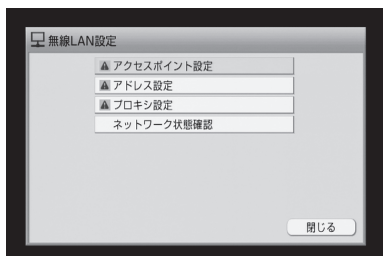
6 [閉じる]を選ぶ。または、戻るボタンを押す。
ネットワーク設定画面が閉じます。

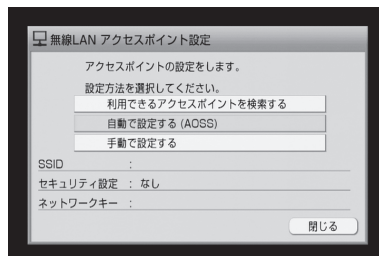
USB無線LANの設定をする

バッファロー社製USB無線LANアダプター(子機) WLI-U2-KG54 (WLI-U2-KG54以外の無線LANアダプターについては、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください)をお使いの場合のみの設定内容です。無線LANルーター(親機)がAOSS対応の場合にはAOSS設定、非対応または他社製の無線LANルーターの場合には、手動で設定したり、アクセスポイントを検索して設定することもできます。AOSSについて詳しくは86ページをご覧ください。

AOSSでアクセスポイントを設定する

1 設定メニューで[ネットワーク]を選ぶ。

2 [有効にするLAN] – [USB無線LAN]を選ぶ。

3 [USB無線LAN設定]を選ぶ。

4 [アクセスポイント設定]を選ぶ。

5 [自動で設定する(AOSS)]を選ぶ。
画面の指示に従って操作してください。
アクセスポイントが自動で設定されます。

6 [閉じる]を選ぶ。
ネットワーク設定画面に戻ります。

手動でアクセスポイントを設定する

AOSSに対応していない無線LAN機器をお使いの場合は、手動で設定する必要があります。

1 設定メニューで[ネットワーク]を選ぶ。

2 [有効にするLAN] – [USB無線LAN]を選ぶ。

3 [USB無線LAN設定]を選ぶ。

4 [アクセスポイント設定] – [利用できるアクセスポイントを検索する]を選ぶ。
検索結果からアクセスポイントを選んで、設定します。

5 SSID、セキュリティ設定、ネットワークキーを設定し、[保存]を選ぶ。

6 [閉じる]を選ぶ。
無線LANアクセスポイント設定画面に戻ります。

7 [閉じる]を選ぶ。
無線LAN設定画面に戻ります。
このあとIPアドレス・プロキシの設定をします(下記参照)。

ちょっと一言

上記の手順4で、アクセスポイントを手動で設定することもできます。

IPアドレス・プロキシを設定する

アクセスポイントを設定したら、IPアドレス、プロキシを設定します。操作方法は、有線LANの設定と同様です。87ページ「有線LANの設定をする」の手順4以降を行ってください(無線LAN設定に必要な項目のみ表示されます)。自動で設定する場合は、内容を確認して[設定反映]を選びます。

ご注意

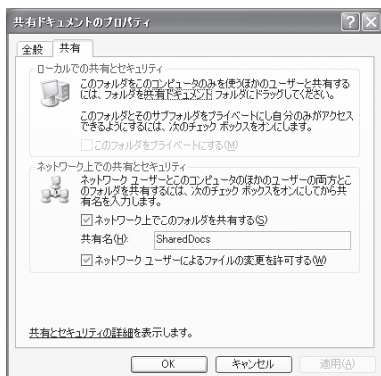
設定後にUSBアダプターを抜いたら、再度設定メニュー[ネットワーク] – [USB無線LAN設定] – [アドレス設定]を選び、[設定反映]を選んでください。

共有フォルダの設定をする

パソコンのフォルダを共有フォルダに設定しておくと、パソコンに保存された音楽や画像のデータを取込んだり、音楽データをパソコンにバックアップすることができます。設定について詳しくは、お使いのWindowsの取扱説明書、ヘルプをご覧ください。
例として、Windows XP Home Editionでの操作を説明します。

1 **共有設定したいフォルダを右クリックし、[共有とセキュリティ]を選ぶ。**

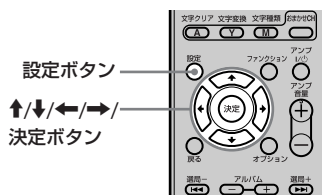
フォルダのプロパティの[共有]タブが表示されます。

2 **[ネットワーク上でこのフォルダを共有する]および[ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する]をクリックしてチェックする。**

3 **[OK]をクリックして、フォルダのプロパティを閉じる。**

ご注意

ネットワーク上の共有フォルダは、半角英数字のみで名前をつけてください。

その他の設定

画面の設定をする

画面サイズを変える

お好みに合わせて画面サイズを選ぶことができます。

1 **設定メニューで[システム設定]を選ぶ。**

設定画面が表示されます。

2 **[本体表示]を選ぶ。**

3 **[ワイドズーム]または[ノーマル]を選ぶ。**

4 **[閉じる]を選ぶ。**

スクリーンセーバーを設定する

何も操作しない状態が続くと、パソコンのようにスクリーンセーバーが働くように設定できます。

1 **設定メニューで[システム設定]を選ぶ。**

設定画面が表示されます。

2 **[スクリーンセーバー]を選ぶ。**

3 **[ON]を選ぶ。**

ON	何もボタンを押さない状態で15分経過すると、スクリーンセーバーが起動します。
◆ OFF	スクリーンセーバーは起動しません。

(◆:お買い上げ時の設定)

4 **[閉じる]を選ぶ。**

画面デザインを変える

本機の画面デザインを変えることができます。

1 設定メニューで[画面デザイン設定]を選ぶ。

2 デザインの選択で、[タイプ1]または[タイプ2]を選ぶ。

3 [決定]を選ぶ。
選択した画面デザインに変わります。

スタンバイモードの設定をする

1 設定メニューで[システム設定]を選ぶ。

2 [スタンバイモード]を選ぶ。

3 [標準]を選ぶ。

◆高速起動	電源を入れてから起動するまでが早いですが、消費電力は高くなります。
標準	消費電力を抑えて本機を使えますが、電源を入れてから起動するまでに時間がかかります。

(◆:お買い上げ時の設定)

4 [閉じる]を選ぶ。

ちょっと一言

- 電源ボタンを押して本機の電源を切ったとき、ON/STANDBYランプの色で判別できます。
  赤:標準モード
  オレンジ:高速起動モード
  緑:自動解析中(詳しくは43ページ「12音解析について」をご覧ください。)
- 高速起動モードの場合、電源が切れていても、ときどきファンが動作することがありますが、故障ではありません。

システムを管理する

データをバックアップ・復元する

本機のHDDに保存した音楽データを、ネットワーク上のPC共有フォルダや、本機に接続したUSBハードディスクに一括コピーしてバックアップしたり、バックアップしたデータを本機に復元することができます。
また、前回のバックアップデータがある場合、その差分のみをバックアップすることで、バックアップにかかる時間を短縮することができます。
なお、バックアップしたデータを本機に復元する際に、音楽データの有効化が必要です。音楽データの有効化をするには、インターネット経由での認証が必要になるため、音楽データを不正に複製することができないようなしくみになっています。データがある程度たまってきたら、万一に備えてデータをバックアップしておくことをおすすめします。

ご注意

バックアップしたデータを復元するには、本機をネットワークに接続している必要があります。

バックアップに必要なハードディスクの形式と容量

本機のデータをUSBハードディスクにバックアップするためには、FAT32形式でフォーマットされたUSBハードディスクが必要です。
ご使用量以上の容量のHDDをご用意ください。本機のHDDの使用可能容量については、104ページを、HDDの残量については設定メニューの[システム情報]をご覧ください。

ご注意

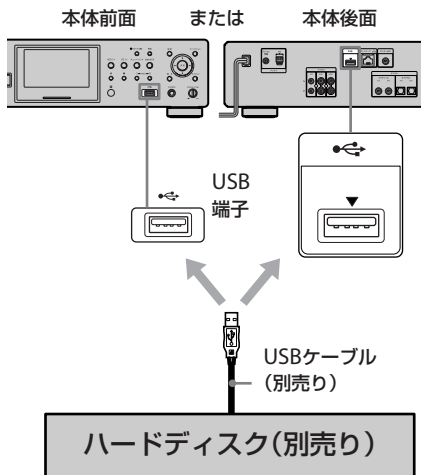
- 本機に保存されているデータ量やUSBハードディスク、パソコン、ネットワークの状態により、バックアップには長時間(最長数十時間)かかることがあります。
- バックアップしたデータは、本機以外(パソコンなど)にコピーして利用することはできません。
- USB ハードディスクをパソコンなどで既にFAT32形式でフォーマット済みの場合、第一パーティションにバックアップします。このパーティションに必要な空き容量がない場合はバックアップできません。お使いのパソコン等でパーティションを変更して、空き容量を確保してください。
- USBハードディスクをフォーマットしていない場合、本機で第一パーティションをFAT32形式でフォーマットしたあと(92ページ)、バックアップしてください。
- 本機の時計が正しく設定されていないと、差分バックアップが正しく行われないことがあります。

USBハードディスクにバックアップする

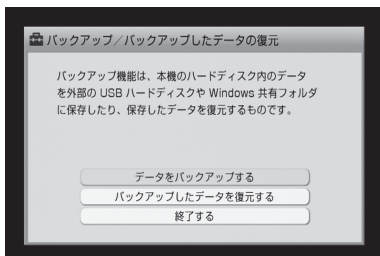
本機のハードディスク内の音楽のデータをUSBハードディスク(別売り)に保存(バックアップ)します。

1 **USBケーブルを使って本機のUSB端子にハードディスクをつなぐ。**

ご注意

- 前面、後面両方のUSB端子に接続した場合、前面に接続された機器が優先されます。
- 後面につないだUSBハードディスクをバックアップ対象とする場合は、前面のUSB端子につないでいる機器は、はずしてください。

- 外付けハードディスク側のUSB端子の形状は機種によって異なります。
- 本機で使用できるUSBハードディスクの機種は、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。本機に対応していないUSBハードディスクをつなぐと、故障の原因となることがあります。

2 **設定メニューで[バックアップ]を選ぶ。**

バックアップ設定画面が表示されます。

3 **[データをバックアップする]を選ぶ。**

バックアップ先のドライブ選択画面が表示されます。

4 **[USBハードディスク]を選ぶ。**

ドライブの確認画面が表示されます。

5 **画面の内容を確認し、[はい]を選ぶ。**

バックアップが始まります。

バックアップが終わると「バックアップが正常に終了しました」と表示されます。

過去のバックアップデータがあるときは

1 上記の手順5で[フルバックアップ]または[差分バックアップ]を選ぶ。

フルバックアップ	既存のデータに上書き保存する。
差分バックアップ	既存のデータ以外のデータを保存する。
戻る	バックアップを中止し、前の画面に戻る。

2 [はい]を選ぶ。

バックアップが始まります。

バックアップが終わると「バックアップが正常に終了しました」と表示されます。

バックアップを途中でやめるには

1 バックアップ中に[中止]を選ぶ。

確認画面が表示されます。

2 [処理を中止]を選ぶ。

バックアップしたデータを復元する

外付けのUSBハードディスクにバックアップしたデータを本機に戻します。

1 **バックアップ設定画面で[バックアップしたデータを復元する] – [USBハードディスク]を選ぶ。**

復元の確認画面が表示されます。

2 **画面の内容を確認し、[はい]を選んでいく。**

インターネットに接続して認証が行われます。認証が終わると、復元が始まります。

復元が終わると、「データの復元が正常に終了しました。」と表示されます。

復元中に[中止]を選ぶと、復元がキャンセルされます。

USBハードディスクをフォーマットする

1 設定メニューで[バックアップ]を選ぶ。

バックアップ設定画面が表示されます。

2 オプションメニューで[USB-HDDのフォーマット]を選ぶ。

確認画面が表示されます。

3 画面の内容を確認し、[はい]を選んでいく。

USBハードディスクのフォーマットが始まります。フォーマットが完了すると、「USBハードディスクのフォーマットが正常に終了しました。」というメッセージが表示されます。

4 [終了する]を選ぶ。

バックアップ設定画面に戻ります。

ネットワーク上の共有フォルダにバックアップする

本機のハードディスク内の音楽のデータを、お手持ちのパソコンのハードディスクに保存(バックアップ)します。

ご注意

本機のバックアップ機能に対応するパソコンは、以下のバージョンのWindowsが標準インストールされている必要があります。
日本語 Microsoft Windows® 2000 Professional
日本語 Microsoft Windows® XP Home Edition
日本語 Microsoft Windows® XP Professional

1 共有フォルダを設定する(89ページ)。

2 設定メニューで[バックアップ]を選ぶ。

バックアップ設定画面が表示されます。

3 [データをバックアップする]を選ぶ。

バックアップ先のドライブ選択画面が表示されます。

4 [ネットワーク上のWindows共有フォルダ]を選ぶ。

5 以下の手順で設定する。

1 項目を選ぶ。

コンピュータ名	コンピュータ名またはIPアドレスを入力(半角英数字で15文字まで)
共有名	共有フォルダを設定したとき(89ページ)につけた共有名
ユーザー名	共有フォルダを設定したときにアクセス許可したユーザー名
パスワード	共有フォルダにパスワードがかかっているときのみ必要

2 文字を入力する。
入力できる文字は、半角英数字のみです。

3 [確認]を選ぶ。

6 過去のバックアップデータがあるときは手順7に進む。

過去のバックアップデータがないときは、手順8に進んでください。

7 [フルバックアップ]または[差分バックアップ]を選ぶ。

フルバックアップ	既存のデータに上書き保存する。
差分バックアップ	既存のデータ以外のデータを保存する。
戻る	バックアップを中止し、前の画面に戻る。

8 [はい]を選ぶ。

バックアップが始まります。

バックアップが終わると、「バックアップが正常に終了しました。」と表示されます。

コンピュータ名を確認するには(Windows XP Home Editionの場合)

スタートメニューで[コントロールパネル]–[システム]を選び、システムのプロパティ画面の[コンピュータ名]タブをクリックすると、[フルコンピュータ名]欄に表示されます。

IPアドレスを確認するには(Windows XP Home Editionの場合)

スタートメニューで[コントロールパネル]–[ネットワーク接続]を選んでから、使用しているネットワークを選び、[サポート]タブをクリックすると、表示されます。

バックアップを途中でやめるには

1 バックアップ中に[中止]を選ぶ。
確認画面が表示されます。
2 [処理を中止]を選ぶ。

バックアップしたデータを復元するには

ネットワーク上の共有フォルダにバックアップしたデータを本機に戻します。

1 バックアップ設定画面で[バックアップしたデータを復元する]–[ネットワーク上のWindows共有フォルダ]を選ぶ。
2 PC共有フォルダの設定をして、[確認]を選ぶ。
3 画面の内容を確認し、[はい]を選んでいく。
インターネットに接続して認証が行なわれます。認証が終わると復元が始まります。
復元が終わると、「データの復元が正常に終了しました。」と表示されます。
復元中に[中止]を選ぶと、復元がキャンセルされます。

ご注意

- バックアップを途中でやめるとバックアップ先のデータが不完全になり、そのデータを復元することができなくなります。その場合は、もう一度最初からフルバックアップしてください。
- バックアップしたデータの復元を途中でやめると、本機のハードディスクのデータが不完全になり、本機が正常に動作しなくなることがあります。その場合は、バックアップしたデータをもう一度最初から復元してください。
- フォーマット開始後、途中で中止することはできません。
- USBハブは使用できません。
- バックアップ中またはデータの復元中にUSB延長ケーブルをご使用の場合、動作の保証はできません。
- バックアップ中またはデータの復元中にUSBケーブルやネットワークケーブルを引き抜いたり、機器の電源を切らないでください。故障の原因となります。
- ネットワーク上の共有フォルダは、半角英数字のみで名前をつけてください。

システム情報を確認する

本機のハードディスクの残量、アプリケーションのバージョン情報、システムマイコンのバージョン情報などを確認することができます。

設定メニューで[システム情報]を選ぶ。

ちょっと一言

HDD残量は、本機の音楽データを記録する領域の残量を示しています。実際の使用可能領域(100%時)は、約224GBです。

システムソフトを更新する

システムソフトをダウンロードすることで、新しい機能が追加されるなど、本機をより便利にお使いいただけるようになります。
システムソフトの更新が可能な場合、本機がネットワークにつながっていると、電源を入れたときに画面にメッセージが表示され、更新ができることをお知らせます。

1 設定メニューで[システムソフト更新]を選ぶ。

システムソフトの更新画面が表示されます。

2 画面の指示に従って操作する。

システムソフトの更新が始まります。更新には数十分かかることがあります。
更新終了後、自動的に再起動します。

ご注意

更新中は電源を切ったり、ネットワークケーブルを抜かないでください。

システムを初期化する

本機をお買い上げ時の状態に戻します。録音や取込みでHDDジュークボックスに保存した音楽データだけでなく、時計合わせやインターネットの設定などの、すべての情報が消去されるので、ご注意ください。なお、[システムソフト更新]で更新された内容は消去されません。

1 設定メニューで[システム初期化]を選ぶ。

システム初期化の確認画面が表示されます。

2 [はい]を選ぶ。

初期化が始まります。
途中で数回自動的に再起動してから数分後に作業が終了し、電源が切れます。

使用上のご注意

設置場所について

以下のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所
- じゅうたんや布団の上
- 湿気の多い所、風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 直射日光が当たる所、温度が高い所
- 極端に寒い所

通風孔をふさがないでください。本体底面の通気孔をふさぐと、機械内部の温度が上昇し、故障の原因となることがあります。物を置くなどして、通気孔を絶対にふさがないでください。

設置場所を変えるときは

CDを入れたまま、本機を動かさないでください。

CDを入れたまま動かすと、CDを傷めることがあります。

音量を調整するときは

CDやハードディスクの再生音はレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
再生を始める前には、必ず音量を小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、CDや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、CDを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、CDを取り出して、電源を切って約30分放置し、電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ハードディスクについて

ハードディスクは記録密度が高いので、長時間録音やすばやい頭出し再生を楽しめます。その一方、ハードディスクはほこりや衝撃、振動に弱い性質があります。
ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記録したデータを失ってしまうことのないよう、以下の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- コンセントをさしたまま本機を動かさないでください。
- 録音や再生中は、コンセントを抜かないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- お客様ご自身で、ハードディスクの交換や増設はできません。故障の原因となります。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。

データのバックアップについて

修理時に、本機のハードディスクに保存されていた音楽データ、設定データなどが再現不可能になることがあります。修理に出される前に、本機に登録した設定内容などは、紙に控えてください。また、本機に保存した音楽データは、バックアップ機能（90ページ「データをバックアップ・復元する」）を使用して、外部に接続したUSBハードディスク、またはWindowsのファイル共有にてコピーしてください。
ハードディスクに記録されたデータは、通常の使用においても壊れる可能性があります。お客様が保存したデータは、定期的にバックアップをとるようにしてください。
弊社の修理、また通常の使用において、万一データが消去、あるいは変更されたとしても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

電源コードを抜くときのご注意

本機がスタンバイモード（ON/STANDBYランプが赤またはオレンジ色のとき）になっていることを確認して、電源コードを抜いてください。本機動作中（ON/STANDBYランプが緑色のとき）に電源コードを抜くと、内部データの消失や故障の原因となります。

CDについて

再生可能なCD

ディスクの種類	ディスクに付いているマーク(ロゴ)
音楽CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R/RW (音楽データ)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable
CD-R/RW (MP3ファイル)	COMPACT disc ReWritable / COMPACT disc Recordable

○ **本機では以下のディスクを再生できます。**

CD: 音楽用CD/CD-R/CD-RW/CD TEXT

MP3ファイル:

CD-ROM/CD-R/CD-RW (ISO9660レベル1、2またはJolietに準拠したフォーマットで記録されたもの)、マルチセッション対応

× **本機では以下のディスクなどを再生することはできません。**

- ファイナライズされていないCD-R/CD-RW
- PHOTO CD
- CD-EXTRAのデータ部分
- Combined CDのデータ部分
- スーパーオーディオCD (ハイブリッドディスクのHDレイヤー)
- 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星形など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク
- リングなどのアクセサリーが取り付けられたディスク

ご注意

- マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットは、最初のセッションに記録されている曲しか再生できません。
- マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットとCD-ROMフォーマットのセッションの構成により、MP3ファイルが再生できない場合があります。
- CD-R/CD-RWのディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合があります。
- CD-RWは、反射率が他のディスクよりも低いため、再生開始までに時間がかかることがあります。
- MP3音声を記録したときの書き込み用ソフトウェアによっては、96ページの図の順で再生されないことがあります。
- ディスクに記録された曲が500を超える場合、501番目以降の曲は認識されません。
- 多くの階層や複雑な構成で記録したディスクは再生開始までに時間がかかることがあります。ディスクにアルバムを記録するときは第2階層までにすることをおすすめします。

ちょっと一言

CDの記録方式について詳しくは、お手持ちのCD-R/RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

CDの取り扱いかた

- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 本機でお使いいただけるCDは、円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- 中古ディスクやレンタルディスクで、シールなどののりがはみ出していたり、付着しているディスクは使用しないでください。プレーヤー内部にディスクが貼り付いて取り出せなくなったり、プレーヤー本体の故障の原因となります。
- 市販のCDレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

著作権保護技術対応音楽ディスクについて

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠したディスクの再生を前提として、設計されています。DualDiscはDVD規格に準拠した面と、音楽専用の面とを組み合わせた両面ディスクですが、音楽専用の面はCD規格に準拠していないため、本製品で再生できない場合があります。DualDiscは全米レコード協会(RIAA)の商標です。

MP3について

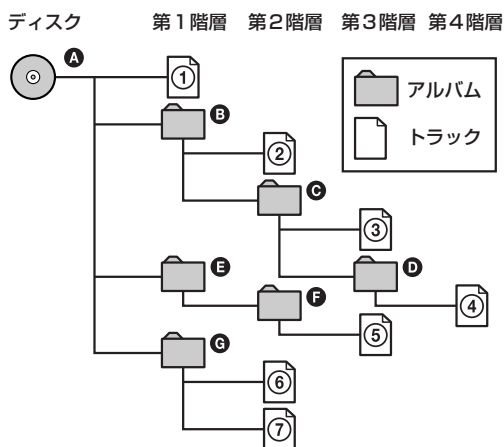
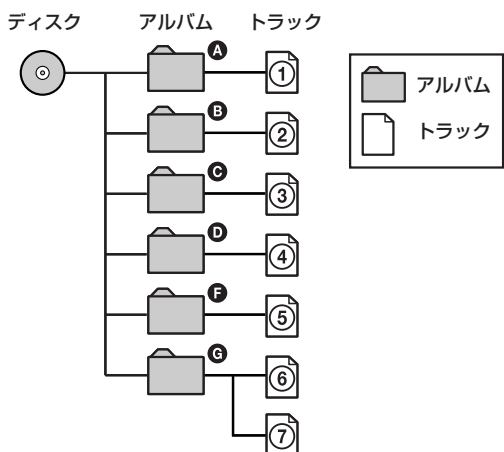
本機はCD-ROM/CD-R/CD-RWディスク(データCD)に記録されたMP3音声を再生できます。

MP3ファイルを再生するときの制限事項

- 本機はサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHz及びビットレート32 ～ 320kbpsに対応しています。それ以外の数値で作成されたファイルを再生すると、再生が停止したり、大きな雑音や音途切れがしたり、スピーカーを損傷する恐れがあります。
- MP3形式以外のファイルに「.mp3」の拡張子をつけると、本機はそれらを再生しようとしてしまい、再生をスキップしたり、雑音や故障の原因となります。
- 本機はMP3PROで記録されたファイルには対応していません。
- 以下の場合、MP3の再生経過時間、または、再生残量時間が実際と異なることがあります。
  - VBR(Variable Bit Rate、可変ビットレート)のMP3ファイルを再生したとき
  - 早送り、早戻しをしたとき

MP3ファイルの階層と再生順序

データCDに記録されたアルバムやトラック(MP3ファイル)は以下の階層になっており、下図の①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
アルバムがサブアルバムを含んでいるときは、サブアルバムに含まれるトラックの再生が優先されます(例:下図のようにアルバムⒷの中にサブアルバムⒸがある場合、トラック②の次は、トラック⑥や⑦ではなく、トラック③が優先されます)。
リスト画面では、Ⓐ→Ⓑ→Ⓒ→Ⓓ→Ⓕ→Ⓖの順でアルバム名が並びます。トラックを直下に含まないアルバム(例:Ⓔ)はリスト画面に表示されません。

■ 実際の階層

■ 本機での見えかた

ご注意

本機では、MP3ファイルが記録されたデータCDの場合、第10階層まで表示できます。

困ったときは

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてみてください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1 本書で調べる。

この「困ったときは」をチェックし、該当する項目を調べます。また、別冊の「エニーミュージックサービス利用ガイド」にも、さまざまな情報があります。該当する項目を調べてください。

2 「カスタマーサポート」のホームページで調べる。

http://www.sony.co.jp/netjuke-support/で調べます。
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

3 それでもトラブルが解決しないときは。

ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

電源

電源が入らない。

➡ 電源コードを電源コンセントにしっかり差し込む。
➡ 電源コードをコンセントからはずす。約1分後、もう一度コンセントにコードを差し込み、I/⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。

電源コードを差し込み、電源を入れると、「ただいま起動中です」「しばらくお待ちください」「設定後、自動的に電源が切れます」と表示され、電源が切れる。

➡ 本機は、電源コードを差して電源を入れると、内部の設定を行いスタンバイモードに入るので、異常ではありません。
I/⏻（電源）ボタンをもう一度押すと電源が入ります。

上記のメッセージが表示されたまま、電源が切れるまで時間がかかる。

➡ 本体に大量の曲が保存されている場合、電源が切れるまで時間がかかることがあります。

電源を入れて「ただいま起動中です」「しばらくお待ちください」と表示されてから、起動するまで時間がかかる。

➡ ブロードバンドルーターのない環境で本機をお使いになる場合、電源を入れたあと、本機のIPアドレスを自動的に取得して本機が起動するまで、約30秒かかることがあります。
➡ 本機のIPアドレスが他の機器で使用している数値になっています。
他の機器と異なるIPアドレスに設定し直してください。

電源が切れない。

➡ 初期設定中や起動中には、I/⏻（電源）ボタンが効かないことがあります。
➡ 本機が自動解析しているときは、ON/STANDBYランプが緑色に点灯し、イルミネーションランプがゆっくりと点滅します。解析を中断して電源を切るには、■ボタンを押してください。

画面

画面が乱れる。

➡ 本機が衝撃や振動に反応しました。安定した場所で使用してください。
➡ ハードディスクの特性上、ごくまれに画面が乱れることがありますが、故障ではありません。

音声

音が出ない。

➡ アンプの接続や、アンプの電源が入っているかを確認する。
➡ タイマー録音中は、消音状態になっています。
➡ 一時停止を解除する。
➡ 外部機器の接続を確認する。

次のページにつづく

ブーンという音がする。ノイズがひどい。音が歪む。

➡ 音声接続コードをディスプレイや蛍光灯、その他の機器から離してみる。
➡ ディスプレイやテレビと本機を離して設置する。
➡ プラグや端子が汚れているときは、アルコールで少し湿らせた布で拭き取る。
➡ ディスクが傷ついていたり、汚れています。

ANY MUSIC

ANY MUSICに接続できない。

➡ ネットワーク設定が間違っています。ご利用の回線事業者またはプロバイダに問い合わせてください。
➡ 設定メニューで[ネットワーク]－[ネットワーク状態確認]を選び、現在のネットワーク状態を確認する。
➡ 日付が間違っています。時計を合わせてください(20ページ)。
➡ ブロードバンドルーターを正しく設定し直す。ブロードバンドルーターの設定については、ブロードバンドルーターの取扱説明書、プロバイダの資料をご覧ください。
➡ "エニーミュージック"に問い合わせてください。

試聴している曲が途切れる。

➡ ネットワーク環境により、音楽が途切れることがあります。
➡ 本機を無線LANでインターネットに接続している場合、電波の状況により、音が途切れることがあります。

ANY MUSICからダウンロードした曲が再生できない。

➡ 利用条件を詳細情報で確認する。

CD

再生が始まらない。

➡ ディスクが入っているか確認する。
➡ ディスクのラベル面を上にする(22ページ)。
➡ ディスクが斜めにずれて入っているときは、正しく入れ直す。
➡ 再生できないディスクを入れています(95ページ)。
➡ 結露しています。ディスクを取り出して電源を切った状態で約30分放置し、再びディスクを入れてください(94ページ)。

再生できない。音飛びが入る。

➡ ディスクがCD規格に準拠していません。
➡ ディスクが傷ついていたり、汚れています。

再生されない曲がある。

➡ マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットは、最初のセッションに記録されている曲しか再生できません。

MP3音声が再生できない。

➡ ISO9660レベル1、2またはJolietに準拠していないMP3ファイルが記録されています。
➡ 拡張子「.mp3」が付いていないMP3形式のファイルは、再生できません。MP3形式以外のファイルに拡張子「.mp3」が付いていると、そのファイルを再生しようとしてしまうため、雑音や故障の原因となります。
➡ 拡張子は「.mp3」だが、MPEG-1 Audio Layer3以外のデータ形式になっています。

アーティスト名が表示されない。

➡ MP3CDでは、メイン画面にアーティスト名は表示されません。トラック(ID3)詳細情報画面で確認できます(24ページ)。

CD情報を取得できない。

➡ ネットワークに接続していません。
➡ 本機にディスクが入っていません。
➡ MP3モードになっています。
➡ Gracenote® music recognition serviceのデータベースに該当するCD情報が存在しません(23ページ)。

チューナー(ラジオ)

放送が受信できない。

➡ アンテナを正しく接続する(77、78ページ)。
➡ アンテナの向きなどを調節する。
➡ 屋外アンテナを使用する。

オンエア情報が表示されない。

➡ “エニーミュージック”に登録していません。
➡ ラジオ局がNOW ON AIR機能を提供していません。
➡ ユーザー ID、パスワードを保存していないか、またはANY MUSICへの認証に失敗した可能性があります。画面の指示に従って操作してください。再接続するには、以下の操作を行ってください。

1 オプションメニューで[ANY MUSICに接続]を選ぶ。

2 項目を選ぶ。
[ユーザー IDとパスワードを]を選んだときは、プルダウンメニューが表示されるので、[保存する]または[保存しない]を選びます。

3 文字を入力する。

4 手順2と3をくり返して、必要な項目を入力する。

5 入力が終わったら、[接続]を選ぶ。

➡ AMラジオを選んでいます。
➡ オートチューニング、またはマニュアルチューニングで受信しています。
➡ FM局を登録するときに[新規に入力する]を選んでいます。
➡ ネットワークの接続・設定が正しくありません。

HDDジュークボックス

表示されない曲がある。

➡ リストによっては、すべての曲が表示されないことがあります。

MP3音声が再生できない。

➡ 不正なフォーマットで録音されたMP3音声を再生しようとしています。

CDが録音できない。

➡ ディスクがCD規格に準拠していません。
➡ ディスクが傷ついていたり、汚れています。

ファイルを取込めない。

➡ 一度に取込めるのは、10,000曲までです。USBストレージの場合は曲を削除する、PC共有フォルダの場合はフォルダを分けるなどして、10,000曲以下にしてから取込んでください。

アルバム、アーティストなどの並び替えができない。

➡ フォルダモード、プレイリストモードでは並び替えはできません。

編集できない。

➡ 「編集できるもの」の一覧表を参照する(51ページ)。

曲名が変更できない。

➡ リスト画面のモードや階層によっては、曲名が変更できない場合があります(54ページ)。

楽曲(CD)情報を取得できない。

➡ ネットワークに接続していません。
➡ Gracenote® music recognition serviceのデータベースに該当する楽曲情報が存在しません(23ページ)。
➡ 曲の先頭から録音されていないなど、録音状況が悪い場合、楽曲情報が取得できないことがあります。
➡ 15秒以下の曲の楽曲情報は取得できません。

曲をつなげない。

➡ 結合後の合計演奏時間が120分を超えています。
➡ 結合する2曲のフォーマットが異なっています(例:リニアPCM形式とATRAC3形式)。
➡ 結合する2曲のビットレートが異なっています(例:105kbpsと132kbps)。
➡ ANY MUSICで購入した曲を選んでいます。
➡ MP3形式の曲を選んでいます。

結合/分割を繰り返していたら、曲を結合できなくなった。

➡ ハードディスクのシステム上の制約です。故障ではありません。

ラジオ録音がトークと音楽に自動判別されない。

➡ 録音設定の「トラックマーク」設定が「オート」になっているか確認する。

曲を分けられない。

➡ 曲の分割位置を先頭または最後付近に指定しています。
➡ 分割後のHDDジュークボックスの全曲数が40,000曲を超えてしまう場合、曲を分けることはできません。
➡ ANY MUSICで購入した曲を選んでいます。
➡ MP3形式の曲を選んでいます。
➡ フォルダモード以外のモードになっています。

表示されない画像がある。

➡ 一度に選択できる画像は最大5,000件です。画像は最新画像から古い画像順に表示されます。

次のページにつづく

ポータブル機器に接続できない。

➡ 本機の前後両方にUSB機器を接続しているときは、一方をはずす。
➡ 接続しているUSBケーブルを接続し直す。

おまかせチャンネル

チャンネルが表示されない。

➡ 5曲貯まると、チャンネルが表示されます。

思ったチャンネルに曲が入っていない。

➡ 12音解析技術に基づいて分類されますので、思ったチャンネルに入らないことがあります。
曲を削除することはできませんが、非表示にすることはできます（42ページ）。

チャンネルに曲が入っていない。

➡ 一部のチャンネルは、曲が入っていない場合でも、常に表示されるように設定されています（40ページ）。
➡ 録音設定で「トラックマーク」を「オート」に設定していないと、エアチェックチャンネルに曲は入りません。

年代MIXがうまく働かない。

➡ 年代MIXチャンネルに入っている曲は、リリースされた年の情報のある曲に限ります。
➡ アルバムまたは曲に入っているCD情報のリリース年を基準としているため、年代MIXチャンネルの年代は、必ずしも初版年ではありません。

タイマー

タイマー録音されていない。

➡ 日付や時刻を正しく設定する（20、65ページ）。
➡ 予約待機中に停電があったか、電源コードが抜かれています。
➡ 本機が衝撃や振動に反応しています。安定した場所で使用してください。

ウェイクアップタイマーで予約した音楽が再生されない。

➡ 日付や時刻を正しく設定する（20、64ページ）。
➡ 予約待機中に停電があったか、電源コードが抜かれています。
➡ 本機が衝撃や振動に反応しています。安定した場所で使用してください。

タイマー録音した内容が途中で切れている。先頭、途中が抜けている。

➡ 日付や時刻を正しく設定する（20、65ページ）。
➡ タイマー録音中に停電があったか、電源コードが抜かれています。
➡ タイマー録音開始直前に、編集やバックアップなどの操作を行っていたためです。
➡ 本機が衝撃や振動に反応しています。安定した場所で使用してください。

ネットワークメディア

サーバに接続できない（「サーバに接続できません」と表示される）。

➡ ネットワークケーブルが抜けていないか確認する。
➡ ハブ（スイッチ）付きルーターやハブをお使いの場合は、ハブ（スイッチ）付きルーターやハブの電源が入っているか確認する。
➡ サーバの電源が入っているか確認する。
➡ 本機のIPアドレスが正しく取得できているか確認する。
➡ 「DHCP」の設定で「すべて自動設定」にしている場合、正しく取得できている場合は「IPアドレス」の設定画面にIPアドレスが表示されます（87ページ）。IPアドレスが表示されない場合は、下記の項目を確認してください。
- ハブ、ブロードバンドルーターの電源は入っているか（詳しくは、ハブ、ブロードバンドルーターに付属の取扱説明書をご覧ください）。
- 本機の電源を入れるよりも先に、ブロードバンドルーターの電源を入れたか。
- 本機とハブ、ブロードバンドルーターとはネットワークケーブルで接続されているか（82 ～ 84ページ）。
- ネットワーク接続環境に合わせて、本機のIPアドレス取得方法が正しく設定されているか（87ページ）。

➡ サーバの初期設定が正しく行われているか確認する。
➡ サーバでインターネット接続ファイヤーウォール（ICF）機能が有効になっている環境では、サーバと接続できない場合があります。インターネット接続ファイヤーウォール（ICF）機能を無効にしてください。
➡ サーバ側で本機の機器登録がされているか確認する。
サーバで本機の機器登録を削除しても、本機に表示されるサーバ一覧には残っている場合があります。

➡ 機器登録をやり直す。
➡ ネットワークメディア機能で本機からサーバに接続できない場合は、サーバを再起動する。
➡ 本機のネットワーク接続設定を有線から無線、または無線から有線に切り換えた場合は、アクセス制限設定をやり直す。

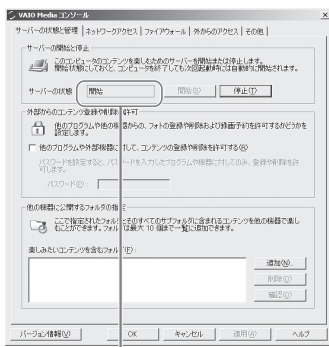
自動接続できない。

➡ 本機とサーバをクロス変換ケーブルで接続している場合は、自動接続できないことがあります。ハブを経由して接続してください。

本機をバイオに登録できない。

➡ ネットワークの接続は正しいか確認する。
下記の項目を確認してください。
- 「確認番号を発行する」のチェックを外しているか。
- ハブ、ブロードバンドルーターの電源は入っているか（詳しくは、ハブ、ブロードバンドルーターに付属の取扱説明書をご覧ください）。
- 本機の電源を入れるよりも先に、ブロードバンドルーターの電源を入れたか。
- 本機とハブ、ブロードバンドルーターとはネットワークケーブルで接続されているか（82 ～ 84ページ）。
- ネットワーク接続環境に合わせて、本機のIPアドレス取得方法が正しく設定されているか（87ページ）。

サーバ選択画面にサーバが表示されない。

➡ オプションメニューで［表示］－［最新情報に更新］を選んでみる。画面にサーバが表示されるまで、時間がかかることがあります。
➡ 「ミュージックサーバー」が起動しているか確かめる。
VAIO Mediaをご使用の場合は、「VAIO Mediaコンソール」画面で、「状態」が「開始」になっていることを確認してください。

ここが開始になっていることを確認する。

サーバに接続するまで時間がかかる。

➡ ブロードバンドルーターのない環境で本機をお使いになる場合、電源を入れたあと、本機のIPアドレスを自動的に取得し、本機とサーバが接続するまで、約30秒かかることがあります。
➡ 本機のIPアドレスが、他の機器で使用している数値になっています。他の機器と異なるIPアドレスに設定し直してください。

途中からサーバに接続できなくなった。または再生できなくなった。

➡ ブロードバンドルーターのない環境で本機をお使いになる場合、途中からブロードバンドルーターを接続すると本機のIPアドレスが変更され接続できなくなることがあります。サーバ選択画面で最新情報に更新してください（「サーバ選択画面にサーバが表示されない」参照）。

音が途切れる。

➡ ネットワーク環境により、音楽が途切れることがあります。
➡ サーバに負担がかかりすぎています。サーバ上で動作しているアプリケーションを終了してください。
➡ 本機を無線LANでインターネットに接続している場合、電波の状況により、音が途切れることがあります。

曲のフォーマットがサーバと本機で異なって表示される。

➡ 本機では、ネットワーク経由で再生するときのフォーマットが表示されるため、サーバ上で表示されるフォーマットとは異なる場合があります。

「非対応フォーマットの曲が見つかりました」と表示され、再生できない。

➡ サーバ上で曲のファイルが壊れていたり、削除されていないか確認する。
詳しくは、ご使用のサーバの取扱説明書をご覧ください。

インターネット

インターネットに接続できない。

➡ ネットワーク設定が間違っています。ご利用の回線事業者またはプロバイダに問い合わせてください。
➡ 設定メニューで［ネットワーク］－［ネットワーク状態確認］を選び、現在のネットワーク状態を確認する。
➡ ブロードバンドルーターを正しく設定し直す。ブロードバンドルーターの設定については、ブロードバンドルーターの取扱説明書、プロバイダの資料をご覧ください。
➡ ネットワークケーブルをしっかりつなぐ。
➡ 正しいネットワークケーブルを使って接続する（81 ～ 84ページ）。
➡ ルーター機能のないモデムに直接接続しています。ルーター経由で接続してください。
➡ 同時に1つの端末しかインターネットに接続できない契約の場合、他の端末を先に接続しているときは接続できません。
➡ ご利用の回線事業者、またはプロバイダに問い合わせてください。
➡ 本機を無線LANでインターネットに接続している場合、電波の状況により、接続できないことがあります。

ADSLに接続できない。

➡ スプリッターのDSLポートとTEL（TELEPHONE）ポートを間違えています。
➡ ADSLモデムやブロードバンドルーターのランプが正しく点灯しているか確認する。
各機器の取扱説明書をご覧ください。

バックアップ

PC共有フォルダが見つからない。

➡ Windowsでインターネット接続ファイヤーウォール（ICF）機能を有効にしていたり、市販のウィルス対策ソフトを使用している場合、共有フォルダが外部からアクセス可能な設定になっていることを確認する。詳しくは、各製品の取扱説明書をご覧ください。
➡ PC共有フォルダの名前が前回のバックアップ時の名前と同じか確認する。

差分バックアップしたデータが、差分バックアップする前のデータ量の2倍になる。

➡ 差分バックアップ時の本機の状態が、前回のバックアップ時よりも前に設定されています。時計合わせをして、もう一度差分バックアップしてください。
➡ フルバックアップする（91ページ）。

音楽データの復元中に以下のメッセージが表示される。

「OpenMGで著作権保護されているコンテンツのバックアップ・リストアについてただいまお客様がリストア（データの復元）を行われたバックアップファイルは、すでに複数回のリストアが行われております。コンテンツの著作権に配慮し、一定回数以上のリストアを制限させていただく場合がありますので、リストアが複数回行われているバックアップファイルのご使用に際しては、本注意メッセージを表示させていただいております。」

➡ お使いの周辺機器による不具合がくり返されるか、製品が著しく不安定なために、リストアしたデータが利用できなくなる場合
- ソニーの相談窓口、または販売店に問い合わせてください。

➡ 何度音楽データの有効化を試みても、最終的に失敗する場合
- バックアップデータを記録したパソコンや、ドライブが破損・損傷していないか確認する。

その他

正常に動作しない。

➡ 静電気などの影響を受けています。このときは、電源ボタンを押して電源を切り、再び電源を入れてください。それでも正常に動作しないときは、リセットしてください（103ページ）。
➡ 画面に警告メッセージが出ているときは、メッセージに従う。

画面に5桁のアルファベットと数字が表示されている。

➡ 自己診断機能が働いています（103ページ）。

ON/STANDBYランプ（赤）が点滅する。

➡ 内部電源の保護機能が働いています。いったん電源コードをコンセントからはずし、機器間の接続を確認してください。異常がなければ、ON/STANDBYランプが消灯していることを確認してから、電源コードをコンセントにつないでください。

デジタル録音できない。

➡ コピー禁止の信号がある場合、デジタル録音はできません。録音元の機器のアナログ出力端子と本機のアナログ入力端子を接続して、アナログ録音してください。

リモコンが働かない。

➡ 乾電池が消耗しています。
➡ 乾電池が入っていません。
➡ リモコンをリモコン受光部（12ページ）に向けて操作する。
➡ 本機の近くにインバーター方式の蛍光灯があります。
本機を蛍光灯から離して設置してください。

画面に「オーディオデータが壊れています。」と表示される。

➡ ［修復］を選ぶ。

本機が振動したり、通風孔から音が出る。

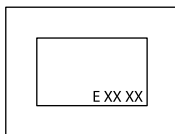
➡ HDDが高速回転しており、本体の温度上昇を抑えるためにファンが回ります。回転による振動や音は故障ではありません。

CD録音時に振動や音が大きくなる。

➡ CDの再生時に比べ、高速回転でHDDに録音するためで、故障ではありません。また、CDの種類によっては、振動や音の大きさが異なる場合があります。

自己診断機能について

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、画面にアルファベットと数字で5桁のサービス番号（例：E 00 11）を表示します。

表示が出たら、ソニーの相談窓口にご連絡ください。そのときにはサービス番号の5桁すべてをお知らせください。

本機のリセット方法について

通常は本機をリセットする必要はありません。しかし、まれに本体が異常終了して、ボタンや画面上の操作に反応しなくなってしまうことがあります。このような場合は、本体の■ボタン（共通停止ボタン）を押しながら本体のI/⏻（電源）ボタンを押して、本機をリセットしてください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではHDDオーディオコンポーネントの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーの相談窓口にご相談ください。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

修理について（ハードディスク）

修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータファイルを確認したり、プログラムを起動することがあります。ただし、それらのファイル、プログラムをソニー側で複製・保存することはありません。
ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきますのでご了承ください（著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます）。

なお初期化により、ハードディスク内のプログラムおよびデータが全て消去されますので、あらかじめお客様にてバックアップ等保存につき必要な対応をされるようお願いいたします。

ご相談になるときは、以下のことをお知らせください。

- 型名：
- 故障の状態：　できるだけ詳しく
- 購入年月日：

ソニーの相談窓口のご案内（裏表紙）

お買い上げいただいたHDDオーディオコンポーネントは、ソニーの相談窓口でも保証サービスを行っております。
製品の品質には万全を期しておりますが、万一、故障などの不具合が生じた場合や、接続や操作の方法がわからない場合は、まず、裏表紙の電話番号にお問い合わせください。
また、製品に対するご意見なども、お気軽にお寄せください。よりよい製品作りに生かしていきたいと考えております。

あらかじめ以下のことをお調べいただくと、対応が円滑に進むこともあります。
お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

- 型名：
- ご契約されているインターネットサービスプロバイダの名前とサービス（コース）の種類
- お使いのブロードバンドルーターやハブのメーカー名と型名

今後とも、ソニー製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

主な仕様

CD部

システム	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
レーザー	半導体レーザー（波長780nm）

HDDジュークボックス部

容量	250GB*
フォーマット	リニアPCM ATRAC3 ATRAC3plus MP3
最大録音時間	約380時間（リニアPCM時） 約11,100時間（ATRAC 48 kbps時）
最大曲数	40,000

* 容量の一部はデータ管理領域として使用されます。実際の使用可能領域は約224GB（240,518,168,576 byte）となります。

チューナー部

回路方式	PLLデジタル周波数シンセサイザークォーツロック方式
受信周波数（FM）	76.0 ～ 90.0MHz
受信周波数（AM）	531kHz ～ 1,602kHz

入力端子

端子名	端子形状	入力インピーダンス	基準入力レベル
アナログ入力	ピンジャック	47kΩ	0.5Vrms（標準感度） 0.25Vrms（高感度）
デジタルコアキシャル入力	ピンジャック	75Ω	0.5Vp-p
デジタルオプチカル入力	角型光コネクタ	—	—

出力端子

端子名	端子形状	出力レベル	負荷インピーダンス
アナログ出力1 アナログ出力2	ピンジャック	2Vrms (47kΩ時)	10kΩ以上
PHONES	ステレオ標準ジャック	15mW	32Ω
デジタルコアキシャル出力	ピンジャック	0.5Vp-p	75Ω
デジタルオプチカル出力	角型光コネクタ	–18dBm	(波長660nm)
モニター出力	ピンジャック	1.0Vp-p	75Ω

その他の端子

アンテナ入力　FM：75Ω不平衡型
　AM：外部アンテナ端子
ネットワーク端子　10BASE-T/100BASE-TX
USB端子　USBタイプA
　Hi-Speed USB
　"ウォークマン"(ATRAC AD)等接続用

オーディオ特性

周波数特性　5Hz ～ 20kHz
全高調波歪率(HDD再生)
　0.0035%以下
全高調波歪率(アナログ録音再生)
　0.0040%以下
SN比(HDD再生)　103dB以上
SN比(アナログ録音再生)
　98dB以上
ダイナミックレンジ(HDD再生)
　98dB以上
ダイナミックレンジ(アナログ録音再生)
　95dB以上

電源、その他

電源　AC100V、50/60Hz
消費電力　36W
待機消費電力　0.5W以下(標準モード)
最大外形寸法　430×110×290mm
　(幅/高さ/奥行き、最大突起部含む)
質量　約7.2kg
許容動作温度　5 ～ 35℃
許容動作湿度　25 ～ 80%
付属品
　オーディオ接続コード(1)
　FM簡易ワイヤーアンテナ(1)
　AMループアンテナ(1)
　ネットワークケーブル(1)
　リモコン(1)
　リモコン用 単3形(R6)乾電池(2)
　取扱説明書(本書)(1)
　かんたん接続･操作ガイド(1)
　エニーミュージックサービス利用ガイド(1)
　ソフトウェアに関する重要なお知らせ(1)
　ソフトウェア使用許諾契約書(1)
　製品カスタマー登録のお願い(1)
　ソニーご相談窓口のご案内(1)
　保証書(1)

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 待機時消費電力0.5W以下
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません

用語解説

五十音順

あ

イーサネット
米国のゼロックス社が開発したローカルエリアネットワーク(LAN)のモデルの1つ。現在、ローカルエリアネットワークを構成するために広く普及している。

インターネット
世界中のコンピュータが接続された通信網。メールや情報検索サービスなどが利用できる。

か

楽曲クリップ
NOW ON AIRで表示される、FM放送で放送された楽曲の情報を本機に保存すること。

区点コード
日本工業規格(JIS)が一般に使用する文字に定めたコード番号。

結露(露つき)
暖房を入れて室温が急に上がったときなどに、本機内部に水滴が付くこと。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置する。

さ

サンプリング周波数
音声などをアナログデータからデジタルデータへ変換するとき、数字に置き換える必要がある。この作業をサンプリングと呼び、1秒間に記録する回数をサンプリング周波数という。音楽CDの場合、1秒間に44,100回記録しており、サンプリング周波数を44.1kHzと表す。一般的には、サンプリング周波数が高いほど、記録された音声は高音質になる。

た、な

転送(チェックイン/チェックアウト)
ハードディスク上で著作権保護技術「OpenMG」対応ソフトウェアで管理している音楽データを、ATRAC ADなどの外部機器・メディアに転送することを「チェックアウト」といい、チェックアウトした音楽データを元のハードディスクに戻すことを「チェックイン」という。著作権保護技術「OpenMG」により、暗号化してハードディスクに記録されるため、不正な使用や配信などを防止できる。一度チェックアウトしたデータをチェックインによりハードディスクに戻したあと、再びチェックアウトすることも可能。ただし、チェックアウトしたデータを、他のハードディスクにチェックインすることはできない。

は、ま

バイト
パソコンなどのデジタルデータを表す基本的な単位のひとつ。デジタルデータは、「0か1か」で表されるが、このデータひとつが1ビット、8ビットで1バイトという単位になる。一般的に半角文字は1バイトで表すため1バイト文字、全角文字は2バイトで表すため2バイト文字という。

ハードディスク
パソコンなどに使われている大容量データ記憶装置の1つ。磁気ディスクと駆動機構が一体になっているため、非常に高速で読み書きすることができ、データの検索性にすぐれている。

ビットレート
データの情報量を表す。単位として、ビット毎秒(bps: bit per second)を使うことが多く、音楽データに1秒あたりどのくらいの情報量があるか表す。

プロキシ
ファイアウォール(外部からの不正侵入防御壁)内にいるコンピュータが外部へアクセスできるようにしたり、インターネットのホームページなどを高速に表示したりできるプログラムまたはサーバ。

ブロードバンド
広域の周波数帯域を使用して、大容量の映像・音声データを高速で送受信できる回線の総称。現在、ブロードバンドと言われるものには、ADSL、CATV、光ファイバーなどがある。

ブロードバンドルーター
ADSLやケーブルテレビでインターネットに接続する場合、ADSLモデムやケーブルモデムという機器を使うが、複数の端末からインターネットに接続するときは、ブロードバンドルーターという機器を使う。

プロバイダ
「インターネットサービスプロバイダ(ISP)」とも言う。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者。

や

予測候補
予測変換機能で入力した文字に対して予測される単語や語句。

予測変換機能
入力した頭文字から単語全体を予測したり、入力した単語から文脈を予測する入力機能。学習機能があり、使えば使うほど、入力の手間が省けて便利に入力できる。

ら、わ

リニアPCM
非圧縮のデジタル音声データ形式。本機では、音楽CDと同じくサンプリング周波数44.1kHz, 16bitで記録される。

ルーター
ネットワーク間を中継する装置のことで、相互のネットワークのプロトコルやアドレスの変換を行う。
最近では、ISDN回線に接続するためのダイヤルアップルータや、ADSLやCATVに接続するためのブロードバンドルータもある。単に「ルーター」と言ったとき、これらの機器を指すこともある。

アルファベット順

A、B

ADSL
非対称デジタル加入者回線(Asymmetric Digital Subscriber Line)の略。ブロードバンド回線の1つ。従来の銅線のアナログ電話回線を使用するが、音声信号とは別の高周波帯域を利用するため、大容量のデータ伝送が可能。上り方向(ユーザーの端末から送信する方向)の通信速度に対して下り方向(電話局からユーザーの端末へ流す方向)の通信速度が高速なため「非対称」の名前がついている。通信速度は契約しているサービスにより異なる。

ATRAC AD
アトラックオーディオデバイス(ATRAC Audio Device)の略。ATRAC形式で記録された音楽データを再生できる機器の総称。

ATRAC3
ソニー株式会社が開発した音声圧縮技術「ATRAC」の1つ。CDの約1/10という高圧縮ながら高音質を実現。

ATRAC3plus
「ATRAC3」をさらに発展させた音声圧縮技術。CDをベースに比較すると、1/20という高圧縮率かつ高音質を実現。

C

CD TEXT
ディスク名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称。

D、E、F、G、H

DHCP
動的ホスト構成プロトコル(Dynamic Host Configuration Protocol)の略。インターネットの接続に必要な設定値を端末に自動的に割り当てるためのしくみ。

DLNA
デジタルリビングネットワークアライアンス(Digital Living Network Alliance)の略。デジタルコンテンツをネットワークを通じ、共有するための規格ガイドラインを策定している非営利団体。
詳しくは、http://www.dlna.org/jp/homeをご覧ください。

DNS
Domain Name Systemの略。マシン名からIPアドレスへ、またIPアドレスからマシン名への置き換えを行うサーバで、IPアドレスで特定されている。「DNSサーバ」などとも言う。

I、J、K

ID3
MP3ファイルに記録される曲名やアーティスト名などの情報。本機では、MP3形式の曲の詳細情報は、このID3タグを表示している。

IPアドレス
TCP/IP (伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル)ネットワークで使用される識別情報。
通常は、3桁までの数字4組を点で区切ったもの(192.168.239.1など)。ネットワーク上のマシンには、必ずこのアドレスが付いている。

ISO9660
国際標準化機構(ISO)が制定したCD-ROMの論理フォーマット。

L

LAN
ローカルエリアネットワーク(Local Area Network)の略。オフィスや学校、ビルの中などの限定された地域に置かれたコンピュータやプリンタ、ファクシミリなどを相互接続して通信できるように構成されたネットワークの総称。

M

MP3
「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めた音声圧縮の規格。音声データをCDの約1/10に圧縮できる。符号化アルゴリズムが公開されているので、さまざまなエンコーダーやデコーダーが存在する。パソコンの世界で広く普及している。

MSC
本機ではUSB Mass Storage Classを表す。MSCとはUSB Implementers Forumによって定義された転送プロトコルで、USB接続された外部機器とデータをやり取りするための規格。USBハードディスクやUSBメモリで使用されている。

MTP
Media Transfer Protocolの略。Microsoft社が開発したデータ転送技術で、画像や音楽、動画などのデータを、対応のポータブル機器に転送する技術。

N、O、P、Q、R、S、T

NOW ON AIR
本機で利用できる" エニーミュージック" のサービスの1つ。FM放送で放送中の内容が本機に表示される。

U

USBストレージ
本書では、USB Mass Storage Class規格に対応したUSB機器で、パソコンのUSB端子に接続するだけでリムーバブルディスクとして使える記憶装置のことを指す。
例えば、USBプレーヤーなども、USB Mass Storage Class規格に対応していれば、USBストレージとして使える。

V、W、X、Y、Z

VAIO Media
ソニーバイオコンピューターに搭載されているホームネットワークソフトウェア。本機と接続するには「VAIO Media Ver.4.1」以降が必要。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

アルファベット

A、B、C、D、E

F、G、H

I、J、K、L、M

N、O、P、Q、R

S、T、U、V、W、X、Y、Z